

## 和仏法律学校講義録

富谷, 銈太郎

---

(出版者 / Publisher)

和仏法律学校

(巻 / Volume)

2-3

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

106

(発行年 / Year)

1901-05-17

明治三十四年五月十七日發行

三十四年度乙種講習科用

# 和佛法律學校講義錄

第 三 號

(第貳部)

A	5e
2	5
B	3

商 法 手 形

法學博士

富谷銚太郎



A5e  
25  
B3

### 講習生諸氏ニ告ク

三十四年度講習生用講義録ハ規則所定ノ通二月ヨリ十一月マテノ間ニ於テ悉皆完了致スヘキハ勿論ニ候ヘトモ印刷上其他ノ都合ニ因リ毎月期日ヲ定メ又ハ定數ノ發行ヲ爲スコト得ス且第一部第二部第三部ノ順ニ依リテ發行シ難キ場合有之候故全部ヲ講習スル人ニハ毎月必ス一冊以上ノ配布ヲ爲スヘキモ一部門ヲ講習スル人ニハ場合ニ因リ配布スルコトヲ得サル月モ有之又全部ヲ講習スル人ニ對シテモ第一部第二部第三部ノ順ヲ逐ヒテ配布スルコトヲ得サル場合有之候ニ付此旨豫メ御承知相成度唯豫定期限十一月三十日マテニハ必ス完了スルコトハ斷シテ間違無之候故毎月ノ配布ニ多少アルモ決シテ懸念セラレサル様希望致候也

明治三十四年五月

和佛法律學校

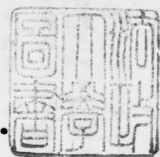
法學博士 富谷 銈太郎 講述

## 商法手形

和佛法律學校發行

法政大學圖書部

0007



174396

## 商法手形目次

緒言	一
第一章 總論	三七
第一節 手形ノ區別	三七
第二節 手形債務ノ特質	四二
第三節 手形債務ニ關スル不當ノ利得	五二
第二章 爲替手形	五五
第一節 振出	五五
第一款 爲替手形ニ必要ナル記載事項即チ爲替手形ノ形式の要件	五五
第二款 爲替手形ノ成立ニ必要ナラサル事項	七四
第二節 裏書	九一
第三節 引受	一一一

商法手形目次

第四節 擔保	一二四
第一款 擔保ノ請求	一二四
第二款 擔保ノ消滅	一二九
第五節 支拂	一三一
第六節 償還ノ請求	一五一
第七節 參加	一七三
第一款 參加引受	一七六
第二款 參加支拂	一八四
第八節 保證	一九〇
第九節 拒絕證書	一九七

### 商法手形目次終

## 商法手形

法學博士 富谷銈太郎 講述

### 緒言

諸君今日ヨリ受持ノ課目ナル商法第三編手形法則ノ講義ヲ始ムルニ當リ先ツ  
 緒言トシテ手形法則ノ性質及ヒ其法制沿革ノ大要ヲ述フルコトトセン  
 手形トハ手形法則ニ從ヒ作成シタル商業證券ニシテ其目的ハ一定ノ金額ヲ支  
 拂ヒ又ハ支拂ハシムルニ在リ手形ノ作成人即チ其振出人ハ手形ニ記載シタル  
 一定ノ金額ヲ一定ノ場所一定ノ時期ニ於テ之ニ記載シタル人受取人又ハ裏書  
 ニ依リテ手形ヲ取得シタル人裏書讓受人又ハ其所持人ニ支拂フヘキ旨ヲ委託  
 スルコトアリ或ハ又支拂ノ委託ヲ爲サスシテ自ラ手形金額ヲ支拂フコトヲ約

スルコトアリ右何レノ場合ニ在ルヲ問ハス手形ニ因リテ生スル法律上ノ關係ハ一ノ債務關係タルニ外ナラス又手形ノ約旨ハ右ノ如ク二種ノ區別アリト雖モ其目的ハ彼此ノ場合共何レモ同一ニシテ金錢ナリトス金錢以外ノ事物ハ約束ノ目的ト爲スコトヲ得ス且ツ手形ニ因ル債務ハ他ノ通例ノ法律關係ニ於ケルモノノ如ク無方式ニ之ヲ生セシムルコトヲ得ス別言スレハ當事者ノ意思表示アルノミニテ直ニ發生スルモノニ非スシテ其發生ニハ必ス書面ヲ以テスル意思ノ表示ヲ必要トシ且ツ其書面ハ法定ノ方式ニ適合スルニ非サレハ效力ヲ有セサルナリ手形債務ハ法律ノ規定ニ從ヒテ作成シタル書面ニ依ルニ非サレハ其目的ハ如何ニ明瞭ナルモ當事者ノ意思表示ハ如何ニ確的ナリトスルモ決シテ成立スルコトヲ得サルモノトス然レトモ一旦法律ノ規定ニ依ル手形ヲ作成スルトキハ之ヲ作成シタル原因ノ如何ハ勿論之ヲ問フコトヲ要セス其有無ニ拘ラス手形ニ依リテ權利者タル證明ヲ爲ス者ハ之ニ記載シタル如ク其權利ヲ行フコトヲ得ヘク又其義務者ハ之ニ記載シタル如ク債務ノ履行ヲ爲ス責ニ任ス約言スレハ手形債務ハ要式書面ノ作成ニ因リ成立スル絶對的ノ債務ナリト

謂フコトヲ得ヘシ  
 手形法則トハ手形ノ債務關係ヲ規定シタルモノナルカ故ニ汎博ニ之ヲ理解スルトキハ一般ノ債務關係ニ適用スヘキ法則モ亦手形法ナリト謂フコトヲ得ヘシ例ヘハ債務能力ノ規定ノ如キハ商法手形法則中ニハ特ニ之ヲ規定セザルトキト雖モ右ノ意義ニ於テハ手形法ナリト謂フヘキカ如シ又手形ノ成立原因ト爲ルヘキ民法又ハ商法ノ一般ノ規定ニ從フヘキ法律關係ニ對スル規定ノ如キモ亦然リ例ヘハ手形ノ振出人ト其支拂人トノ間ニ於ケル手形資金ニ關シ適用スヘキ法律ノ如シ故ニ手形債務モ亦一般債務法ノ原則ニ支配セラレヘキコト勿論ナリトス  
 右ニ述ヘタル如ク手形ノ債務ト雖モ一般債務法ノ原則ニ從フヘキコト勿論ナリト雖モ手形ノ效用ヲ十分ナラシムル爲メ商業證券トシテ之ヲ金錢ニ代用シ其流通上充分ノ信用ヲ有セシムル爲メハ一般債務法ノ規定ノミヲ以テハ未タ足レリト爲サス更ニ手形ノ目的ニ適當ナル規定ヲ設ケテ之ヲ施行セザルヘカラス是レ別ニ手形法則ノ制定アル所以ナリ

抑モ手形ノ效用ヲ完カラシメントスルニハ信用ヲ保護シ之ヲ發達セシムルニ若カス其信用ヲ充分ナラシムル爲メニハ手形ニ記載シタル金銭ノ支拂ニ關スル約趣カ正確嚴重ニ履行セラルヘキ規定ノ保護ヲ必要トス手形ニ記載シタル場所及ヒ其時期ニ於テ手形金額カ確實ニ支拂ハルヘシトノ信用アリテ始メテ手形ノ效用ヲ完全ナラシムルコトヲ得ヘシ例ヘハ權利ノ證明ヲ簡易ニシ債務者ノ抗辯事由ヲ制限スル規定ヲ設ケタル如キ蓋シ右ノ理由ニ因レルモノナリ手形債權者ヲ保護スル特別規定ヲ設クルト同時ニ他ノ方面ニ於テハ債務者ノ爲メ債權者ヲシテ極メテ嚴格ナル手續ヲ履行セシムル規定ヲ設ケタルコト例ヘハ手形ノ支拂ヲ請求シタル場合ニ若シ債務者カ債務ヲ履行セサルトキハ債權者ハ一定期限内ニ支拂拒絶證書ヲ作成シ償還ノ通知ヲ發セサレハ或權利ヲ失フヘキコト手形ニ特別ノ記載アリテ其記載カ法律上效力ヲ生スヘキモノナルトキハ其趣旨ニ從ハサルヘカラサルコト等ノ規定ノ如キハ要スルニ手形ノ效用ヲ充分ナラシメンカ爲メニ設ケタルモノニシテ手形債務ニ關スル特別ナル法則ナリトス故ニ狹義ニ手形法ノ意義ヲ解スルトキハ手形ニ因リテ生ス

ル法律關係ヲ規定スル法則ナリト謂フコトヲ得ヘシ

近世ノ立法例ニ依レハ手形法ニ於テハ前項ニ述ヘタル特別ノ規定ヲ設ケ一般債務法ノ範圍ニ屬スル原則ヲ掲ケスシテ純然タル手形上ノ關係ト手形關係ニ非サルモノトヲ區別スルコト一般ノ傾向ナリ蓋シ純然タル手形關係ト非手形關係トヲ混淆シタル立法例ハ舊主義ヲ採用シタル手形法系ニ屬シ近世ノ手形立法例ノ採ラサル所ナリ例ヘハ佛國商法ノ如キハ後ニ陳フル如ク所謂舊主義ニ屬スルモノニシテ二者ヲ混淆シタル所アルモ獨逸手形法及ヒ獨逸手形法ノ主義ヲ採用シタル瑞西債務法ノ如キハ特ニ手形上ノ債務ニノミ適用スヘキ事項ヲ規定シ手形ニ因ラサルモノハ總テ之ヲ除キタリ我現行商法ノ如キモ亦然リ手形法則トハ以上繰述スル如ク特別ノ規定ナリト雖モ手形上ノ關係ハ常ニ此特別規定ノミヲ以テ支配スルモノト誤信スヘカラス手形法則中ニ規定セサルモノト雖モ一般ノ原則トシテハ之ニ適用スヘキモノアリ例ヘハ代理ノ規定又ハ債權讓渡更改混同ノ規定等ノ如キハ即チ是ナリ

現行手形法則ヲ講スルニ先テテ尙ホ左ノ二點ニ付キ簡單ナル説明ヲ爲サントス

第一 嚴格ナル手形ノ方式及ヒ手形行爲ニ因リテ生スル關係ヲ支配スル特別規

定即チ手形法ノ沿革ノ要領

第二 手形ノ法理即チ手形ノ債務關係ノ性質ハ如何例ヘハ契約ニ因ルモノナル

カ將タ單獨行爲ナルカノ學說ノ概畧

第一 手形法ノ沿革

甲 手形ノ起源 手形ハ何時ニ何地ニ於テ何人カ發明シ使用シ始メタルモノナルヤノ問題ニ付テハ種種ノ說アレトモ直接ニ手形ノ法理ニ關係セサルカ故ニ簡畧ニ之ヲ説明スヘシ此點ニ係ル說ヲ區別シ三說トス佛國人ノ說ニ依レハ手形ノ起源ハ猶太人ノ思想ニ因ルモノトセリ蓋シ猶太人ハ歐洲ニ於テハ一般ニ疾視セララルル人民ニシテ其現住國ヨリ追放セラレタル例ニ乏シカラス其時ニ際シ自己ノ財産ヲ携帶シテ他國ニ移住スルコト困難ナルカ爲メ手形ヲ使用シ之ヲ以テ財産ノ移轉ヲ爲シタルコト即チ手形ノ起源ナリト又伊太利人ノ說ニハ宗教上ノ軋轢ニ關シ手形ノ效用ヲ發見スルニ至リタルモノナリトセリ其說ニ曰ク中古伊太利國ニ於テ獨逸帝派ト法王派トノ間ニ劇烈ナル軋轢ヲ生シ互

ニ殘忍ナル排擠ヲ爲スニ當リ帝王派ノ徒カフロレンスヨリ追放セララルルニ際

シ其財産ヲ處分シ之ヲ他國ニ携帶スル方法トシテ手形ヲ使用シタルコトアリ是レ手形ノ起源ナリトスト然レトモ右二說ニ付テハ俱ニ確乎タル證據ナシ中

古伊太利ノ商人カ商業用ニ關シ手形ヲ使用シ始メタリトノ說ハ最モ信用スル

ニ足ルモノトス蓋シ手形ハ主トシテ商業上ニ使用スルモノナルヲ以テナリ

乙 手形ハ發達 手形發達ノ沿革ヲ説明スルニハ便宜上其經過ヲ三時期ニ分

チ第一期ヲ手形ノ發明アリシヨリ以來十七世紀ノ前半ニ至ルマテトシ第二期ヲ十七世紀ノ後半以後十九世紀ノ前半マテトシ第三期ヲ爾後現今ニ至ルマテ

トシテ其概畧ヲ陳ヘントス

第一期ニ於テハ手形ハ主トシテ金銀ノ兩替ノ爲メニ使用セラレタルヲ以テ之ヲ取扱ヒタル者ハ兩替商人ニシテ他ノ商人ハ殆ト之ニ與ラサリシモノノ如シ此期間ニ於ケル手形ハ伊國商人ノ全權ニ屬シ當時ノ伊國手形法ノ主義カ行ハレタリ第二期ニ於テハ手形ノ用途愈々發達シ唯兩替用ノミナラス金錢支拂ノ用ニ供セララルルニ至レリ故ニ手形ハ一般商人ニ於テ之ヲ使用シ此期ニ於ケル手



形法ハ佛國商法ト其主義ヲ同シウスルモノ行ハレタリ第三期ニ至テハ手形ノ效用ハ尙ホ一步ヲ進メ所謂信用證券ト爲リ實ニ商人間ノミナラス一般ニ使用セラルルニ至レリ

先ツ第一期ニ於ケル手形ハ何故ニ兩替商人ノ爲メニ使用セラレタルヤヲ論セシニ蓋シ兩替トハ金銭ト金銭トヲ交換シテ需用者ノ便益ヲ與フルモノナレハ同一ノ場所ニ於テハ現ニ金銭ヲ授受シテ之ヲ實行スヘシト雖モ遠隔地間ニ於テ兩替ヲ爲ス場合ニハ甲地ノ兩替屋ハ乙地ニ在ル其支店若クハ同種ノ營業者ヲシテ之ヲ實行セシムルコトヲ要シ之カ爲メニハ其支店又ハ同營業者ニ宛テタル書面ヲ兩替金ノ需用者ニ交付シ其者ヲシテ此書面ニ依リ乙地ニ到リテ目的ノ金銭ヲ受取ルコトヲ得セシメサルヘカラス故ニ此書面ニ於テハ金銭支拂ノ委託ヲ含有スルノミナラス現金兩替ノ如ク甲地ニ於テ兩替商ノ受取ル金銭ハ之ヲ代價ト看做シ乙地ニ於テ依頼人ニ交付スヘキ金銭ハ恰モ商品ノ如ク看做サレタリ而シテ通貨ノ價ハ甲乙地間ニ於テハ常ニ變動アルカ故ニ兩替手形ノ相場モ時ニ高低ノ差アリシコト勿論ナリ且ツ甲地ヨリ發シタル兩替手形

ヲ以テ乙地ニテ受取ルマテニハ多少ノ時間ヲ要シ其長短ハ兩替地距離ノ遠近ニ因リテ異ナリ其距離ハ自ラ手形金ノ支拂期日ヲ定ムルコトト爲ルコト宛モ現今ノ手形支拂期日ノ如キモノナリシ但シ當時ノ手形支拂ノ期日ハ手形債務關係ノ成立要素ニ非スシテ事實タルニ過キサル區別アルナリ

兩替手形ノ盛ニ行レタル時代ニ於テハ商業ノ全權ハ殆ト伊國人ノ掌握スル所ト爲リ伊國兩替商人ハ實ニ伊國ノミナラス歐洲中商業繁盛ナル地ニハ悉ク支店ヲ設ケ若クハ同業者ト約束シテ普ク諸人ノ兩替依頼ニ應シタリ此等商人ノ使用シタル證券ニハ現行法ニ於ケル手形ノ如キ要件ヲ具ヘサリシト雖モ手形ノ萌芽ハ正シク此時代ニ發生シタルモノト謂フヘシ此時代ノ手形ニハ振出人支拂人及ヒ受取人アリシコトハ現今ノ手形ト異ナルコトナク隔地間ニ於テ支拂ヲ爲サザムルカ故ニ其遠近ニ從ヒ支拂期日ヲ異ニスヘキコト明カナルモ特ニ定メタル支拂期日ハ要素ニ非サリシコトハ著ク異ナル所ナリ當時手形ハ盛ニ商人間殊ニ互市場ニ於テ最モ多ク行ハレ單ニ兩替ノ爲メノミナラス商人間相互ノ支拂ヲ爲ス方法トシテモ亦之ヲ使用シタルモノナリ而シテ互市場ニ於テ

ル手形ハ一定ノ開市期間内ニ履行スヘキ取引ニ付キ使用シ極メテ短期間内ニ支拂ヲ爲スコトヲ要シ其一定ノ期間内ニ支拂ヲ爲スヘキコトハ蓋シ後世手形ノ滿期日カ其成立ノ一要件ト爲リシ根源ニシテ手形ノ滿期日前ニ其支拂ノ引受ヲ爲サシムル如キモ亦互市場ノ慣習ニ存セシモノナリ又手形ハ形式上四人間ニ成立シ(1)振出人(2)受取人(3)支拂人(4)呈示人ヲ要セシナリ其受取人ハ現今ノ手形受取人ト異ナルナシト雖モ其權利ヲ行フ爲メ呈示人ヲ豫定シ之ヲシテ手形權利ヲ實行セシメタルヲ以テ少クモ一回ハ事實上他人ニ債權ヲ移轉スルコトヲ認メ裏書移轉ノ行ハレサリシ時代ニ於ケル便宜ニ供セシメタリ

第一期ニ於テハ未タ普ク一國ニ行ハルヘキ手形法ナク唯或國ノ一部分ニ行ハレタルモノアリシニ過キサリキ例ヘハ十三世紀ニ「プロレンス」ニ於テ兩替商人カ實施シタル手形規則十四世紀ニ於テ「バルスロ」ニ市會ノ布告セシメタル手形ニ關スル布告十六世紀ニ於ケル伊國ノ「ジェー」市ニ行ハレタルモノ十七世紀ノ前半世ニ「ハンブルグ」市又ハ和蘭ノ「アムステルダム」市ニ於テ行ハレタル手形規則ノ如キ其著名ナルモノナリ

第二期ニ於テハ商業上一大變動ヲ生シタル出來事即チ「コロンブス」カ新世界ヲ發見シ之ヲ以テ舊世界ニ紹介シタル事實ハ手形ノ沿革上重大ナル關係アリトス蓋シ前世紀ニ於テハ歐洲ノ南部殊ニ地中海ノ沿岸ニ於テ商業ニ從事シ商權ヲ專ラニシタルハ主トシテ伊國人ナリシモ一タヒ「亞米利加」ノ發見セララルヤ商業地ノ盛衰區域ニ變更ヲ生シ是マテ伊國人ノ掌裡ニ在リシ商業上ノ權力ハ他國人ノ勢力ニ歸スルコトヲ免レス爲替手形ノ取扱ニ付テモ亦獨リ伊國人ノミ專ラ其利益ヲ占ムルコト能ハサルニ至リ漸ク佛國人ヲシテ手形上ノ商業ニモ勢力ヲ得セシメタリ此ノ如ク手形ニ關シ商業ヲ爲ス者ニ變更ヲ生シタルノミナラス其行ハルル範圍モ擴張スルニ隨ヒ兩替商ノミ取扱ヲ爲サスセテ一般商人ニ於テモ之ヲ取扱フニ因リ其結果ハ從來手形ハ專ラ兩替ヲ實行スル方法タリシモ今ハ變シテ支拂ノ方法トシテ使用セララルコト多キヲ加フルニ至レリ此時代ニ於ケル手形法律ハ佛國法ノ主義ニ屬スルモノナリシヲ以テ此時期ヲ佛國手形法ノ時期ト稱スルコトヲ得ヘシ又此時期ニ於テ手形ノ沿革上最も重要ナル事項ハ前述ノ如ク手形ノ用途ハ擴張セラレ手形ハ單ニ兩替ノ實行

方法ノ證書タルニ止マラス進ミテ支拂用ノ流通證書ト爲ルニ當リ其流通證書タル效用ヲシテ顯著ナラシメタル裏書方法ノ發明アリシコト是ナリ蓋シ裏書ハ手形債權ノ移轉ヲ容易ナラシムルノミナラス其實行ノ擔保者ヲ増加スルカ故ニ手形ノ信用ハ隨テ増加セサルヲ得ス裏書ハ手形振出人ヲシテ其受取人ニ對シテ之ニ記載シタル金額ノ支拂ヲ擔保セシムルノミナラス第三者ヲ手形ノ債權者ト爲スコトヲ得セシムル外尙ホ手形受取人ヲシテ隨意ニ手形債權者ヲ定ムルコトヲ得セシメ其後ノ各所持人モ亦之ニ依リ債權者ヲ定ムルコト隨意ナリトス此ノ如ク手形振出人ハ裏書ニ依リテ各手形所持人ニ支拂ヲ爲スコトヲ擔保シ各裏書人モ亦同一ノ義務ヲ有スルカ故ニ裏書ハ手形ノ流通ヲ容易ナラシメ且ツ其信用ヲ増加セシムルコト明カナルヘシ蓋シ裏書制度ハ佛國人ノ發明シタルモノニシテ法律歴史ニ依レハ十六世紀ノ後半ニ在ルモノノ如シ當時ノ佛國ニ於テハ「ジムウレン」及ヒ「カジュス」如キ法律大家カ總テ法律關係ニハ羅馬法ヲ適用センコトヲ試ミタルヨリ慣習トシテ行レタル無記名證券ノ使用ノ如キモ之カ爲メニ妨ケラレ裏書制度モ亦認ムヘカラストノ説大ニ勢力ヲ

得當時佛國ニ於テ事實上立法ノ大權ヲ掌握シタル「ハルーマン」高等裁判所ノ如キモ十七世紀ノ初年ヨリ其前半紀ノ終リニ至ルマテ無記名證券ノ無効ナルコトヲ宣言シ裏書モ亦無効ナル旨ヲ認メタリ裁判所ノ特別ハ此ノ如クナリシニモ拘ハラズ商人ニ於テハ之ニ服セシテ裏書讓渡ヲ實行シ竟ニ裏書ハ法律上有效ナリト認メラルルニ至レリ尋テ一千六百七十三年ノ佛國商法ニ於テハ巴里府商業會議所ノ意見ヲ容レ裏書制度ヲ認メタリ此時代ニ在リテ法律上裏書制度ヲ認メタルハ惟フニ佛國ノミナラス一千六百五十四年ノ「アムスデルダム」ノ法律及ヒ一千六百八十二年ノ「ライプチーヒ」ノ手形法ノ如キモ亦之ニ關スル規定ヲ設ケタリ

右ニ述ヘタル如ク裏書制度ハ唯手形ノ流通ヲ容易ナラシメタルノミナラス其信用ヲ鞏固ナラシメタルモノナルヲ以テ手形法ノ沿革上最も重要ナルモノト謂ハサルヲ得ス然リ而シテ手形ノ效用ヲシテ完全ナラシムル爲メニハ尙ホ他ニ必要ナル事項アリ即チ左ノ如シ

第一爲替手形支拂ノ引受ハ手形ノ文面上ニ之ヲ記載スルコト

第二、手形代金即チ其對價ハ手形債務ノ成立ニ關係ナキモノトスルコト  
第三、手形ノ資金ハ手形支拂ノ引受ノ原因タラサルコト

此三事項カ具備スルニ至リ裏書ハ十分ノ效用ヲ有スルコトヲ得ルモノトス左  
ニ其概要ヲ證明セシニ(一)若シ手形支拂ノ引受カ單ニ口頭ニ依リテノミ行ハル  
ルトキハ手形債權者ハ之ヲ證明スルコト極メテ困難ナルカ故ニ裏書ハ十分ノ  
效力ヲ有セサルヤ知ルヘキナリ何トナレハ口頭ノ引受ハ對話者間ニノミ效力  
ヲ有シ(三)三者ノ爲メニハ何等ノ效力ヲ生スヘカラサレハナリ之ニ反シテ支拂  
ノ引受ハ必ス手形面ニ記載スヘキモノナリトスルトキハ各手形所持人ハ引受  
人ニ對シ直接ニ權利ノ證明ヲ爲シ之ヲ行フ便宜ヲ有スルカ故ニ手形ノ信用ヲ  
増シ流通ヲ容易ナラシムルニ至ルヘシ(二)次ニ手形ノ代金トモ謂フヘキモノ即  
チ手形ヲ取得スルニ付キ爲スヘキ反對給付ノ履行ヲ以テ手形ノ要件ナリトセ  
ハ裏書讓受人ハ其權利ヲ行フニ當リ豫想セサル反對給付ナシトノ抗辯ヲ受ク  
ルノ恐レアルカ故ニ手形ノ效用十分ナルコトヲ得サルヤ明カナリ(三)之ト同一  
ノ理由ニ因リ若シ手形資金ノ交付ヲ以テ手形成立ノ要件ナリトセハ縱令裏書

ニ由リテ讓受タルモ手形所持人ハ滿期日ニ於テ資金ノ交付又ハ之ニ相當スル  
モノナキコトヲ理由トシテ支拂人ヨリ支拂ヲ拒マルルノ恐レナキコトヲ得サ  
ルナリ

是ニ由リテ之ヲ觀レハ手形ノ裏書ヲシテ完全ナル效力ヲ得セシメンニハ右三  
事項ト相待テ行ハルルコトヲ要スルヤ理會シ易シ是ヲ以テ第十七世紀ノ終リ  
ニ行ハレタル手形法ハ殆ト皆手形ノ引受ハ手形面ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス  
トセリ然ルニ手形資金ノ關係及ヒ手形代金ノ關係カ手形自體ヨリ分離セラレ  
タルハ蓋シ第三期以後ノコトニ屬ス

第二期即チ主トシテ佛國主義ノ行ハレタル時代ニ於テハ手形資金及ヒ手形代  
金ハ手形ノ要件ナリシモ唯リ「ライプチーヒ」手形法ハ手形資金ノ關係ヲ手形  
ヨリ分離セタリ

第三期ニ至ルニ及ヒ所謂獨逸主義行ハレテ手形ハ純然タル信用機關ト爲リ手形  
使用ノ範圍大ニ擴張セラレ唯商人間ノミナラス一般ニ行ハルルニ至レリ  
十九世紀ノ初メ第二期ノ終リニ於テハ佛國商法ノ主義ト共ニ有名ナル「ボチエ

一氏ノ學說大ニ行ハレ佛法主義ハ「ライプナー」ノ手形法ヲ除ク外殆ト歐洲大陸ヲ風靡セシモノノ如シ試ミニ此主義ノ特別ナル點ヲ摘示スレハ左ノ如シ

第一、佛國法ニ於テハ爲替手形ハ場所ヲ異ニスル者ノ間ニ於テ發スルコトヲ要ス蓋シ第一期ニ於ケル兩替手形ノ思想ノ殘存シタルモノニシテ現今新主義ノ手形法ニ於テハ全ク之ヲ排除シタリ

第二、佛國法ニ於テハ手形對價ノ關係ヲ手形ニ記載スルコトヲ必要トシ其關係ヲ以テ手形關係ト分離セサルナリ勿論實際上ニ於テハ其取扱殆ト獨逸主義ト異ナルコトナシト雖モ法理上區別ノ大ナルモノアリ

第三、佛國法ニ於テハ畧式ノ裏書即チ白地裏書ヲ禁止セリ

以上ハ佛國主義ノ特殊ナル所ナリトス然ルニ一千八百三十八年ニ至リテ手形法制沿革上一大激變ヲ生スルニ至レリ蓋シ此刷新ニ與リテ力アリシハ索遜人「アイチルト」氏ニシテ氏ハ多年ノ實業經驗ニ依リ手形法理ヲ研究シ一千八百三十九年其著手形法論ニ於テ斬新ナル說ヲ世ニ公ニシタリ氏ノ主張スル說ハ要スルニ手形ハ商人カ發行スル紙幣ナリト云フニ在リ其說非難ヲ受クハキ點極

メテ多シト雖モ手形ニ原因ヲ必要ナリトシタル舊說ヲ排斥シタル效力ノ著シキコトハ掩フヘカラサルモノトス一千八百四十七年ニ至リ氏ハ索遜手形法ヲ起草シ之ヲ實行セントシタリ一千八百四十八年ノ發布ニ係ル獨逸現行手形法ノ如キモ氏ノ思想ニ依ルモノ蓋シ尠シトセス

以上ハ手形法制沿革ノ大要ナリ次ニ我國手形法ノ沿革ヲ述フル順序ナリト雖モ如何セン我國手形法ノ沿革ハ此講義ニ於テハ殆ト之ヲ述フルノ價值ヲ見サルコトヲ何トナレハ我國ニ於テハ古來大坂ニ於テ兩替手形カ盛ニ行ハレタリト雖モ其形跡ニ付キ十分懸諱トスヘキ記錄ニ乏キノミナラス我國舊手形法ハ全ク佛國主義ニ據リ舊商法ハ佛獨兩主義ノ折衷ニ成リタルモノニシテ改正商法ハ獨逸主義ニ據リタルモノナルカ故ニ既ニ述ヘタル歐洲ノ手形沿革ハ採テ以テ我手形法ノ沿革ト爲スコトヲ得ヘケレハナリ

現世界ニ行ハルル手形法ノ主義ニ二アリ其一ハ第二期ニ於ケル佛法主義ニシテ歐洲ニ於テハ佛國ヲ始メトシテ蘭西葡希土「リ」ユクサンブルグ等ノ諸國歐洲以外ニ於テハ埃及巴西共和國アルジャンター「墨」哥倫比等ノ諸國之ヲ採用セ

リ其二ハ獨逸法系ニ屬シ最近ノ立法例ハ概シテ之ニ據ル故ニ新ニ手形法ヲ制スル國ニ於テハ多ク之ヲ採用セリ但シ佛法ニ比スレハ其實施ノ日尙ホ淺キカ故ニ之ニ據ルモノ佛法主義ノ法律ニ比スレハ少數ニシテ奧國手形法、瑞西債務法其他「スカンチナー」諸國ノ法律及ヒ我改正商法等其最ナルモノトス此ノ如ク二派儼然トシテ相對立シ行ハルト雖モ佛法主義ハ漸漸退却シテ獨逸主義ニ讓ルノ傾向アルヲ免レサルナリ例ヘハ全然佛法ヲ採用シタル白耳義國ノ如キモ一千八百七十二年ノ改正ニ於テハ獨逸主義ヲ採用セル如キ及ヒ伊國商法ハ純然タル佛國商法ナリシモ一千八百八十一年ノ改正商法手形ノ部分ニ於テハ獨逸主義ヲ加味シ其主要ナル點ハ全ク獨逸法ノ主義ト異ナルコトナキカ如ク又一千八百八十二年ノ英國手形法モ亦獨逸法ト其主義ヲ同ウシ北米加那太諸州及ヒ印度ニ於テモ行ハル是ニ由テ觀レハ新立法例ハ獨逸手形法主義ニ傾キツツアリト謂フモ蓋シ過言ニ非ナルヘシ

第二ニ手形債務ニ關スル學說ニ於テハ十八世紀中葉ニ至リテ其主義ハ漸ク變遷シ是レ亦種種ノ變遷ヲ經テ今日ニ至レルモノナリ今左ニ之ヲ略説スヘシ

第十七世紀及ヒ第十八世紀末ニ至ルマテハ學者ハ主トシテ手形振出人ト手形受取人間ノ關係ヨリ手形債務ノ性質ヲ論シ其論據ハ一様ナラザリシト雖モ手形債務ハ契約ニ因リテ成立スト云フニ至リテハ異論ナカリキ蓋シ此時代ニ於テハ羅馬法盛ニ行ハレ當時ノ學者ハ手形債務ヲ論スルニ付テモ亦其原理ニ據リテ之ヲ説明セント試ミタリ然レトモ手形債務ハ如何ナル契約ニ原因スルモノナルヤノ問題ニ至リテハ議論一定セス或ハ之ヲ以テ一ノ交換契約ナリト論シテ曰ク手形振出人ハ手形受取人ニ對シ其受取人カ振出人ニ交付スル金錢ニ非ナル金錢ヲ他ノ場所ニ於テ與フルコトヲ約シ其契約履行ノ爲メニ交付スルモノハ即チ手形ナリ故ニ手形債務ハ一種ノ交換契約ヨリ生スルモノナリト蓋シ當時ニ於テハ或ハ適當ナリシ説ナラン何トナレハ前ニモ述ヘタル如ク十七八世紀ニ於テハ手形ハ兩替ノ爲メニ行ハレタルモノナレハナリ然レトモ手形ハ相場ニ因リテ受取人カ給付スル金額ト其受取額トニ相違ヲ生スルカ故ニ交換説ニ據ルモ適切ニ説明スルコト能ハザリキ是ニ於テカ手形債務ハ一ノ賣買契約ニ基クモノナリト説明スル者アリ此説ハ手形受取人カ甲地ニ於テ振出人

三 交付スル金額ハ即チ代價ニシテ其乙地ニ於テ受取ルヘキ金額ハ賣買ノ目的ナリ手形ハ其證明ノ方法トシテ之ヲ交付スルモノナリト云フニ在リ蓋シ亦當時ニ於テハ必スシモ不適當ナル説明ニ非サリシナルヘシ然レトモ之ニ據ルモ尙ホ允當ナラサル弱點ヲ存シタルヨリ學者或ハ手形債務ヲ以テ賣買ニ類スル一種ノ無名契約ナリト論シ其契約ハ合意ニ因リテ直チニ成立スルモノナリト曰ヘリ此說ニ據レハ手形行爲ハ當事者ノ一方タル振出人カ相手方タル受取人ヨリ一定ノ金額又ハ相當對價ヲ受取リ手形ノ受取人又ハ其指定シタル者ニ對シテ當事者間ニ豫定シタル時及ヒ場所ニ於テ一定ノ金額ヲ支拂ハシムルコトヲ約スル契約ナリト云フニ在リ故ニ所謂手形上ノ債務ハ手形ノ振出人カ支拂ハシムヘキ金額支拂ノ時期支拂ノ場所及ヒ其手形受取人ヨリ受取ルヘキ金額ニ付キ合意アレハ直チニ成立シ他ニ又手續ヲ爲スコトヲ要セス手形其物ハ單ニ成立シタル合意ヲ實行スル方法即チ債權ノ證明書タルニ過キズ故ニ振出人カ未タ手形ノ對價ヲ受取ラサルトキハ手形上ノ債務ヲ負フコトナシト謂ハサルヘカラス別言スレハ手形振出人カ其對價タル金額又ハ之ニ相當スル對價

ヲ受取ラサル場合ニ於テハ振出人ハ手形債務ヲ負擔セストノ抗辯ヲ爲スコトヲ得ルカ故ニ手形ノ振出ニ對スル對價ノ辨濟ナシトノ事實ハ手形債務ノ履行ヲ拒絕スル抗辯ノ理由トシテ主張スルコトヲ得ヘキモノナリシ例ヘハ爲替手形ノ所持人カ訴ヲ以テ振出人ニ對シ價還請求ヲ爲ス場合ニ於テ若シ手形對價ノ支拂ナカリシトキハ振出人ハ之ヲ理由トシテ價還請求ニ應セサルコトヲ得ルカ故ニ所持人ハ此訴訟ニ於テ勝訴者タランニハ對價ノ支拂アリタルコトヲ立證セサルヘカラス而シテ此立證ノ困難ナルコトハ多言ヲ待タスシテ知ルヘシ手形債務ハ契約ニ因リテ生スルモノナリト説明スルトキハ常ニ其生シタル原因ノ存否ニ由リテ手形權利ノ實行ヲ妨ケラルル危險アルヲ免レサルカ故ニ其必然ノ結果ハ手形ノ流通ニ大ナル妨害ヲ生セサルコトヲ得サルヲ以テ此說ヲ唱フル學者ト雖モ或ハ對價ニ對スル抗辯ハ之ヲ許サスト主張スル者アリシナリ然レトモ前說ノ如ク合意成立說ヲ認ムル以上ハ手形ノ對價給付ノ不履行ヲ以テ抗辯ノ理由ト爲スコトヲ認メサルコトヲ得サルハ必然ノ結果ナリトス合意說ハ當時頗ル世ニ行ハレタルニ拘ラス實際ニ於テハ手形權ノ行使ハ常

「ニ手形ニ依リテノミ之ヲ爲シタル有様ナリシカ故ニ十八世紀ノ終リニ至リテハ振出人及ヒ受取人間ノ合意ハ手形債務ノ條件タルニ過キス手形債務ハ書面ヲ以テスルニ非ザレハ成立セストノ說世ニ行ハルルニ至レリ此說ニ據レハ手形債務ハ書面契約ニ因リテ生シ振出人ト受取人トノ間ニ於テ手形ノ金額振出人ニ支拂フヘキ對價及ヒ手形金額支拂ノ時期ニ付キ意思ノ合致アルモ若シ手形面ニ之ヲ記載セザルトキハ手形上ノ法律關係ハ成立セザルナリ故ニ振出人及ヒ受取人間ノ合意ハ手形債務ヲ成立セシムル前約ナリト謂フヘシ其前約ハ手形債務ヲ發生スルモノニ非スシテ手形債務ハ振出人カ手形ヲ作成シ之ヲ受取人ニ交付スルニ因リテ成立スルモノナリトセリ是レ書面契約說ノ要領ナリ手形債務ハ合意ニ因リテ直チニ成立スト云フ前說ニ比スレハ頗ル便宜ニシテ且ツ進歩シタルモノナルコト勿論ナリ此說ニ據レハ振出人ハ手形上ノ義務ヲ有スルヤ否及ヒ手形ヲ振出スニ付キ其對價ヲ受取リタルヤ否ノ點ノ如キハ固ヨリ之ヲ問フコトヲ要セス唯振出人カ果シテ其手形ヲ任意ニ作成シタルヤ否ヤヲ定ムルコトヲ要スルノミ若シ振出人カ任意ニ手形ヲ作成シ之ヲ受取人ニ

交付シタルトキハ其手形ヲ作成スルニ付キ受取ルヘキ對價ヲ受取ラザリットキト雖モ手形上債務ヲ負擔スル者ト謂ハサルヘカラス換言セハ手形債務ハ對價ヲ原因トシテ生スルモノニ非スツテ法律ノ方式ニ從ヒ手形ヲ作成シタルニ因リテ生スルモノナリ故ニ對價ノ給付アリシヤ否ノ問題カ重要ナル關係ヲ有スルコトハ振出人ト受取人間ニ限リ其他ノ者ニ及ハサルナリ振出人ハ受取人以外ノ手形所持人ニ對シテハ對價不履行ノ抗辯ヲ爲スコトヲ得ス蓋シ手形債務ハ要式行爲タルニ因リ生スル自然ノ結果ニ外ナラス手形作成ノ原因モ亦手形債務ノ成立ニ關係セザルヲ以テ手形債務ノ負擔ハ或ハ貸借上ノ債務履行ノ爲メナルト或ハ交換ノ爲メナルト或ハ又賣買履行ノ爲メナルトヲ問フコトヲ要セザルナリ蓋シ書面契約說ハ手形ノ實際上并ニ學問上ニ於ケル一大進歩ナルノミナラス近世手形上ノ學說ニ關スル階梯ヲ成タタルモノト謂フヘキナリ」以上述フル如ク手形債務ハ手形ニ依ル當事者間ノ意思ノ合致ニ因リテ成立スルモノナリトノ說ニハ十九世紀ノ初ニ至ルマテ殆ト何人モ敢テ疑ヲ容レザル所ナリキ然ルニ此說ニ反對ノ意見ヲ公ニシ之ヲ立法例ニ實行セントシタル者



ハ前ニ示シタル索通王國ノカール、アイネルト氏ナリ氏ハ紙幣又ハ銀行兌換券ノ流通スル實況ヲ觀察シ其理ヲ推シテ手形ニ應用セントノ希望ヲ抱キ十九世紀ニ要スル手形法<sup>ナ</sup>ナル論文ニ依リテ其思想ヲ發表セリ其要領左ノ如シ

凡ソ商人カ信用ヲ有スルトキハ恰モ國家カ紙幣ヲ發行シ銀行カ兌換證券ヲ發行スルカ如ク私ニ作リタル紙幣ヲ發行セテ之ヲ流通セシムルコトヲ得ヘシ紙幣カ一定ノ時期ニ於テ相違ナク硬貨ト交換セラルルニ於テハ之ヲ受取ル者ハ紙幣又ハ銀行ノ兌換券ヲ受取リタル場合ト同シク容易ニ之ヲ流通セシムルコトヲ得ヘシ商人ノ發行スル手形ハ即チ商人ノ紙幣ナリト謂フヘシ抑モ手形ノ振出人カ自ラ支拂ヲ爲スコトヲ約スル約束手形ト他人ヲシテ支拂ハシムルコトヲ約スル(爲替手形)トハ商人間ニ於テハ其振出シタル手形ヲ見ルコトハ恰モ現金ノ如シ例ヘハ物品ヲ賣渡シタル場合ニ賣渡人ハ其代價トシテ手形ヲ受取ルコトヲ拒マス未タ手形ヲ現金ニ替ヘサル前ト雖モ代價ハ恰モ支拂ハレタルモノノ如ク看做サルルハ商人間ニ於ケル一般ノ慣習ナリ蓋シ此慣習ハ手形面ニ記載シタル金額カ一定ノ時期一定ノ場所

ニ於テ異議ナク支拂ハルヘシトノ信用ヲ埃テノミ實際ニ行ハルヘキモノニシテ若シ其信用ニ缺クル所アルトキハ手形ハ其效用ヲ爲スコト能ハス而シテ此信用ニハ手形債權者トシテ手形ヲ所持スル者ノ權利ハ其以前ノ所持人ト手形債權者トノ關係ニ因リテ妨ケラルルコトナシトノ規定ヲ要ス換言スレハ商人間ニ於テ手形ヲ授受スルコトハ恰モ紙幣又ハ兌換券ヲ取扱フ如ク之ヲ交換シテ毫無疑ヲ生セザラシムルニハ手形法ノ各所持人ハ獨立ナル債權ヲ有スルモノニシテ其前者ノ債權ヲ承繼スルモノニ非スト云フ規定ヲ要ス然リ而シテ此趣旨ハ近世ノ手形法ノ認ムル所ニシテ契約ニ因リテ手形債務ヲ生スルモノナリトノ説ト相容レサルナリ尙ホ別言スレハ近世ノ手形法ニ於テハ手形債務ハ一方行爲ナルコトヲ認ムルモノナリ手形ノ振出人ハ唯其直接受取人ニ對シテノミ手形金額ヲ支拂ヒ又ハ支拂ハシムヘシトノ意思表示ヲ爲スモノニ非スシテ廣ク公衆ニ對シテ其意思表示ヲ爲スモノト謂ハサルヘカラス若シ之ニ反シテ手形債務ハ合意ニ因リテ生スルモノナリトノ説ニ從フトキハ第一裏書讓受人及ヒ其後ノ所持人カ獨立シテ手形上ノ債權

ヲ實行シ得ル所以ヲ説明スルコト能ハサルヘシ何トナレハ手形債務ハ契約ニ因リテ生スルモノトセハ手形ノ移轉アル場合ニ各所持人ハ其前所持人ノ債權ノ分量ヨリ大ナル債權ヲ有スルノ理ナキカ故ニ其所持人ノ債權ハ其前所持人ト振出人若クハ其他ノ支拂人トノ關係ニ因リ影響ヲ受クルモノト謂ハサルコトヲ得サレハナリ是ヲ以テ近世ノ手形法ニ於テハ前述ノ如ク手形所持人ノ債權ハ其前者ニ對スル手形債務者ノ抗辯事由ニ由リテ妨ケラルルコト無キトノ説ヲ是認スルニ至レリ云云

蓋シ「アイチナルト」氏ノ思想ハ近世手形法理ニ一大革新ノ動機ヲ與ヘタルコト論フ埃タサレトモ氏ノ説モ亦未タ完全ナルモノト稱スルコト能ハス

第一 紙幣ハ其本質ニ於テ交換ノ媒介タルモノナレトモ手形ハ其實債權ヲ證明スルモノナリ加之手形ハ定マリタル人ノ用ニ供スル爲メ作成スルモノナルヲ以テ銀行兌換券ノ如ク同時ニ數多ノ發行ヲ爲スコトナレ然ルニ彼此同一ノモノトシテ之ヲ論スルコトハ允當ナラス

第二 若シ手形ヲシテ紙幣ノ如クナラシメンニハ悉ク無記名式ノモトセサ

ルヘカラス

第三 若シ手形ヲ紙幣ト同一ナリトセンニハ主タル債務者ハ紙幣ニ於ケル

發行者ノ如ク常ニ手形ノ振出人ナリト謂ハサルヘカラス然ルニ爲替手形ニ於テハ主タル債務者ハ引受ヲ爲シタル支拂人ニシテ其振出人ニ非

ルナリ

此ノ如ク「アイネルト」氏ノ説ハ其基礎ニ於テ誤謬アルカ故ニ一般ニ承認セララルコトナシト雖モ氏ノ説ハ近世手形法理ノ進歩ヲ爲サシメタルコト著シキモノナリ殊ニ手形ノ流通證書タル效用ヲ完ウスル上ニ於テ至大ノ勢力ヲ有シタルコトハ復タ疑ヲ容レサルナリ即チ手形所持人ハ單ニ債權ヲ有スルノミニシテ義務ヲ負フコトナシト云フ法理ノ如キ手形アレハ即チ手形債務アリ而シテ其原因ヲ問フニ及ハストノ説明手形債務ハ手形ノ各所持人ニ對シテ約スルモノナリトノ説明各所持人ノ手形債權ハ獨立ナリ前所持人ノ債權ヲ承繼スルモノニ非ストノ説明又ハ手形ノ能力若クハ偽造變造ノ抗辯ニ制限アルコトノ説明ノ如キ何レモ氏ノ説ニ依リテ明白ナルニ至ルヘキヲ以テナリ

「アイキルト」氏ハ手形ノ單獨行爲説ヲ唱ヘテ以テ手形法理上一大革命ノ思想ヲ喚起シタルコト勿論ナルモ從來ノ契約説ハ之カ爲メニ其迹ヲ絶チタルニ非ス反テ益々巧妙ナル論法ヲ以テ單獨行爲説ニ對抗シ現今ニ至リテモ此兩説互ニ切磋シテ適ニ雌雄ヲ決セントスルモノノ如シ以下兩學説ノ大要ヲ示サントス

第一 契約説 此説ニ據レハ手形ノ債務ハ手形ノ振出人ト其受取人トノ間ニ於テハ勿論其他ノ所持人ト振出人トノ間ニ於テモ亦意思ノ一致アルニ因リテ成立スルモノナリ然レトモ其成立ニハ一定ノ方式ヲ必要トス即チ振出人ハ法律ノ規定ニ從ヒテ手形ヲ作成シ其意思ヲ以テ受取人ニ之ヲ交付スルニ因リテ成立スルモノナリ故ニ手形ノ作成ト其交付トハ手形債務ノ成立ニ必要ナレトモ交付ニハ別ニ方式ヲ要セス作成シタル手形カ第三者ノ手ニ在リタルトキハ適法ノ交付アリタルモノト看做スヘシト云フニ在リ

蓋シ契約説ヲ維持スルニ最モ困難ナル點ハ振出人ト受取人トノ關係ヲ説明スルニ在ラスニテ受取人以後ノ所持人ト振出人トノ關係即チ直接ノ關係ヲ有セサル者ノ間ニ於テモ尙ホ手形債務ヲ成立スル理由如何ノ點ニ在リ換言スレハ第

一以後ノ被裏書人ト振出人トノ間ニ於テハ如何ニシテ意思ノ一致アリト云フヘキヤヲ説明スルコト至難ナルニ在リ此點ニ付キ學者ノ説明スル所區區ナルモ其大要ヲ述フレハ左ノ如シ

甲説 手形債務ノ契約ハ振出人ト受取人トノ間ニ成立シ振出人ト受取人以外ノ所持人トノ間ニ於テハ受取人ハ手形ニ記載シタル總テノ意思ヲ裏書讓受人即チ所持人タルヘキ者ニ紹介シ裏書讓受人カ其手形ヲ受取ルニ因リテ契約ハ成立スルモノナリ即チ手形ノ受取人ハ裏書ヲ爲スニ當リテ自己ヲ債務者タル地位ニ立タシムルト同時ニ振出人モ亦其債務者タルコトヲ紹介シ其間ノ契約ヲ成立セシムト云フニ在リ

乙説 第一受取人ト振出人トノ間ニ於ケル手形契約ハ手形ノ授受ニ因リテ成立スルコト勿論ナルモ其受取人ハ唯自己ノ爲メノミニ債權者タルコトヲ承諾シタルニ非ス其以後ノ所持人タルヘキ者ノ爲メニモ亦同一ノ承諾ヲ爲シタルモノナリト説明セリ

丙説 第一受取人ト振出人トノ間ニ手形契約カ成立スルト同時ニ之ニ附帶シ

ヲ慣習上承諾ヲ要セサル振出人ノ一方義務カ其後ノ未定債權者ノ爲メニ成立  
 スルモノナリ而シテ所謂附帶ノ行爲ハ受取人ノ仲介ニ依リ振出人ニ對スル債  
 利者タラシムルモノナリト説明セリ

丁說 手形ノ振出人ハ第一受取人ニ對シテ契約ノ申込ヲ爲スノミニ非ス  
 ヲテ數箇ノ申込ヲ未定ノ所持人ニ對シテ同時ニ爲スモノナリ換言セハ手形債  
 務ノ申込ハ受取人及ヒ其後者ニ對シテ之ヲ爲スモノナルカ故ニ所持人ハ手形  
 ヲ受取ルニ因リテ手形ノ權利者タルコトヲ承諾スルモノナリ隨テ振出人ハ管  
 ニ受取人ト直接ノ契約ヲ爲スノミナラス其後ノ受取人ニ對シテモ最初振出ノ  
 際同時ニ申込ヲ爲シ之ニ因リ契約ハ成立スルモノト謂ハサルヘカラスト

戊說 手形ノ振出ニハ手形ニ附着シタル申込アリ債權者タラントスル者ノ承  
 諾ニ對スルモノナルカ故ニ手形ヲ取得シタル者ハ振出人ト直接ニ手形ノ授受  
 ヲ爲シタルト否トニ拘ラス振出人ト契約ヲ成立セシメタルモノナリト

以上ハ契約說ノ大略ナリ其詳細ノ評論ヲ試ムルコトハ攻學上極メテ有益ナル  
 モ時間ニ制限アルヲ以テ各說ノ要領ヲ示スヲ以テ満足セサルヲ得ス

右契約說ニ反對スル學說ハ前ニ述ヘタル如ク一方行爲說即チ單獨行爲說チ  
 此手形債務ノ成立ニハ手形ノ振出人ト其債權者トノ間ニ於ケル契約即チ意思  
 ノ合致ヲ必要トセス其債權債務ノ關係ハ手形形式ノ成立スルト同時ニ成立ス  
 ヘシ但シ其效力ノ發生ハ手形カ債務者ニ非サル者ノ占有ニ移リタルトキニ在  
 ルコト勿論ナリ蓋シ手形ノ成立ニ付テハ其前ニ於テ之ヲ作成セシムル契約ノ  
 存スル場合尠カラスト雖モ其契約ナルモノハ手形債務ヲ發生セシムルニ非ス  
 シテ其債務ヲ成立セシムル前約タルニ過キスト云フニ在リ然リ而シテ單獨行  
 爲說ヲ採ル者ノ間ニ於テモ手形ハ一方行爲ニ因リテ成立スト云フ點ハ一致ス  
 ル所ナリト雖モ手形ノ效力ハ手形作成ノ時ニ生スルモノナリヤ將タ其作成シ  
 タル手形ヲ交付スルニ因ルモノナリヤノ點ニ至リテハ其說一定セス

甲說 手形ハ一定ノ人ニ交付スル爲メ之ヲ作成スルニ因リテ手形債權ヲ發生  
 セシムルモノナリト云フニ在リ

乙說 手形ハ其要項ノ記載ノミニテ既ニ手形トシテ存立スルモノナレトモ他  
 人カ之ヲ取得セサル間ハ手形上ノ請求權ハ未タ發生セズ手形上ノ請求權ノ發生

スルニハ他人カ之ヲ取得スルヲ必要トス故ニ一タヒ記載シタル手形ト雖モ其手形ニシテ他人ニ移ラザル前ニ於テハ作成人ハ随意ニ其手形ヲ毀滅シ又ハ内容ヲ變更スルコトヲ得ルモノナリ換言セハ手形債務ノ生スルニハ其方法如何ニ拘ラス手形カ第三者ノ手ニ入ルコトヲ要ス例ヘハ振出人カ之ヲ發行シテ第三者ニ移シタルト之ヲ遺失シタルト又ハ其保存シタルモノヲ竊取セラレザル場合トヲ問ハス現ニ第三者ノ手ニ移リタル以上ハ手形債權ハ完全ニ實行セラレヘキモノナリ

丙說 手形債權ハ振出人カ手形ヲ作成シタルノミニテハ未タ發生スルモノニ非ス其債權ノ生スルニハ振出人カ之ヲ作成シ交付スルノ意思ヲ以テ之ヲ發行スルコトヲ要ス故ニ其發行前ニ於テハ其效力ナシ例ヘハ盜難紛失等ニ因リテ振出人ノ手ヲ離レタル手形ハ效力ナキカ如シ

蓋シ單獨行為爲說ノ辯護ニ困難ナルハ左ノ點ニ在ルモノノ如シ

第一 單獨行為爲說ハ沿革上ノ理由ニ缺ク所アリ 前ニ手形ノ沿革ヲ述フルニ當リ説明シタル如ク手形債務ハ契約ニ因リテ成立スルモノナリトノ說ハ數百年

間行ハレタルノミナラス現今尙ホ之ヲ主張スル者尠カラズ單獨行為爲說ハ久シク何人モ爭ハサリシ學說ニ反對スルモノナルカ故ニ極メテ容レラレ難キ觀アリ

第二 單獨行為爲說ハ實際上手形債務カ發生スル事情ニ反スルノ傾キアリ 手形債務ノ成立スル事情ヲ觀察スルニ手形振出人カ手形ヲ振出ス場合ニ於テハ振出人ハ受取人ト相談上ニテ手形ノ金額支拂ノ期日支拂ノ場所及ヒ支拂人ヲ定ムルモノナリ又或場合ニハ組手形即チ同一手形數通ヲ振出スコトアリ此ノ如キハ寧ロ契約ニ因リテ成立スルモノト説明スルコト容易ニシテ一方行為説ニテハ殆ト説明シ難シ

右ノ如ク單獨行為爲說ニハ説明シ易カラザルニ點アルニ拘ラス今日益々盛ニ流行スルモノハ左ノ理由アレハナリ

前ニモ一言シタル如ク手形ノ作成ニ關スル契約即チ意思ノ一致ハ手形成立以前ニ存スルモノニシテ振出人ハ其契約ニ因リテ手形ヲ作成スルコトヲ承諾シタル者ナルカ故ニ之ニ因リテ手形作成ノ義務ヲ負ヒ受取人ハ手形ヲ作成セザル權利ヲ有ス然レトモ此契約ヨリ生スル權利義務ハ所謂手形上ノ權利義務

ニ非ス其原因タル關係如何ニ從ヒ民法若クハ商法上ノ他ノ義務ト謂ハサルヘ  
 ガラス手形ノ債務ハ法律ノ規定ニ從ヒ手形ヲ作成スルニ因リテ直チニ成立ス  
 ヘキモノナリ  
 凡ソ債務カ契約ニ因リテ成立スル場合ニ於テハ債權者ト債務者トノ間ニ於テ  
 ハ互ニ相識ラサル者ナリト雖モ其申込ト承諾トヲ要スルカ故ニ債務者ニ於テ  
 ハ債權者ノ誰タルヲ知ラス又債權者ニ於テ債務者ノ誰タルヲ知ラサルカ如キ  
 コトナシ彼此相信スルニ因リテ契約ハ成立ス手形債務ノ成立ハ全ク之ト異ナ  
 ルモノアリ債權者ハ債務者ヲ信スルニ由リ手形上權利者タルコト疑ナカルヘ  
 シト雖モ債務者ニ於テ債權者ノ誰タルヤヲ知ルコトヲ要セス否實際上之ヲ豫  
 知スルコトヲ得サル場合ヲ通例トス何トナレハ債權者ハ手形ノ流通ニ因リ常  
 ニ變動スルモノナレハナリ此ノ如ク當事者ノ何人タルカヲ知ラサル者ノ間ニ  
 於テ契約ハ成立スヘシトノ說ハ頗ル事理ニ反スルモノト謂フヘシ  
 且ツ近世ノ手形ノ規定ノ立法例ニ依レハ契約說ヲ以テハ到底説明シ得ヘカラサ  
 ルモノナリ他ナシ手形振出人ト其受取人以外ノ所持人トノ間ニ於テモ法律關

係ノ成立ヲ認ムル規定即チ是ナリ若シ正當ニ之ヲ説明セント欲セハ手形受取  
 人以後ノ所持人ハ受取人ノ權利ヲ承繼スル者ト云フニ非サレハ振出人ハ受取人  
 ノ介在ニ因リ順次其他ノ者ニ對シテ申込ヲ爲シタル者ナルカ故ニ債務ヲ負フ  
 モノナリト云フ外ナカルヘシ面シテ承繼說ハ偽造裏書ニ依ル善意ノ所持人カ  
 振出人ニ對シテ有スル權利ノ存立ヲ認メシムルコト能ハス何トナレハ偽造裏  
 書人ノ前者ト偽造裏書受取人トノ間ニハ債權ノ移轉ナケレハナリ又後說ニ依  
 ルモ契約說ハ論理ニ適セサルコトアリ何トナレハ手形受取人カ盜難遺失等ニ  
 因リ手形ヲ失ヒタル場合ニ其占有者カ偽造裏書ヲ爲シタルトキハ受取人ハ所  
 持人ト振出人トノ意思ヲ一致セシムル爲メ即チ其間ニ契約ヲ成立セシムル爲  
 メ仲介ノ勞ヲ取レリト謂フコト能ハサレハナリ而シテ此規定ハ一方行爲說ニ  
 據ルニ非サレハ允當ナル説明ヲ得ルコト能ハサルヘシ  
 尙ホ契約說ニ據リテハ説明シ難キ一點アリ爲替手形支拂ノ引受ニ關スルモノ  
 是ナリ蓋シ手形支拂ノ義務ハ手形面ニ支拂人ト指定セラレタルカ故ニ直チニ  
 發生スルモノニ非ス支拂人カ手形ノ引受ヲ爲セタルトキ始メテ其義務ヲ生ス

ルモノトス今所持人カ支拂人ニ對シ手形ニ記載シタル金額全部ノ支拂ノ引受ヲ請求シタリト假定センニ支拂人ハ之ヲ拒ム權利ナシ若シ手形上ノ債務ハ總テ當事者ヲ得ヘシ而シテ所持人ハ之ヲ拒ム權利ナシ若シ手形上ノ債務ハ總テ當事者ノ契約ニ因リテ生スルモノトセハ支拂人一部ノ引受ハ所持人ニ於テ拒ムコトヲ得ルモノト謂ハサルヘカラス故ニ契約說ハ少クトモ偽造裏書ノ場合及ヒ一部引受ノ場合ニ於テ其論理ヲ貫クコト能ハス蓋シ單獨行為說ノ行ハルル所以ナリ我手形法則ハ如何ナル說ヲ採用シタルモノナルカヲ攻究スルコトハ學理研究ノ上ニ於テハ頗ル價值アル問題ナリ而モ如何ナル主義ヲ採用シタルカハ手形法文ニ之ヲ記載スヘキモノニ非サルコト勿論ニシテ立法ノ理由トモ謂フヘキ商法參考書ニ於テモ之ヲ明示セス又法典調査會ニ於テモ嘗テ此主義ニ關スル論議ノアリタルコトヲモ開カサレハ立法者ハ果シテ如何ナル說ヲ採用シタルヤヲ斷言スルコト能ハスト雖モ今試ニ改正商法ヲ觀ルニ引受ニ關スル第四百六十八條第二項ニ依レハ引受人カ手形ニ署名ヲ爲シタル時ハ直チニ引受カ成立シタルモノナリト云フ解釋ヲ容ルル如キ引受ハ一部ノモノト雖モ當然其效

力ヲ生スルノ規定ノ如キ又偽造製造ニ關スル第四百三十七條及ヒ第四百三十八條ノ規定ノ如キハ契約說ヲ以テハ允當ナル說明ヲ爲スニ由ナキ等ノ法文アルヨリ推考スレハ新商法ハ寧ロ單獨行為說ニ據リタルモノト謂フコトヲ得ヘキカ如シ然リト雖モ是レ仍ホ學者間ニ於ケル未定ノ一大題ニ屬スル事項ナルヲ以テ容易ニ斷定スヘキモノニ非サルヤ言フヲ俟タス唯吾輩ハ單獨行為說ハ新商法ノ規定ノ基ク所ナルヘシト解釋スルヲ以テ允當ナリト信スルニ過キサルナリ

以下手形ニ關スル商法ノ規定ニ付キ說明セントス

## 第一章 總論

### 第一節 手形ノ區別

手形ヲ區別シテ爲替手形約束手形小切手ノ三種ト爲シタルハ新商法ノ規定ナリ爲替手形ト約束手形トノ區別ハ手形行為ニ因ル權利ノ性質ニ依リテ之ヲ求ムヘキニ非ス蓋シ手形債務ハ形式ニ依リテノミ成立スヘキモノニシテ形式ハ

即チ手形權利ノ發生スル原因ナリト謂フヘシ故ニ各手形ノ形式ニ依リテ之ヲ區別スルハ最モ明瞭ニシテ且ツ簡易ナリト信ス爲替手形ニ於テハ形式上必ス支拂ノ委託ヲ示スコトヲ要ス支拂ノ委託ナキトキハ爲替手形ニ非ナルナリ但シ支拂ノ委託ハ事實上存スルコトヲ必要トセス事實上支拂ノ委託アリシヤ否ヤハ爲替手形ノ成立ニ關係ナシ苟モ手形ニ支拂委託ノ記載アレハ縱令其記載ハ事實ニ反スルトキト雖モ爲替手形ノ形式ニシテ完全ナル以上ハ手形トシテ其效力ヲ有ス勿論一面識ナキ者ニ對シ振出人カ手形ノ支拂ヲ委託スルコトハ極メテ稀ナルノミナラス殆ト其例ナキコトニシテ振出人ト支拂人トノ間ニ於テハ手形關係以外ニ於テ貸借其他ノ債務關係アルニ因リ委託ヲ爲スヲ通例トスルモ此等ノ關係ノ存在ハ委託ヲ爲スノ要件ニ非ス而シテ爲替手形支拂ノ委託ナルモノノ徵標ハ我國ニ於テハ爲替手形ノ末文ニ「御支拂可被下候又ハ御支拂可被成候」ト記載スルニ在リ

此ノ如ク爲替手形ニハ支拂ノ委託ヲ要スルカ故ニ其必然ノ結果トシテ手形ノ形式上少クトモ三人格ヲ要ス手形ヲ作成シテ支拂ノ委託ヲ爲ス者即チ振出人

手形支拂ノ委託ヲ受クル者即チ支拂人最初ニ手形上ノ權利ヲ享有スル者即チ受取人はナリ而シテ通例ノ場合ニ於テハ振出人支拂人及ヒ受取人ハ各別人ナルモ必スシモ別人タルコトヲ要セス舊商法ニ於テモ又新商法ニ於テモ振出人ハ自己ヲ支拂人又ハ受取人ト爲スコト隨意ナリ

右三人格ヲ具備シ且ツ其記載事項ニシテ法律ニ適スルニ於テハ茲ニ手形債務ハ發生ス然レトモ前ニモ述ヘタルカ如ク手形ノ支拂ノ義務ハ手形ニ支拂人ト記載セラレタルノミヲ以テ直チニ生スルモノニ非ス支拂人ノ支拂義務ハ所持人ニ對シテ支拂ノ引受ヲ爲シタル時始メテ生スルモノナリ故ニ支拂人カ引受ヲ爲サナル以前ニ於テハ決シテ手形ノ主タル義務者ナシ手形所持人ハ振出人及ヒ其前者タル裏書人ニ對シテ條件附債權ヲ有スルニ過キス換言セハ手形カ支拂ハレサル場合ニ於テ振出人及ヒ其裏書人ニ對シテ償還請求ヲ爲スコトヲ得ヘキノミ

約束手形ハ全ク之ト異ニシテ所謂支拂ノ委託ナルモノヲ包含セス宛モ單純ナル債務證書ニ於ケルモノノ如ク二人格間ニ於テ成立ス實際ニ於テモ手形面上



彼此ノ區別ヲ爲スヘキ徵標ハ極メテ明白ニシテ振出人ハ白ラ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載ス即チ支拂可申候ノ文言ヲ以テスルヲ通例トシ決シテ他ニ支拂ヲ委託スルコトナシ故ニ約束手形ノ振出人ハ主タル債務者ニシテ償還義務者ニ非ス之ニ反シテ爲替手形ニ於テハ振出人ハ支拂ノ義務ナク單ニ償還義務ヲ負フニ過キス

前ニ述ヘタルカ如ク爲替手形ノ振出人ハ自己ヲ支拂人ト爲スコトヲ得ルカ故ニ此場合ニ於ケル爲替手形ハ一見約束手形ト區別ナキカ如シト雖モ二者同一ニ非サルコト極メテ明カナリ何トナレハ爲替手形ノ振出人ハ自己ヲ支拂人ト爲セタルトキト雖モ支拂ノ引受ヲ爲スニ非サレハ支拂ノ義務ヲ有スルコトナケレハナリ故ニ爲替手形ノ所持人ニシテ主タル債務者ヲ得ントスルニハ振出人ナル支拂人ニ對シテ支拂ノ引受ヲ求ムル手續ヲ要スルモノトス

小切手トハ寄託其他ノ方法ニ因リ支拂人ヨリ金錢ヲ引出シ得ヘキ者カ之ニ對シ自己又ハ第三者ニ一定ノ金額ヲ支拂ハシムルコトヲ委託スル證券ナルカ故ニ爲替手形ニ於ケルト同シク其成立ニハ必ス三人格即チ振出人支拂人受取人

アルコトヲ要シ形式上二者殆ト同一ナリトス然レトモ其支拂ノ委託ヲ爲ス人ト支拂ノ委託ヲ受クル人トノ關係ハ爲替手形ニ於テ支拂ノ委託ヲ爲ス者ト其委託ヲ受クル者トノ間ニ存スルモノノ如クナルコトヲ得ス小切手ニ依ル支拂ノ委託ハ爲替手形ニ於ケルカ如ク何人ヨリ何人ニ對シテモ之ヲ爲シ得ルモノニ非ス小切手ノ支拂人ト爲ル者ハ寄託其他ノ方法ニ因リ其振出人ニ對シ金錢ヲ拂出ス債務ヲ有スルカ若クハ之カ爲メ信用ヲ與フル者ナラサルヘカラス即チ小切手ニ於テハ其成立ト同時ニ振出人ト支拂人トノ間ニ於テハ他ノ法律關係ニ因ル金錢上ノ債務關係アルモノナリ而シテ小切手ニハ支拂ノ引受ニ關スル規定ノ適用ナシ(第五三〇條第五三一條第五三六條第五三七條參照)

小切手ノ支拂人ハ必スシモ商人タルコトヲ要セサルモ普通ノ場合ニ於テハ其支拂人ハ銀行ナリ銀行ニ非スシテ小切手ノ支拂人タル場合ハ實際上殆ト之ナシ蓋シ小切手ノ用ハ商人又ハ其他頻繁ナル金錢ノ取扱ヲ爲ス者カ自ラ之ヲ保管スルコトヲ爲サス勞費ヲ省キ且ツ安全ノ保管ヲ爲スカ爲メ之ヲ銀行ニ委託シ其需要ニ應シ自己又ハ債權者ノ爲メ其保管セシムル金錢ヲ銀行ヨリ引出ス

便宜ニ供スル場合特ニ多シ是レ實際ニ於テハ銀行營業人ニ非サル者カ小切手ノ支拂人タルコトナキ所以ナリ舊商法ニ於テハ支拂人ハ必ス銀行タルコトヲ要シ其他ノ者ハ支拂人ト爲ルコトヲ得ザリシモ斯ル狹隘ナル規定ヲ存スヘキ理由ナキカ故ニ新商法ニ於テハ此制限ヲ排斥シタリ(第五三〇條)是レ新舊法ニ於ケル差異ノ著シキ所ナリ

以上ヲ以テ手形ニ於ケル三種ノ區別ノ概要ヲ説明セリ以下其特別ノ性質ニ付キ説明セントス

## 第二節 手形債務ノ特質

手形債務ノ性質ノ特別ナル要點ハ峻嚴ナル規定ニ依ルヘキモノナリト云フニ在リ換言スレハ嚴格ナル規定ノ支配ヲ受クルモノナルコト是ナリ左ニ其點ヲ説明スヘシ

第一 手形債務ハ嚴格ナル形式ニ依ルニ非サレハ成立スルコトヲ得ス是レ其重ナル點ナリ既ニ緒言ニ於テモ述ヘタルカ如ク手形債務ハ書面ニ依リテノミ

成立スルモノナルカ故ニ書面ナキ場合ニハ縱令如何ナル明確ノ意思表示アルモ所謂手形債務ハ成立スルコトナシ手形債務ノ成立ニハ法律ノ規定シタル形式ニ從ヒ手形ヲ作成スルコトヲ必要トス此規定ニ依リテ振出人カ其意思ヲ表示シ署名ヲ爲シタルトキ始メテ手形債務カ成立ス振出人ノ署名ハ自署ナルコトヲ要スルヤ言フ俟タス若シ其署名ニシテ真正ナルモノニ非サルトキハ振出人ニ對シ手形上ノ效力ヲ生スルコトナシ或ハ非難シテ曰ハン手形ハ峻嚴ナル形式ニ依リテ成立スルモノナリトスル以上ハ他人ノ偽造ニ係ル手形ニ付テモ其偽造セラレタル者ヲシテ善意ノ取得者ニ對シテハ有效ニ義務ヲ負擔セシムヘキ規定ヲ設ケサレハ手形ノ融通ヲ妨害スルニ至ラント然レトモ所謂手形ノ峻嚴ナル規定ヲ以テ此ノ如ク極端ニマテ適用スル必要ナシ何トナレハ手形ノ債務ハ形式ニ重キヲ置キテ成立スルモノナリトスルモ自ラ債務ヲ負擔スルノ意思ヲ表示セサル者ニ對シテモ債務ヲ負擔セシムヘキ理ナケレハナリ故ニ手形債務ノ成立ハ嚴格ナル形式ニ依ルト同時ニ其作成者ハ眞ニ自己ノ意思ヲ表示スルヲ必要トス而シテ手形ノ署名ハ必ス自署スルコトヲ要シ活字其他印刷方

法ニ依ル記名ハ手形ヲ成立セシムル效力ナキモノトシ偽造ヲ防クコトヲ期シタル商法ノ規定ハ昨年二月二十四日ノ法律第十七號ニ因リテ其目的ノ幾部ヲ浸蝕セラル何トナレハ此法律ニ依レハ自署ニ代フルニ記名捺印ヲ以テスルコトヲ得ルカ故ニ記名ハ代書若クハ印刷ニ依ルコトヲ妨ケサルニ至レルヲ以テナリ」手形ハ代理人ヲシテ之ヲ振出サシムルコトヲ得但シ代理人ヲシテ手形ヲ作成セシムル場合ニ於テハ代理人ハ手形行爲ノ當事者ニ非サルコト勿論ナレトモ代理人ノ作成シタル手形カ本人ノ爲メニ有效ナルニハ手形面ニ代理ノ旨ヲ記載セサルヘカラス諸君ノ既ニ知ラルル如ク新商法ニ於テハ商行爲ノ代理ハ代理人カ本人ノ爲メニスルコトヲ示ササルモ代理ノ效力ヲ生スヘキモノトセリ(第二六六條)而シテ手形行爲ハ商行爲第二六三條第四ナルモ之ニ依ルヘキモノニ非ス手形行爲ニ於ケル代理ハ手形上明カニ其代理タル旨ヲ記載スルコトヲ要ス若シ其記載ナキトキハ代理ニ由ルモノナリトノ證據ハ如何ニ明瞭ナルニモ拘ハラス手形ハ代理人其者ノ行爲トシテ效力ヲ生スヘキノミ(第四三五條第四三六條)是レ手形ハ要式的行爲ナリトノ結果ニ外ナラス

以上述フルカ如ク法律ノ規定ニ依ル書面ニ因リテノミ成立スル手形行爲ハ各獨立シテ一ノ手形行爲ヲ爲スモノナルヲ以テ手形ノ形式ヲ具備シタル手形ニ因ル行爲ノ取消又ハ無効ノ事由ハ其他ノ手形上ノモノニ何等ノ影響ヲ及ホスコトナシ例ヘハ無能力者カ手形ノ振出人トシテ手形ヲ振出シタル場合ニ於テハ振出人ハ其取消ヲ請求スルコトヲ得ヘク若シ之ヲ取消シタルトキハ振出人ハ固ヨリ手形上ノ義務ヲ負フコトナシ然レトモ他ノ手形關係人ノ行爲ハ之カ爲メニ影響ヲ受クルコトナキカ如シ此場合ノ振出人ハ手形上債務ヲ負フコトナキモ其支拂ノ引受ヲ爲シタル者ハ振出人ニ義務ナキコトヲ理由トシ手形取得者ニ對シテ手形金額ノ支拂義務ナキコトヲ主張スルコトヲ得ス蓋シ手形行爲ハ各獨立ナルモノニシテ一ノ手形行爲ハ他ノ行爲トハ此點ニ於テハ何等ノ關係ナケレハナリ又例ヘハ甲者カ乙者ノ商界ニ信用アルコトヲ知り其氏名ヲ偽造シテ爲替手形ヲ振出シタルトモ乙者ハ之ニ因リ手形上義務ヲ負ハサルコトハ前例振出人ノ如シ然レトモ若シ其手形ノ受取人ナル丙者カ丁者ニ裏書讓渡ヲ爲シタルトキハ乙者ハ手形上ノ義務ヲ負フコトナキニ拘ラス丙者ハ

手形裏書人トシテ丁者ニ對シ償還義務ヲ負擔セサルヘカラス又右ノ場合ニ於テ手形保證ヲ爲シタル者アルトキハ其者ハ手形所持人ニ對シ保證ニ因ル手形義務ヲ負ハサルヘカラス

手形行爲ハ嚴格ナル方式ニ依リ成立スルモノナリトノ結果トシテ若シ原手形ノ形式ニ欠缺アルトキハ手形ニ關スル總テノ行爲裏書引受保證モ亦無効ナリ何トナレハ基本タル手形ノ無効ハ之ニ附帶シテ成立スルコトヲ得ル他ノ行爲ノ成立ヲ妨クルコトハ必然ノ理ナレハナリ例ヘハ拾五圓ノ金額ヲ記載シタル爲替手形ヲ無記名式ニテ振出シタル場合ニ於テ支拂人カ引受ヲ爲シタルトキノ如シ其引受人ハ此手形上ノ義務ヲ負フコトナシ何トナレハ此場合ニ於テハ原手形自體カ適法ニ存在セサルカ故ニ縱令支拂人ノ引受行爲アリトスルモ引受ノ效力ヲ生スルヲ得ザレハナリ或ハ之ヲ以テ手形行爲ハ獨立ナリトノ原則ニ反セサルヤノ疑念ヲ生スル者アラン然レトモ各手形債務ハ獨立シテ成立スルモノナリトノ規則ハ基本タル手形カ適法ニ成立シタルコトヲ前提條件トスルニ依リテ存スルモノニシテ根本タル手形ニ形式ヲ缺ク場合ト雖モ爾後ノ手

形行爲カ成立スト謂フニ非サルナリ要スルニ手形行爲ノ獨立トハ原手形形式カ完全ニ具備シ有效ニ成立シタルトキ之ニ依リテ爲シタル行爲ニ付キ謂フヘキモノナリ(第四三五條第四三七條參照)

第二 手形ノ債務ニハ原因ヲ必要トセス此點ハ益以テ手形上ノ債務ハ嚴格ナル形式ニ依リ存スルモノナルコトヲ表示スルモノナリ法律上形式ニ適合スル手形自體ハ即チ手形債務ノ原因ナリ換言スレハ手形債務ハ法律ノ規定ニ從ヒテ作成シタル手形カ存スル以上ハ其成立スルニ至リタル理由ノ如何ヲ問ハス直チニ成立スルモノト謂ハサルヘカラス蓋シ手形債務ハ手形ノ形式ヲ具備シタル書面ニ依リテ直チニ成立シ其成立ノ原因ヲ問ハストノ規定ハ前項ニ於テ述ベタル如ク手形ハ峻嚴ナル方式ニ依リテ成立スト云フ規定ト相持チテ缺クヘカラサルモノナリ何トナレハ手形債務ハ手形ノ作成ニ依リテ直チニ成立スルモノナリトスルモ若シ其成立シタル債務原因ニ遡リテ債務ノ有無ヲ爭フコトヲ許スニ於テハ手形ハ到底安全ニ容易ニ流通スルコトヲ得サルノ結果ヲ生スレハナリ若シ手形ヲ取得セント欲スル者ハ手形ノ支拂人ハ果シテ手形以外ニ於

テ其支拂ヲ爲ス義務ヲ有シ支拂ヲ承諾シタル者ナリヤ否ヤ又償還請求ヲ受テ  
 ヘキ者ハ既ニ手形ノ對價ヲ受取リタルニ因リテ償還ノ義務ヲ有スルヤ否ヤヲ  
 調査スルコトヲ要ストセシカ手形ハ裏書ニ依リ又受渡シノミニ依リテ移轉ス  
 ルコトヲ得ス隨テ流通證券タルコト能ハサルナリ故ニ手形ノ債務ハ手形ノ存  
 立ノミニテ成立スルモノト爲ササルヘカラスヤ明カナリ舊商法ニ於テハ特  
 ニ之ニ關スル條文ヲ設ケタリシモ新商法ハ之ヲ刪除シタリ蓋シ事理當然ナル  
 ニ因ルナリ

第三 手形債務カ峻嚴ナルコトハ手形債務者カ手形債權者ニ對抗シ得ヘキ抗  
 辯事由ノ制限ニ於テ其著シキヲ見ルヘシ手形債務者カ手形上ノ權利ヲ行フ者ニ  
 對シテ對抗シ得ヘキ事由ハ他ノ一般法律行爲ニ於ケルモノト同シカラス其對  
 抗シ得ヘキ事由ハ手形ノ規定上特ニ定メタルモノ又ハ債務者ヨリ債權者ニ對  
 シ直接ニ對抗シ得ヘキモノナラサルヘカラス例ヘハ手形ノ形式カ具備セザル  
 コト裏書ニ間斷アルコト(第四六四條)呈示期間ヲ經過シタルコト(第四六六條)第  
 二項第五二七條第二項手形上ノ手續ニ欠缺アルコト等ヲ以テ抗辯ノ事由ト爲

スカ如キハ法律ノ規定ニ依ルモノナリ(第四四〇條)第四六七條第二項第四七二  
 條第二項第四八二條第二項第四八七條第二項第四八八條第四九〇條第二項、第  
 五〇〇條第一項第五〇五條第五〇八條第三項第五二一條第二項第五二八條第  
 二項第五三三條第二項參照)

次ニ直接ノ抗辯トハ例ヘハ手形ノ債務者カ訴ヲ受ケタル場合ニ於テ其請求者  
 ハ惡意ノ手形所持人ナルコト即チ偽造變造ノ手形ナルコトヲ知リテ讓受ケタ  
 ル者ナルコトヲ以テ抗辯ノ事由ト爲ス場合又ハ詐欺強暴ニ因リテ手形ヲ作成  
 シタル手形債務者ハ詐欺強暴者ニ對シテノミ之ヲ以テ抗辯ノ事由ト爲スコト  
 ヲ得ヘキ場合ノ如シ故ニ若シ其手形カ轉轉シテ善意ノ取得者ニ歸シ又ハ詐欺  
 強暴者以外ノ所持人カ之ヲ取得シタルトキハ之ニ對シテハ復タ右ノ事由ヲ對  
 抗スルコトヲ得サルナリ

第四 手形債務ハ峻嚴ナル法則ニ從フコト右ニ説明シタルカ如クナルノミナ  
 ラス手形權利ヲ行フ者モ亦峻嚴ナル規定ノ下ニ在リテ其權利ヲ行使セザルヘ  
 カラス例ヘハ手形ノ所持人カ完全ニ其權利ヲ保全セントスルニハ滿期日又ハ

其後二日內ニ支拂拒絶證書ヲ作ラシメ且ツ償還ヲ爲サシメント欲スル者ニ對シ拒絶證書作成ノ翌日マテニ償還請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要スルカ如シ手形ノ支拂ナカリシトキハ嚴格ナル要式證書ニ依リテ支拂ナカリシコトヲ證明シ一定ノ期間內ニ償還ノ通知ヲ發スルニ非サレハ權利ヲ喪失スル結果ヲ生スヘシ(第四八七條第二項第四八八條第二項第四九〇條第二項)而シテ此拒絶證書ノ作成償還請求ノ通知ノ如キハ手形上ノ權利ヲ保全スルニ必要ニシテ他ノ行爲ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得サルナリ

第五 手形上ノ債權ハ書面ニ依リテ生スルモノナリトノ結果トシテ其權利ハ手形證券ニ依ルニ非サレハ之ヲ行フコトヲ得ス若シ手形債權者カ之ヲ失フトキハ其權利ハ必スシモ之ヲ失フモノニ非スト雖モ權利喪失ノ結果ヲ來スコトアルヲ免レサルナリ手形債權者カ手形上ノ權利ヲ行使スルニ其手形ヲ要スルコトハ種種ノ場合アルモ殊ニ第四百八十三條第四百九十五條ニ於テ明カニ之ヲ知ルコトヲ得ヘレ

手形上ノ債權ハ手形ヲ喪失スルニ因リ必スシモ之ヲ喪失スルニ非サレトモ手

形ノ喪失ハ事實上頗ル危險ニシテ或ハ權利ヲ行フコト能ハサルニ至ルコトアリ何トナレハ手形ヲ紛失シ又ハ竊取セラレタル場合ニ於テハ拾者竊取者ニ對シテハ手形ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ヘシト雖モ若シ其手形カ輾轉シテ善意且ツ過失ナキ第三者ノ占有ニ移リタルトキハ復タ之ヲ取戻スニ由ナク終ニ其權利ヲ行フコトヲ得サルニ至レハナリ(第四四一條)蓋シ手形ヲ紛失シテ其所在ヲ知ル能サルトキハ公示催告ノ方法ニ依ル權利保護ノ途ナキニ非スト雖モ然レトモ其目的ハ必ス之ヲ達スルコトヲ得ルモノト謂フヘカラス何トナレハ公示催告ハ善意且ツ過失ナクシテ手形ヲ取得シタル者アリテ其權利ヲ行使スル場合ニ於テハ之ニ對シ何等ノ效果ヲ生セサレハナリ(第四四一條第二八一條)民事訴訟法第七七條乃至第七八五條

右ニ述ヘタルカ如ク手形債務ハ極メテ峻嚴ナル規定ニ依リ存スルモノナルカ故ニ利害關係人ノ爲メ且ツ手形ノ流通上此規定ヲ融和スル特別規定ヲ要ス即チ手形債權ハ他ノ一般ノ商行爲ニ因ル債權ニ比スレハ短期間ニ於テ時効ニ罹ルモノトセリ(第四四三條)舊商法ノ規定ニ依レハ手形債權ノ時効ハ主タル債權

及ヒ償還請求權ニ付キ其期間ヲ同一ニシ總テ三年トセリ新商法ニ於テハ之ニ修正ヲ加ヘ主タル債務者ニ對スル場合ト償還義務者ニ對スル場合トヲ區別シ其時効期間ヲ異ニシ主タル債務者ニ對シテハ手形上ノ債權ハ滿期日ヨリ三年ヲ經過スルトキハ消滅スルヲ原則トシ償還義務者ニ對スル債權ハ此權利ヲ行フヘキ者ノ地位ニ依リテ其起算點ヲ異ニスト雖モ時効ノ期間ハ總テ六箇月トセリ即チ所持人カ其前者ニ對スル償還請求權ハ支拂拒絕證書作成ノ日ヨリ起算シテ六箇月裏書人ノ其前者ニ對スル償還請求權ハ償還ヲ爲シタル日ヨリ起算シテ六箇月トス斯ク時効ヲ短縮シタル理由ハ手形ノ流通ヲ容易ナラシムル爲メニ外ナラス右ノ外手形時効ノ效力手形義務消滅ノ抗辯ノ方法時効ノ中斷停止不可抗力ニ因ル時効期間ノ延長等ノ如キハ民法ノ規定スル所ニ從ヒ商法ニ於テハ別ニ之ヲ規定セス(第四四三條第一條民法第一四四條乃至第一六一條商法施行法第一二三條)

### 第三節 手形債務ニ關スル不當ノ利得

前ニ述フルカ如ク手形ノ債權ハ極メテ嚴格ナル規定ニ支配セラレルノミナラズ其存續スル時期モ亦一般債權ヨリ短縮セラレタリ是レ手形ノ流通ヲ容易ナラシメ且ツ其信用ヲ確保スルニ缺クヘカラサルニ由レリ然レトモ手形法則ノ嚴格ナルカ爲メ手形債權ヲ行使スルコト能ハサリシ者又ハ手形時効カ短期間ニ滿了スル爲メ或事情ニ因リ權利ヲ保全スルコト能ハサル者ナキヲ保スヘカラス故ニ此點ヨリ觀察スレハ單ニ債權ヲ喪失セシムルハ甚タ苛酷ニ失スルカ如シ加之他ノ一方ヨリ觀察スルトキハ正當ノ理由ナクシテ自己ヲ利スル者即チ所謂他人ノ損害ニ因リテ自己ヲ利スル者ナキニ非ス此ノ如キハ正義ニ適合スルモノト謂フヘカラス故ニ法律ハ正理ト失權ノ規定トヲ調和シ得ヘキ規定ヲ設ケタリ第四百四十四條即チ是ナリ之ニ依レハ手形上ノ權利ヲ喪失シタル者ト雖モ若シ或條件ヲ具備スルトキハ其失權ニ因ル損害ノ幾分ヲ回復スルコトヲ得而シテ其條件トハ手形債權ニ關スル不當利得ニ因ル法律關係ノ存スル場合ニ在ルコトヲ謂フナリ今之ヲ分釋スルトキハ左ノ三條件ト爲ル

第一 手形上ノ債權ハ正當ニ成立シタルコト 故ニ手形カ本來無効ナリシカ

商法手形論 手形債務ニ關スル不當ノ利得

爲メ債權ヲ行フコトヲ得ザリシトキハ此條文ノ適用ヲ受クヘキモノニ非ナルナリ

第二 其債權ハ時效又ハ手形規定ニ依ル手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタルコト  
第三 其手形債權ノ消滅ニ因リテ不當ニ利益ヲ取得シタル者アルコト  
右三條件ノ具備シタル場合ニ於テハ手形債權ヲ喪失シタル者ハ其喪失ニ因リテ利益ヲ得タル者ニ對シテ求償ヲ爲スコトヲ得所謂手形債權者カ其手形債權ヲ喪失シタルニ因リテ利得ヲ得ル者トハ手形資金ノ義務者又ハ手形對價ノ義務者ニシテ其義務ヲ履行セサル者ナリ例ヘハ手形振出人ハ支拂人ニ對シテ資金ノ支拂ヲ爲スヘキ義務アリ今若シ支拂人ニ於テハ振出人ヨリ資金ヲ受取り引受ヲ爲シタルニ拘ラス其手形ノ支拂ヲ爲ササルトキハ不當ニ利得ヲ爲ス者ナリ又振出人カ資金ヲ支拂フコトナクシテ手形ヲ振出し其對價ヲ受取リタルトキハ亦不當ニ利得ヲ爲ス者トス故ニ此等ノ場合ニ於テ手形債權ノ喪失者ハ場合ニ從ヒ支拂人又ハ振出人ニ對シ其受ケタル利益ノ限度ニ於テ求償ヲ爲スコトヲ得

以上ハ手形法則ノ全體ニ涉ル説明ノ概略ナリ次ニ内外交渉ノ手形法則ノ説明ヲ爲スコトヲ至當ナリト信スト雖モ其説明ヲ爲スニハ商法施行法及ヒ國際私法ノ範圍ニ論及スルコトヲ要シ手形法則ノ全體ニ通スルニ非サレハ了解シ難キコト多キヲ以テ今ハ之ヲ略ス

## 第二章 爲替手形

### 第一節 振出

第一款 爲替手形ニ必要ナル記載ノ事項即チ爲替手形ノ形式的要件

商法第四百四十五條ハ所謂爲替手形ノ形式的要件ヲ定メタル規定ニシテ之ニ依レハ其事項ハ左ノ如シ

第一 爲替手形タルコトヲ示スヘキ文字 緒言並ニ前章ニ述ヘタル如ク手形ニハ三種ノ區別アリ之ニ適用スヘキ規定モ亦異ナレリ然レトモ相類似スルモノナルカ故ニ彼此相混淆スル如キ危険アルヲ免レス此混淆ヲ避クルコトヲ曰

商法手形 爲替手形 振出



的トシテ爲替手形ニハ其爲替手形タルコトヲ示スニ足ルヘキ文字ヲ記載スルコトヲ必要トセリ蓋シ此規定ハ管ニ手形ノ區別ヲ一見明瞭ナラシムル便利アルノミナラス手形行爲ハ要式行爲ナリト云フ原則ヲ明カニスル點ニ於テ適當ナルモノトス

爲替手形ニハ爲替手形タルコトヲ示スヘキ文字ヲ記載スルヲ必要ナリトスルモ其文字ハ手形ノ何レノ箇所ニ記載スヘキヤノ點ハ法文ノ明示セザル所ナリ吾輩ノ信スル所ニ據レハ此文字ハ手形ノ主タル部分ニ記載シ殊ニ其表面ニ記載スヘキモノナリ何トナレハ若シ何レノ箇所ニ記載スルモ隨意ナリトセンニハ爲替手形ニ非ナルモノモ或ハ之ヲ爲替手形ト變更シ得ル危險アルヲ免レザレハナリ法律ハ形式ヲ明確ナラシムルカ爲メ爲替手形タルコトヲ示スヘキ文字ノ記載ヲ命シ之ニ因リ却テ危害ヲ生セシムル如キ結果ヲ容ルヘキ理ナシ而シテ現今實行セラルル爲替手形ニ於テハ手形文言中ニ記サス恰モ表題ノ如ク其初ニ記載スルモノヲ通例トス然レトモ他國ニ於テ行ハルモノハ其文言中ニ記載スルヲ例トスルモノノ如シ

爲替手形タルコトヲ示スヘキ文字ハ我國ニ於テハ爲替手形ト書クノ外ナキカ如シ故ニ法律ノ命スル所ハ頗ル汎博ナルモ實際ニ於テハ此四字ヲ以テ之ニ充ツルコトト爲ルヘシ

右ニ述フルカ如ク爲替手形タルコトヲ示ス文字ハ必ス缺クヘカラサルコト勿論ナルモ尙ホ之ニ他ノ文字ヲ加フルモ爲替手形タルコトヲ示スニ害ナキ限りハ決シテ不可ナリト謂フヘカラス又外國語ヲ以テ作成スル爲替手形ニ於テハ其國語ニ相當スルモノヲ記載スレハ足ル

第二 一定ノ金額 爲替手形ニ依リテ支拂フヘキ金額ハ一定ナルコトヲ要ス故ニ其金額カ一定セザルモノハ無効ナリ一定ノ金額ヲ以テ手形債務ノ目的ト爲スコトハ手形ノ流通上ニ於テ極メテ必要ナリト謂ハサルヘカラス蓋シ手形ハ交通上宛モ金錢ニ代用セラルヘキ如キモノナルヲ以テ支拂ハルヘキ金額ハ一見明瞭ナルヲ要スレハナリ故ニ例ヘハ金百圓乃至千圓ト記載スル如キハ爲替手形ノ金額トシテ無効ナリトス

爲替手形ノ目的ハ必ス一定ノ金額タルコトヲ要スルカ故ニ金額以外ノ物ヲ以

ヲ爲替手形ノ自的ト爲ス手形ハ爲替手形タル效力ヲ有セス縱令其目的ハ有價證券ナルトキト雖モ決シテ爲替手形タルコトヲ得サレバナリ伊太利商法ニ於テハ爲替手形ナルモノヲ認メタレトモ我國ニ於テハ之ヲ採用セザリシ  
 爲替手形ノ金額ハ一定セサルヘカラスト云フ規定ノ結果トシテ種種ノ問題ヲ想像シ得ヘシ例ヘハ爲替手形ニ利息附ノ金額ヲ記載シタルトキハ其爲替手形ハ有效ナリヤ否ヤ爲替金額百圓ト記載シ之ニ年六分ノ利息ヲ附スル旨ヲ記載シタル爲替手形ハ有效ナリヤ否ヤ換言スレハ斯ル場合ニ於テハ其金額ハ一定シタルモノナリト謂フコトヲ得ヘキヤ否ヤ獨逸手形法ニ於テハ利息ノ記載アルモノ之ヲ以テ手形ヲ無効ナリトセス利子ハ記載ナキモノトセリ(獨逸手形法第七條我商法ニ於テハ其第四百四十五條ニ一定ノ金額ノ記載アルコトヲ必要トシタルモ別ニ獨逸法ノ如キ規定ナシ然レトモ吾輩ハ斯ル記載ヲ爲セタル爲替手形ハ無効ナリト信スル者ナリ蓋シ一定ノ利率ノ記載アルトキハ手形ノ日附ト滿期日トヲ以テ其金額ヲ算出シ得サルニ非スト雖モ計算ヲ要シ始メテ金額ヲ知ルコトヲ得ルモノハ既ニ一定シタル金額ナリト謂フヘカラスト況ヤ一覽拂ノ

手形ナルトキハ其呈示ノ時ヲ豫知スヘカラスト隨テ金額ハ一定セリト謂フヘカラサルニ於テヲヤ

次ニ金額ハ如何ナル文字ヲ以テ記載スルコトヲ要スルカ舊商法ニ於テハ爲替金額ハ必ス文辭ヲ以テ記スヘキモノトシタルカ故ニ例ヘハ一ヨリ九ニ至ル數字ノミニテ金額ヲ示スモノハ無効ナリトセリ(舊商法第七一六條新商法ニハ單ニ一定ノ金額トシテ規定シアリテ其金額ヲ表示スヘキ文字如何ヲ示サス是ヲ以テ解釋スレハ新商法ニ於テハ舊商法ノ如ク必スシモ文辭ヲ以テ金額ヲ記載スルコトヲ要セス一ヨリ九ニ至ル數字ヲ以テ記載スルモ隨意ナリト謂ハサルヘカラスト但シ一定ノ金額ヲ表示スルニ足ルモノナラサルヘカラスト勿論ナリ故ニ圓若クハ錢等ノ文字ヲ記入スルコトヲ要スルヤ言フ埃タサルナリ或ハ數字ヲ以テ金額ヲ記載スルコトハ容易ニ之ヲ變更スル危險アルヲ以テ文辭ヲ以テ記載セサルヘカラスト論スル者ナキニ非サルヘシト雖モ其危險ヲ避クルト否トハ各人ノ隨意ニ任スヘキモノニシテ法律ヲ以テ干渉スヘキコトニ非サルナリ且ツ數字ヲ變更セントスル者ハ文辭ト雖モ亦之ヲ變更スルコトヲ憚

ラサルヘケレハ變更ニ難易ノ差別アルニ過キスシテ之ヲ以テ規定ノ標準ト爲スヘキニ非ス是レ新商法ニ於テハ舊商法ノ如キ規定ヲ設ケザリシ所以ナルヘシ」  
 爲替手形ノ金額ハ必ス一定ナルコトヲ要ス今若シ一ノ爲替手形ニ於テ誤リテ二箇所ニ異ナリタル金額ヲ表示スル文字ノ記載アルトキハ其爲替手形ハ有效ナリヤ否ヤ若シ有效ナリトセハ其何レノ記載金額ヲ以テ正當ナルモノト爲スヘキヤ此問題ニ付テハ各國ノ法制相一致セズ獨逸手形法ニ於テハ小額ノ記載ニ從ヒテ支拂ヲ爲スヘキモノトセリ(獨逸手形法第五條第三項我新商法ニ於テハ適用上多少ノ困難ヲ免レサルヘキモ手形ノ主タル部分ニ記載シタル金額ヲ支拂フヘキモノトシテ手形ノ效力ニハ影響ナキモノトセリ而シテ其主タル部分トハ果シテ何レノ部分ノ記載ヲ指スモノナルヤハ全然事實上ノ問題ニシテ法律問題ニ非ス故ニ各事件ニ付キ裁判官ノ判定ニ一任スル外ナシトス又爲替手形ノ金額ハ必スシモ通貨ニ依リ之ヲ記載スルコトヲ要セス外國ノ通貨ヲ以テ其記載ヲ爲スコトヲ妨ケサルナリ

第三 支拂人ノ氏名又ハ商號 支拂人トハ畢竟手形ノ宛名ニシテ主タル義務

者ト爲ルヘキ者ナリ凡ソ爲替手形ニ支拂人トシテ指定セラレタル者ハ必スシモ主タル義務者ト爲ルニ非ス主タル義務者ト爲ルコトアルヘキ者ニ過キス而シテ其宛名ハ必スシモ氏名タルコトヲ要セス商號ヲ以テ氏名ニ代フルコトヲ得舊商法ニ於テハ單ニ支拂人ノ氏名トノミアリテ商號ヲ以テ之ニ換フルコトヲ得ルヤ否ヤニ付キ明文ナシ故ニ或ハ商號ハ商人ノ商行為ニ付テハ商人ヲ代表スルモノナリトノ理由ヲ以テ商人ヲ支拂人ト指定スル場合ハ其商號ヲ用フルモ妨ケナシト論スル者アラン然レトモ予ハ舊商法ノ下ニ於テモ爲替手形ノ支拂人ト指定セラルヘキ者ハ非商人ハ勿論商人ト雖モ氏名以外ノ商號等ヲ以テ表示スルコトヲ得サルモノナリト信セリ蓋シ手形ハ峻嚴ナル形式ニ從ヒ成立スルモノナルヲ以テ法文ノ規定外ニ於テ形式ヲ認ムヘカラサレハナリ(舊商法第七一六條)

右ノ規定ニ依レハ支拂人ノ氏名又ハ商號ヲ記載スルコトハ必要ナルモ其住所ハ之ヲ記載スルコトヲ要セス但シ手形ニ支拂人ノ住所ヲ記載スルコトハ實際上極メテ便利ナリ是レ支拂人ニ手形ヲ呈示スルニ付キ特ニ其住所ヲ尋ヌル手

敷ヲ省クコトヲ得レハナリ

支拂人ノ住所ノ記載ハ手形ノ成立要件ニ非サルモ其要件トシテ取扱フヘキ場  
合アリ抑モ手形ニ其支拂地ヲ記載スルコトハ必要ナリト雖モ時ニ或ハ此記載  
ヲ爲ササルコトアリテ其手形カ無効ト爲ルコトアリ然レトモ若シ手形ニ支拂  
人ノ住所地ノ記載アルトキハ之ヲ以テ支拂地ト看做スカ故ニ其手形ハ有效ナ  
ルヘシ(第四五二條是レ支拂人ノ住所ノ記載カ手形成立ノ要件ト爲ル場合ナリ  
トス

爲替手形ノ支拂人ハ振出人ト異ナルヲ以テ通例トスレトモ振出人ハ自己ヲ支  
拂人トシテ記載スルコトヲ得是レ新舊法全ク同一ナル所ニシテ所謂自己拂爲  
替手形ナルモノナリ(第四四七條舊商法第七一七條)

自己拂ノ爲替手形ニ於テ若シ支拂人カ引受ヲ爲シタルトキハ實際<sup>〇</sup>上<sup>〇</sup>約束手形  
ト異ナル所ナキヲ以テ法律上自己拂ノ爲替手形ヲ認ムルノ必要ナシト思惟ス  
ル者アランカ是レ大ナル誤謬ナリ蓋シ約束手形ト自己拂爲替手形トハ之ヲ使  
用スル者ノ意思ヨリ觀察スルモ大ニ其趣ヲ異ニス例ヘハ本店ヨリ爲替手形ヲ

振出スニ付キ其支店ニ宛テタル如キハ約束手形ヲ振出スニ比シテ一層便利アリ  
ト謂フヘキカ如シ加之自己拂爲替手形ト約束手形トハ法律ノ規定上全然異ナ  
ルモノナレハ決シテ同一視スルコトヲ得サルモノトス今其重ナル差異ヲ擧ク  
レハ左ノ如シ

爲替手形ノ振出人ハ縱令同時ニ支拂人ナル場合ト雖モ手形上主タル債務者ニ  
非ス振出人カ手形所持人ノ請求ニ應ジテ引受ヲ爲シタル時始メテ其主タル債  
務者ト爲ル支拂人ト記載セラレタルカ爲メ直チニ債務者ト爲ルモノニ非ス支拂  
ノ引受ヲ爲ササル限リハ償還義務者タルニ過キササルナリ是レ既ニ總論ニ於テモ  
述ヘタル所ノ如シ故ニ振出人タル支拂人ハ所持人ヨリ支拂引受ノ請求ヲ受ケ  
タル場合ニ於テモ其引受ヲ拒絕スルコト全ク自由ニシテ所持人ハ他ノ爲替手  
形ニ於ケル如ク振出人ニ對シテハ擔保ノ請求ヲ爲スコトヲ得ルノミ又所持人  
ハ之ニ對シテ拒絕證書ヲ作ルコトヲ要スルモノトス之ニ反シ約束手形ノ振出  
人ハ手形ノ作成ト同時ニ手形金額支拂ノ義務ヲ負フモノナリ即チ約束手形ノ  
振出人ハ其振出ト同時ニ主タル債務者タリ故ニ實際上ニ於テモ將タ其法律ノ

規定ニ於テモ二者同シカラサルコト明白ナルヘシ是レ自己拂爲替手形ヲ約束手形ノ外ニ規定シ流通セシムル必要アル所以ナリ

支拂人ハ自然人タルト法人タルトヲ問ハサルモノトス故ニ振出人ノ指示スル所ニ從ヒ或ハ自然人或ハ法人カ支拂人ト爲ル且ツ支拂人ハ同時ニ數人ナルコトヲ妨ケス而シテ此場合ニ於ケル支拂人相互ノ關係ハ商法總則ニ依リ引受ヲ爲シタル者ノ間ニハ連帶ノ義務ヲ生スヘシ

第四 受取人ノ氏名又ハ商號 受取人ノ氏名モ亦支拂人ノ如ク商號ヲ以テ之ヲ記載スルコトヲ得爲替手形ノ受取人ハ通例振出人ト異ナルモ振出人ハ自己ヲ受取人ト爲スコトヲ妨ケス(第四四七條)且ツ若シ爲替手形ノ金額カ三十圓以上ナルトキハ手形ニ受取人ヲ記載スルコトナク所持人ニ支拂フヘキ如ク定ムルコトヲ得所謂無記名式ノ爲替手形是ナリ(第四四九條)無記名式ノ爲替手形ハ金額三十圓以上トシ以テ記名式手形トノ分界ト爲シタリ舊商法ニ於テハ二十五圓カ無記名式手形ノ最小額ナリシヲ右ノ如ク改メシモノハ通貨ノ價格從前ト其比例ヲ異ニスルニ由ル而シテ爲替手形ヲ無記名式トシ發行スルニハ三十圓以

上ナルコトヲ要スルモノハ蓋シ無記名式爲替手形ノ金額カ小額ニ過クルトキハ或ハ紙幣ノ如ク使用セラレ爲メニ無智ノ小資力者カ欺カラル危險ナキヲ得サルニ由ルナリ然レトモ其金額ノ定ハ固ヨリ立法者ノ概見斷ニ依ル必スシモ三十圓ナラサルヘカラサル確乎タル理由アルニ非ス(第四四九條)舊商法第七一八條

第五 單純ナル支拂ノ委託 爲替手形ニ於ケル支拂ノ委託ハ單純ナルコトヲ要ス是レ手形債務ハ(既ニ總論ニ於テ詳論シタル如ク)確定ニシテ且ツ其結果ヲ豫知シ得ル所ノモノタルコトヲ要スルニ由レリ所謂單純ナル支拂ノ委託トハ其手形ノ支拂ハ條件附ニ非ス又ハ反對給付ヲ要スル如キコトナク履行セララルヘキ委託アルヲ謂フ蓋シ手形ノ性質上此ノ如クナラサルヘカラス若シ或條件ノ到來ニ因リ又ハ反對給付ヲ須テテ支拂ハルモノトセンニハ手形ノ所持人ハ果シテ支拂ヲ受クヘキヤ否ヤヲ確知スルコト能ハサルカ故ニ手形ノ流通ハ自然妨ケラレ一時金錢ニ代用シ得ル便宜ノ性質ニ反スル結果ヲ見ルニ至ラン是レ手形支拂ノ委託ハ單純ナラサルヘカラサル所以ナリ舊商法ニ於テハ明カ

ニ手形ニハ條件ヲ附スルコトヲ得スト規定シタレトモ(舊商法第六九九條第二項)手形債務上當然ナルモノトシ新商法ニ於テハ之ヲ明記セス況ヤ單純ナル支拂ノ委託ト云フトキハ同一ノ意義ヲ示スニ於テ極メテ明瞭ナリト謂フヘキヲヤ第六 年月日 振出ノ年月日ハ手形ノ成立要件ニシテ實際上極メテ重要ナルモノナリ何トナレハ振出人ハ能力者ナルヤ否ヤノ問題ノ如キハ此日附ニ依リ之ヲ決スルコトヲ得ヘケレハナリ例ヘハ破産者カ爲替手形ヲ振出シタル場合ノ如シ其日附ニ從ヒ或ハ絶對ニ無效ト爲リ或ハ取消シ得ヘキ場合ト爲ル如ク重大ナル關係ヲ生スルコトアルヘシ故ニ其何日ニ振出シタルカヲ記載スルコトハ極メテ緊要ナリ

第七 一定ノ満期日 満期日ハ必ス一定ナルコトヲ要ス不定ノ期日ハ満期日ト爲スコトヲ得ス故ニ當然ノ結果トシテ何月何日ヨリ何月何日ノ間ニ支拂ハルヘシト記載シタル爲替手形又ハ支拂人ノ希望スル日ニ支拂フヘシト記載シタル手形ノ如キハ法律上無效ナリトス然ラハ一定ノ満期日ハ如何ニ之ヲ定ムヘキモノナルヤ是レ第四百五十條ノ規定スル所ナリ同條ニ依レハ(一)確定セル日

(二)日附後確定セル期間ヲ經過シタル日(三)一覽ノ日(四)一覽後確定セル期間ヲ經過シタル日ヲ以テ満期日ト爲スコトヲ要ス其以外ニ於テハ手形上満期日ハ一定セリト謂フコトヲ得ス但シ全ク支拂日ノ記載ナキ手形ハ一覽拂ノ手形ト看做サル

第八 支拂ノ地 支拂地モ亦一定スルコトヲ要ス支拂地カ一定セザルトキハ爲替手形上必要ナル手續ヲ爲スコト能ハサルカ故ニ其地ハ必ス嚴格ニ定ムルコトヲ要ス然レトモ爲替手形ニ支拂地ノ記載ヲ缺クコトアリ此場合ニ於テ若シ支拂人ノ住所ノ記載アルトキハ支拂人ノ住所地ヲ以テ支拂地ト看做ス(第四五二條)

茲ニ注意スヘキコトアリ他ナシ所謂支拂地ト支拂ノ場所トヲ混淆セザルコトヲ要スルコト是ナリ支拂地トハ市町村ノ區畫ト同一ニシテ又市町村制ノ施行ナキ地方ニ於テハ從來ノ町村ヲ以テ支拂地ト爲スモノナリ故ニ手形ニ東京トアレハ其支拂地ハ東京市ニシテ手形金額カ現ニ支拂ハルヘキ場合例ヘハ東京市ノ何町何番地ヲ謂フニ非サルコトヲ記憶スヘシ之ニ反シテ支拂ノ場所トハ

手形カ現ニ支拂ハルル場所ヲ謂フ故ニ支拂地ヲ東京市ト記シタル手形ハ日本橋區何町何丁目何番地又ハ麴町區何町何番地ニ於テ支拂ハルヘキモノナルコトアルヘシ爲替手形ニハ其支拂地ノ記載アルトキハ支拂ノ場所ノ記載ナキトキト雖モ其成立ヲ妨ケス但シ振出人ハ支拂地ニ於ケル支拂ノ場所ヲ定メント欲スルトキハ之ヲ記載スルコトヲ得第四五四條且ツ若シ支拂地カ支拂人ノ住所ト異ナルトキハ他人ヲ以テ支拂擔當者ト爲シ之ヲ爲替手形ニ記載スルコトヲ得所謂他所拂爲替手形ト稱スルモノ是ナリ(第四五三條)

第九 振出人ノ署名 爲替手形ノ署名即チ振出人カ其氏名ヲ自署スルコトハ手形成立ノ最重要ナルモノナリ何トナレハ之ニ因リ手形債務ヲ生セシムル人定マルヲ以テナリ若シ振出人カ署名ヲ爲サザリシトキハ縱令後日ニ至リテ自ラ手形ノ引受人又ハ保證人ト爲リ署名シタリトスルモ長手形ハ後ノ署名アルニ因リテ効力ヲ生スルコト能ハス蓋シ手形行爲ハ原手形ノ成立ヲ竣チテノミ存在スヘキモノナレハナリ(明治三十三年二月二十四日法律第十七號ヲ以テ署名ハ記名捺印ニテモ可ナリトセリ)

以上ハ商法第四百四十五條ニ規定スル爲替手形ノ形式要件即チ必要事項ニ關スル説明ノ概略ナリ其他手形ノ成立ニハ必要ナラサルモ手形ニハ相當印紙稅ヲ貼付スルコトヲ要ス(明治三十二年法律第五十四號第三條參照)  
爲替手形ノ雛形(第四四五條)

爲替手形(1)

一金百圓也(2)

右金額明治三十三年八月一日の大坂(3)ニ於テ某殿(4)ニ御支拂可被成(5)候也

明治三十三年六月二十五日(6)

甲一(四四五本文)

乙二殿(3)  
(又ハ大坂屋)

商法手形 爲替手形 振出

以上述ヘタル所ハ爲替手形ノ成立ニ要スル記載ノ事項ナリ今若シ其要件ニ欠缺アル場合ハ如何換言スレハ其結果如何是レ以下ニ説明セントスル所ナリ  
新商法ニ於テハ手形ニ記載スヘキ事項ニ欠缺アル場合ニ於テハ如何ナル結果ヲ生スヘキカノ問題ニ付キ直接ニ其規定ヲ設ケス然レトモ手形債務ハ素ト峻嚴ナ

ル要式行爲ニ因リテ成立スルモノナルカ故ニ法律ノ規定ニ從ハサル手形ハ手形トシテ其效力ヲ有セサルコトハ多言ヲ埃タスシテ明カナリ縱令當事者間ニ於テハ其有效ナルコトヲ希望シ其意思如何ニ明瞭ナリトスルモ又如何ナル方法ヲ以テスルモ斯ル手形ヲシテ其效力ヲ生セシムルコト能ハス故ニ其無効ナルコトハ手形關係者ハ何人モ之ヲ主張スルコトヲ得ルノミナラス訴訟上裁判所カ之ヲ發見シタルトキハ職權ヲ以テ其無効ナルコトヲ宣告セサルヘカラス爲替手形ニ要スル記載事項カ欠缺シタル場合ニ於テハ其無効ナルコトハ右ニ述フル所ノ如シ然ラハ所謂其欠缺アリトハ果シテ如何法律ノ命シタル記載事項ヲ記載セザリシ場合ハ即チ是ナリト答フヘシ然レトモ實際上手形ヲ使用スル者カ故意ニ必要事項ヲ記載セサル場合ハ格別通常手形ノ成立ヲ希望シ其實行ヲ期スルモノナルカ故ニ一見明白ニ其要件ヲ缺ク如キハ實際上殆ト稀ナリ多クノ場合ニ於テハ果シテ要件ヲ缺キタルヤ否ヤニ付キ多少疑ヲ存スヘキモノナリ故ニ以下各事項ニ關シ順次其場合ヲ例示スルコト蓋シ無益ニ非ザルヘシ

- (イ) 爲替手形ニハ爲替手形タルコトヲ示スヘキ文字ヲ記載スルヲ必要トスルシテ手形ニ爲替手形ノ文字アルモ其文言ニ「支拂可申候」ト記載スル場合ノ如キハ約束手形トシテハ其記載ノ事項具備セス又爲替手形トスルモ同一ノ欠缺アリ何トナレハ之ニ要スル支拂ノ委託ナケレハナリ斯ル場合ハ世上其事例ニ乏カラス
- (ロ) 一定ノ金額ノ表示ハ必要ナルニ拘ラス例ヘハ一金三百圓ノ下ニ數字ヲ以テ 500 ト記シ又ハ其文面中ニハ三百五十圓トアル場合ノ如シ其孰レカ主たる部分ナルヤ明瞭ナラス此ノ如キ手形ハ無効ノ宣言ヲ受クルコトアルヲ免レスル
- (ハ) 支拂人ヲ記載スルニ甲乙二人ヲ記シ甲者若クハ乙者ト記載スルトキハ其何人カ果シテ支拂人ナルカ不定ナルカ故ニ其手形ハ無効ナリ
- (ニ) 受取人ノ氏名ニ付テモ亦然リ例ヘハ子殿又ハ丑殿ニ御支拂可被成下アルトキハ何人カ受取人ナルカヲ知ルニ由ナキコト前ノ場合ニ同シ
- (ホ) 單純ナル委託ヲ必要トスルニ拘ラス「或會社カ成立シタルトキハ御支拂可被成候」ト記載シタル如キ手形ハ無効ナリ



(ハ) 年月日ヲ記載スルニ閏年ナラサルニ何年二月二十九日ト記載シタルトキノ如キハ果シテ何月何日ニ作成シタル手形ナルヤヲ知ルコト能ハサルヲ以テ亦無効タラサルヲ得ス

(ト) 一定ノ満期日ヲ記載スルニ當リ手形ノ作成前ノ日附ヲ以テ満期日ト爲シタル場合又ハ何月何日ヨリ何月何日ノ間ニト記載シタル場合ノ如キハ全ク該當日ナキカ又ハ期日一定セサルカ故ニ其手形ハ無効ナリ

茲ニ注意スヘキハ若シ爲替手形ニ全ク満期日ヲ記載セザリシトキハ一覽拂ノ爲替手形トシテ有効ナルコト是ナリ(第四五一條或ハ曰ハン第四百四十五條ノ記載要件ハ爲替手形ノ成立ニ缺クヘカラサルモノナランニハ其一タル一定ノ満期日ヲ記載セサル手形ハ無効ナリト謂ハサルヘカラサルカ如シ然ルニ其記載ナキモノハ却テ有効ナリトハ前後矛盾ノ嫌ナキニ非スヤト然レトモ爲替手形ニ一定ノ満期日ヲ記載セサルモノハ一覽拂ノ爲替手形トシテ有効ナラシメタルハ法律カ一覽ノ日ヲ以テ満期日ト看做シタルニ因ルモノニシテ一覽ノ日ハ即テ満期日ナリ故ニ此場合ニ於テモ満期日アリト謂フコトヲ得ヘシ

以上ハ爲替手形ノ成立要件ニ關スル規定ノ説明ナリ此點ニ付キ特ニ注意スヘキ一問題アリ若シ最初完全ニ成立シタル手形ニシテ後ニ至リ其記載要件ニ不明ノ箇所ヲ生スルカ又ハ之ニ損所ヲ生シ記載要件ヲ缺クニ至リシトキハ如何其手形ハ仍ホ效力ヲ有スヘキヤ否ヤノ問題はナリ蓋シテ手形ハ峻嚴ナル形式ニ依リテ成立スルモノナリトノ理論ヨリ推斷スレハ此問題ノ場合ニ手形ハ無効ト爲ルヘシト斷言セサルヘカラサルカ如シ然レトモ凡ソ一旦有效ニ成立シタル手形關係ハ正當ノ事由ナクシテ消滅スヘキ理ナシ後日之ニ毀損ヲ生シタル如キハ債權債務ノ關係其モノニ影響ヲ及ボサス有效ニ成立シタル手形カ紛失又ハ滅失シタル場合ニハ公示催告ノ手續ヲ以テ其債權ヲ實行スルコトヲ得ル規定アルヨリ觀ルモ右ノ決定ノ相當ナルコトヲ信ス但シ實際ニ於テハ此ノ如キ手形ニ依ル債權ヲ實行スルコトハ極メテ困難ナラン何トナレハ其手形カ最初適法ニ成立シタルモノナルコトヲ證明スルコトハ場合ニ因リ極メテ困難ナルコトアレハナリ

第二款 爲替手形ノ成立ニ必要ナラサル事項

爲替手形ニ記載セラルヘカラサル要件ハ前款ニ説明セル所ナリ手形ノ要件ニハ非ナルモ手形ニ記載シ得ルモノアリ之ヲ區別シテ二トス

第一 爲替手形ノ成立ニ必要ナラサルモ之ヲ記載スルトキハ爲替手形上ノ效力ヲ生スルコトアルヘキ事項

第二 爲替手形ニ記載スト雖モ手形上ノ效力ヲ生セス當事者間ニ於テノミ其效力ヲ生スヘキ事項

商法第四百三十九條ニ曰ク本編ニ規定ナキ事項ハ之ヲ手形ニ記載スルモ手形上ノ效力ヲ生セス下此條文ヲ積極的ニ讀ムトキハ本編ニ規定シタル事項ハ之ヲ手形ニ記載スルトキハ手形上ノ效力ヲ生スルモノナリト謂フコトヲ得ヘシ其所謂效力ヲ生スル事項トハ左ノ如シ

一 豫備支拂人ノ記載振出人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得(第四四八條) 爲替手形ノ振出人ハ自己ト法律上ノ關係ヲ有ス

ル他人ニ對シテ支拂ヲ委託スルコトヲ通例トシ其者ノ間ニ於テ債權債務ノ關係アルトキハ支拂ノ委託ヲ受ケタル者ハ之ヲ承諾スルヲ普通トス然レトモ或事情ノ爲メニ引受ヲ拒絶スル場合ナシト謂フヘカラス例ヘハ振出人ニ於テ破産ヲ爲ス危險即チ資金ヲ得ルコト能ハサルノ虞アルトキ又ハ其間ニ不和ヲ生シタル場合ノ如シ縱令是マテ圓滑ニ取引ヲ爲シ來リタル間柄ナリトスルモ支拂人ハ手形ノ引受ヲ拒ムコトナシトセサルナリ而シテ若シ支拂人カ引受ヲ拒絶スルトキハ結局振出人ノ信用ヲ害スルニ至ル虞ナシト謂フヘカラス何トナレハ振出人ニシテ十分信用アル者ナランニハ支拂人ハ支拂ヲ爲シタル後ニ於テ資金ヲ得ルニ困難ナラサルカ故ニ委託ヲ受ケタル手形ノ支拂ヲ引受クルモ何等ノ損失ヲ被ルコトナキモノナレハ其引受ヲ拒絶スルコトハ畢竟支拂人カ手形資金ヲ喪失スルノ危險アルニ因ルモノナリト推量シ得レハナリ此ノ如ク振出人ハ或事情ノ爲メニ自己ノ信用ヲ害セラルルノ虞アルカ故ニ所謂豫備支拂人ヲ記載シ置ク便利アリ法律ハ之ヲ許シ其記載ニ效力ヲ有セシメタリ蓋シ手形上ノ信用ヲ維持スルカ爲メ相當ナルヲ以テナリ但シ豫備支拂人ノ記載ノ

效力ニ付テハ後ニ各關係アル場合ニ至リ之ヲ述フルコトトスヘシ(第四八〇條、第五〇〇條、第五〇八條參照)

二 支拂擔當人ノ記載第四五三條 爲替手形ノ支拂地カ支拂人ノ住所ト異ナル場合ニ於テハ支拂人ニ非サル他ノ者ヲ以テ其支拂地ニ於テ支拂ヲ爲サシムルノ便アリ例ヘハ交通不便ナル場所ニ手形支拂人ノ住居スル場合ニ在リテハ其住所地ニ於テ支拂ヲ爲サシムルヨリモ其近傍ノ商業地ニ於テ支拂ヲ爲サシムルヲ以テ實際上便宜ナリトスルカ如シ殊ニ振出人又ハ支拂人ノ取引先カ其支拂人ノ住所地ノ近傍ナル商業地ニ在ル場合ノ如キハ其地ヲ以テ手形支拂地トシ他人ニ支拂ヲ爲サシムルコト最モ便利ナリ例ヘハ爲替手形ノ支拂人カ王子ニ住居スルニ拘ラス東京ニ於テ支拂ハシムル場合ノ如キ東京ニ支拂擔當人ヲ設ケ置クコト極メテ便利ナリ是レ商法ハ爲替手形ニ支拂擔當者ヲ記載スルコトヲ許シタル所以ナリ

爲替手形ニ支拂擔當人ノ記載アル場合ニ手形上ノ請求權ヲ完全ニ保護セント欲セハ其記載ニ基キテ請求ヲ爲ササルヘカラス若シ此記載アルニ拘ラス支拂

擔當人ニ對シテ支拂ヲ請求セサルトキハ所持人ハ手形上ノ權利ヲ喪失スルノ結果ヲ生スヘシ(第四九〇條)

三 支拂ノ場所ノ記載第四五四條 爲替手形ノ支拂地ナルモノハ支拂ノ場所ト異ナルハ前ニ述ヘタル所ナリ所謂支拂地トハ市町村若クハ之ニ準スヘキ一地域ヲ謂フ例ヘハ東京、大阪、横濱ト云フカ如シ支拂ノ場所トハ富士見町、心齋橋通又ハ辨天通ト謂フ如ク現ニ支拂ヲ爲ス場所ヲ謂フモノナリ故ニ二者相混スヘカラサルナリ此支拂ノ場所ナルモノハ特ニ之ヲ爲替手形ニ記載スルコトヲ要セス之ヲ記載セサルモ手形ノ成立ニハ何等ノ影響ヲ及ホササルコトモ亦前ニ一言シタルカ如シ爲替手形ニ若シ此記載アルトキハ唯或效力ヲ生スルノミ此事ニ關シテハ後章ニ至リテ詳説スヘシ而シテ爲替手形ニ支拂ノ場所ヲ記載スルコトヲ得ルモノハ振出人(第四五四條)及ヒ支拂人(第四七三條)トス

四 裏書禁止ノ記載第四五五條 爲替手形ハ既ニ論シタル如ク本來流通スヘキ性質ノモノニシテ又流通セシムル爲メニ作成セラルルモノナリ然レトモ所謂流通證書ト爲スコトハ其基本タル手形ヲ振出ス者ノ意思ニ基クモノナルカ

故ニ若シ其振出人ニシテ證書ノ流通ヲ希望セサレハ強テ之ヲ流通セシムル必要ナク之ヲ流通セシメサルコトヲ認ムト雖モ毫モ支障アルコトナシ所謂裏書禁止ノ權利ヲ有スル者ハ振出人ノミ(第四五五條)裏書人ハ裏書ヲ爲ス場合ニ經後裏書ヲ禁止スル旨ノ記載ヲ爲スコトヲ得ルモ振出人カ流通禁止ノ旨ヲ記載セシシテ發行シタル以上ハ中途ニ於テ流通證書タル性質ヲ變更スルコトヲ得ス故ニ裏書人ハ裏書禁止ヲ記載セル場合ニ於テモ手形ハ流通證書タル性質ヲ失フコトナシ唯被裏書人ノ後者ハ其禁止記載ヲ爲シタル裏書人ニ對シテ擔保ノ請求又ハ償還請求ヲ爲ス權利ヲ有セサルノミ(第四六〇條)是レ舊商法ニ於ケル缺點ナリシ舊商法ニ於テハ裏書人カ裏書禁止ヲ記載シタル場合ニハ如何ナル效力ヲ生スルヤヲ區別シテ規定シタル法文ナカリシ故ニ解釋上異論ヲ生スルノ餘地アリシモ裏書禁止ノ規定ハ素ト手形ノ性質ニ基クモノナルカ故ニ振出人カ裏書禁止ヲ記載シタル場合ト裏書人カ裏書禁止ヲ記載シタル場合トハ決シテ同一視スルコトヲ得ス蓋シ手形ハ通常流通證書タル性質ヲ有スルモノナルモ其手形ヲ發行スル人ノ意思ニ於テ之ヲ流通證書タラサラシメント欲セハ

其流通ヲ禁スルコトヲ妨ケサルヘシ然レトモ一旦流通證書タル本性ヲ備ヘテ發行シタルモノニ對シテハ裏書人カ裏書禁止ヲ爲シタル爲メ流通セサラシムルコト能ハサルヤ明カナリ故ニ舊商法ノ下ニ在リテモ右二者ノ禁止ノ記載ハ全然區別セサルヘカラサリシモノナリ是レ新商法ニ於テハ明カニ此二者ヲ區別シ規定シタル所以ナリ

五 一覽後定期拂ノ手形ニ付キ其引受ヲ求メシムル爲メ特定シタル呈示期間ヲ定メテ之ヲ手形ニ記載スルコト 一覽後定期拂ノ爲替手形ノ滿期日ハ或限度ニ於テハ手形所持人ノ意思ニ依リテ隨意ニ之ヲ定ムルコトヲ得如何トナレハ滿期日ハ一覽後即チ支拂人ニ手形ノ呈示ヲ爲シタル時ヨリ起算點カ定マルモノナレハナリ故ニ滿期日ハ何レノ日ニ於テ定マルカハ振出人ニ於テ豫知スヘカラス例ヘハ呈示後一週間トアルトキハ先ツ其呈示日ヲ知ルニ非スシハ何日カ滿期日ト爲ルカヲ知ル能ハサルカ如シ(但シ一年內ニ呈示スルヲ要スルコトハ法律ノ規定スル所ナルモ汎ク一年ト謂フノミニテハ未タ滿期日ヲ知ルノ便アリト謂フコトヲ得ス)然ルニ償還義務者タル地位ニ在ル振出人ハ豫メ滿期日

ノ到來ヲ知ル必要アリ何トナレハ満期日ニ至リ若シ手形カ支拂ハレサルトキハ償還義務ヲ履行セサルヘカラサルヲ以テ豫メ其用意ヲ爲ス心得ヲ要スレハナリ若シ手形ニ引受ノ呈示ヲ爲スヘキ期日ヲ特定シ之ヲ記載スルトキハ満期日ハ容易ニ知ルコトヲ得ルノ便アルカ故ニ振出人ハ一年ヨリ短キ呈示期間ヲ定ムルコトヲ得ルモノトモテリ爲替手形ニ此記載アルトキハ如何ナル效力ヲ生スルカ他ナシ手形ノ所持人カ記載期間内ニ手形ノ呈示ヲ爲ササルニ於テハ其前者ニ對シテ償還請求ヲ爲ス權利ヲ失フ(第四六六條尙ホ引受ノ節ニ至リテ詳説スヘシ)

六 他所拂爲替手形ニ支拂擔當人ノ定メナキトキハ振出人ハ爲替手形ニ支拂ノ引受ヲ求メシムル爲メ手形ヲ其支拂人ニ呈示スヘキコトヲ記載スルコトヲ得(第四七二條)

七 振出人ハ一覽拂爲替手形ニ呈示期間ヲ定メテ之ヲ記載スルコトヲ得(第四八二條)此場合ニ於ケル記載ノ效力ハ一覽後定期拂ノ爲替手形呈示期間ノ記載ト同一ナリ

以上ハ爲替手形ノ成立ニ必要ナキモ手形ニ記載スルトキハ手形法律ノ適用ヲ受クヘキ記載事項ヲ掲ケタリ次ニ爲替手形ノ成立ニハ必要ナラサルノミナラス縱令手形ニ記載スルモ手形上何等ノ效力ナキモノアリ其一二ノ例ヲ説明セシ

手形法律上ニ效力ヲ生セサル記載事項ハ從來我國ニ行ハルル手形ニ於テハ未タ其例ヲ見ス然レトモ外國ノ手形ニ於テハ其例ニ乏カラス例ヘハ支拂人ニ對シ一旦通知ヲ爲シタル後ニ非サレハ支拂ヲ爲スヘカラサル旨ヲ記載スル如シ此記載ハ實際甚タ便利ナリ若シ爲替手形ニ支拂人トシテ記載セラレタル者ハ此記載ノミヲ以テ手形上ノ債務者タル者ニ非サルコトハ既ニ述ヘタル如シト雖モ其者ニ對シテ突然手形ノ引受若クハ支拂ヲ求ムル者アルトキハ之カ爲メニ感情ヲ害スルコトナシト謂フヘカラス何トナレハ一般ノ事實ニ依レハ支拂人トシテ記載セラレタル者ハ振出人ニ對シテ負債者ナル如キ疑ヲ起サシムルノ虞アレハナリ

此記載ハ右ニ述フル如キ事情ニ關シ便利アルノミナラス手形カ紛失シタル場

合ニ不正ノ支拂ヲ求ムル者ニ對スル豫防タルコトヲ得ルノ便アリトス  
 或ハ又手形原因ノ記載ヲ爲スコトアリ例ヘハ手形ノ對價ヲ受取リシ旨又ハ計  
 算上其受取濟ト爲レル旨若クハ商品ヲ以テ辨濟シタル旨ヲ記載スルカ如シ是  
 レ佛法主義ノ爲替手形ノ必要條件ニシテ新主義ノ手形法ニ於テハ此等ノ記載  
 ヲ必要トセス又之ヲ記載スルモ手形上何等ノ效力ヲ生セス  
 以上爲替手形ノ成立ニ必要ナル條件及ヒ其成立ニハ必要ナラサルモ記載スル  
 トキハ手形法律上或效力ヲ生スヘキ事項竝ニ縱令手形ニ記載スルモ何等ノ效  
 力ヲ生セサル事項ヲ説明シタリ以下進ミテ爲替手形ノ形式ハ完全ニ具備スル  
 モ其記載カ眞實ナラサルトキ及ヒ其記載カ偽造又ハ變造ナルトキハ手形法律  
 上如何ナル效力ヲ生スヘキヤ及ヒ爲替手形ノ複本竝ニ廢本ノ用ニ付テ説明セ  
 ントス

甲 假裝ノ手形 假裝ノ手形トハ爲替手形ノ要件ハ勿論具備セサルニ非ナルモ  
 其記載ハ眞實ノ意思ニ基キタルモノニ非スシテ表面的ノモノナルヲ謂フ蓋シ  
 最モ危險ナル手形ニシテ商業社會ノ恐慌ニ際シテハ之カ爲テ恐ルヘキ結果ヲ

生スルコトアリ然レトモ手形ハ形式ニ依リテ流通スルノ便宜アルト同時ニ之  
 ニ伴フ弊害アルハ一利害之ニ伴フテラフ理數ノ下ニ在リ例ヘハ甲乙通  
 謀シテ金千圓ノ融通ヲ爲サントスルニ當リ甲ハ振出人乙ハ受取人ト爲リ丙ヲ  
 以テ支拂人トシテ之ヲ手形ニ記載スルモ未タ目的タル金錢ヲ握手スルコトヲ  
 得スト雖モ若シ其手形ヲ丁ニ裏書讓渡ヲ爲ストキハ茲ニ其對價タル千圓ヲ得  
 ヘシ然レトモ丁カ其手形ヲ支拂人丙ニ呈示シタル場合ニ其引受又ハ支拂ヲ爲  
 ササル虞アルカ故ニ先ツ丙ニ對シテ資金ヲ交付スル方法ヲ求メサルヲ得ス而  
 シテ此資金ヲ入ルル爲メ丁ヨリ得タル金額ヲ使用スルトキハ甲乙ハ一錢ノ得  
 ル所ナク手形ノ振出ハ徒ニ手數ヲ煩スニ過キサルヘシ故ニ其欲望ヲ満足セシ  
 ムル爲メ更ニ又同様ノ爲替手形ヲ發行シ之ヲ以テ戊ニ裏書讓渡シ資金ヲ丙ニ  
 入ルル資料トシ丙ヲシテ手形ノ支拂ヲ爲サシムスル目的ヲ以テ發行スル假裝  
 手形ハ所謂手形ノ馬鹿ト稱スルモノニシテ金錢ヲ詐取スル手段ニ行使セラル  
 ルコトアリ又時トシテハ甲乙丙三人共謀シテ之ヲ行フコトアリ斯ル手形ノ效  
 力ハ果シテ如何是レ特ニ論セントスル所ノモノナリ舊商法ハ其第七百二條

ニ於テ斯ル手形ハ其情ヲ知リタル者ノ爲メニハ之ヲ手形ト看做サスト規定シタリシモ改正商法ハ全ク之ヲ削除セリ蓋シ斯ル手形カ惡意者間ニ於テ無効ナルコトハ特ニ商法ノ規定ヲ埃タサルニ由ルナリ然レトモ此手形ニ署名シタル者ハ手形ハ嚴格ナル方式ニ從テ成立スルモノナリトノ原則ニ據リテ手形上ノ義務ヲ負ハサルヘカラス(第四三五條即チ前例ノ甲乙ハ各丁ニ對シテ償還ノ義務ヲ負擔セサルコトヲ得サルモ乙ハ甲ニ對シテ償還請求ノ權利ヲ有セス

乙 偽造變造手形 手形カ偽造又ハ變造ナル場合ニ於テ其手形ハ如何ナル效力ヲ有スルヤノ問題ニ付テハ新舊商法ノ規定ハ其原則ヲ同シクシ新商法ハ舊商法ノ不明ナル點ヲ訂正シタルモノニ過キス

蓋シ偽造ノ手形ハ手形ノ作成人カ他人ニ其名ヲ記載セラレタル場合ニ生スルモノナルヲ以テ偽造ノ手形アリト云フニハ必ス其作成者トシテ記載セル者ノ署名カ偽造ナラサルヘカラス例ヘハ振出人又ハ裏書人ノ氏名ノ記載カ真正ナルモノニ非スシテ偽造ナルトキノ如シ手形ノ變造トハ手形カ適式ニ成立シタル後ニ手形作成人ノ意思ニ反シ手形ノ内容例ヘハ金額支拂期日又ハ支拂地ヲ

變更シタル場合ニ在リ此偽造若クハ變造ノ手形ハ手形ノ形式ヲ具備スルモノナルヲ以テ手形トシテ其效力ヲ有スルモノト爲ササルヘカラス然レトモ其眞ノ署名者ニ非スシテ署名者ノ如ク記載セラレタル者ニ對シテハ手形ハ效力ヲ有セス眞ノ署名者ト雖モ變造セラレタル事項ニ付テハ亦之ト同一ナリトス第四百三十七條ハ此原則ヲ認メタルモノニシテ其第一項ハ形式上手形ノ有效ナルコトヲ規定シ偽造變造ノ爲替手形ニ署名シタル者ハ手形上ノ義務ヲ負フヘキ者トセリ然レトモ偽造變造ノ手形ニ署名シタル者ノ手形上ノ責任ハ善意者又ハ重大ナル過失ナキ者ニ對シ之ヲ有スルニ過キス蓋シ其署名者ヲシテ手形上ノ責任ヲ負ハシムルモノハ一般ノ信用ヲ保護スルニ職由ス故ニ惡意又ハ重大過失ノ所持人ニ對シテハ手形ノ效力ヲ生セシムルコトヲ要セサルナリ(第四三七條第一項第三項)

偽造變造ノ手形ノ署名者ハ其偽造變造手形上責任ヲ負フコトハ右ニ論スル所ノ如シ而シテ其偽造又ハ變造ハ如何ナル場合ニ行ハレタルモノナルヤハ證據上ノ問題ニシテ各場合ニ之ヲ斷定スルノ外ナシトス

變造ノ手形ハ手形上ノ責任ヲ重カラシムルヲ通例トス蓋シ其責任ヲ輕微ナラシムルトキハ故ラニ之ヲ變造スルノ必要ナケレハナリ手形ノ裏書ニハ必スシモ日附ノ記載ヲ爲スコトヲ要セス署名ノミヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得故ニ裏書人ハ署名シタルハ果シテ何日ナルカヲ確知シ難キコトアリ隨テ其署名ハ手形變造前ナルカ將タ其後ナルカヲ確ムルコトヲ要スル場合抄カラス而シテ此點ノ立證責任ハ極メテ重要ナル利害關係アルヲ以テ第四百三十七條第二項ハ署名者ノ爲メニ一ノ推定ヲ設ケテ此問題ヲ決シ變造シタル手形ニ署名シタル者ハ變造前ニ署名シタルモノト推定ス下セリ

丙 手形ノ複本 爲替手形ハ通常一通ヲ振出スモノナリ然レトモ手形ヲ遠隔ノ地ニ送付スル爲メ其到達ノ安全ナランコトヲ慮ルカ又ハ同一手形ノ一ヲ引受請求ノ爲メニ支拂人ニ送付シ他ノ一通ヲ以テ權利ヲ行フ爲メ同時ニ複本ヲ作成スル必要又ハ便宜アリ別言スレハ手形ノ喪失ヲ防キ又ハ流通ノ便宜ヲ圖ル爲メ數通ノ同一手形ヲ發行スルコトアリ外國ニ發送スル手形ノ如キ殊ニ然リト爲ス此複通ノ手形ハ何人カ作成シ又何人カ作成セシムルコトヲ得ルカ此間

ニ對スル答ハ左ノ如シ  
 手形ノ複本ハ何人カ之ヲ作成セシムルコトヲ得ルキノ點ニ付テハ第五百十八條ニ其規定アリ同條ニ依レハ手形ノ複本ヲ請求スルコトヲ得ル者ハ各所持人ナリ而シテ手形發行當時ニ於ケル所持人即チ受取人ト手形カ流通シタル以後ニ於ケル所持人トヲ區別スルコトヲ要セス各隨意ニ複本ノ作成ヲ求ムルコトヲ得ヘシ又手形ノ複本ヲ作成スル者ハ振出人ニ限ルヲ以テ手形カ數人ノ間ニ轉帳シタルトキハ如何ニ其請求ヲ爲スコトヲ得ルカヲ決セサルヘカラス是レ第五百十八條ノ但書アル所以ナリ之ニ依レハ爲替手形ノ被裏書人タル所持人カ複本ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ其前者ヲ經由シテ振出人ニ請求スルコトヲ必要トス而シテ振出人カ所持人ノ請求ニ應シ複本ヲ作りタルトキハ各裏書人ハ其各複本ニ裏書ヲ爲ス義務アリ(第五一八條第二項右規定ニ依リテ手形ノ複本ヲ作成シタルトキハ之ニ其複本ナルコトヲ示スヘキ文字ヲ記載セサルヘカラス何トナレハ若シ此文字ヲ記載セサルトキハ其各通ハ獨立ノ爲替手形ト看做サルル虞アレハナリ(第五一九條)



複通ノ手形ハ各通別箇ニ手形上ノ効力ヲ有スヘキ性質ノモノニ非ス相合シテ一體ヲ爲スモノナリ故ニ若シ此手形ヲ授受スル者カ危険ヲ避ケントセハ手形ハ數通ヲ合シテ流通セシムルコトヲ要ス分離シタル手形ニ於ケル各引受又ハ各裏書ハ獨立シテ効力ヲ有スヘキモノト爲ルコトアレハナリ此點ニ付テハ尙ホ後ニ論スルコトアルヘシ

丁 手形ノ贖本 手形ノ贖本ヲ作成スルコトハ各所持人ノ隨意ナリ蓋シ手形ノ贖本ニハ手形ノ振出人其他ノ關係人ノ署名ヲ要セサレハナリ

手形ノ複本ト贖本ノ差異ヲ舉レハ(一)複本ハ之ヲ分離スルモ各獨立シテ効力ヲ有スルモノナリ贖本ハ原本ト共ニスルニ非サレハ効力ヲ有セス(二)複本ハ手形ノ振出人ニ非サレハ之ヲ作成スコトヲ得ス之ニ反シテ贖本ハ爲替手形ノ所持人ニ於テ隨意ニ作成スルコトヲ得但原本ト贖本トニ於テ其記載事項ニ異ナルコトアルトキハ其分界ヲ明カニスルコトヲ要ス(第五二二條)

贖本ハ引受ヲ求ムル爲メ原本ヲ送付シ其返還前ニ裏書ヲ爲サントスルトキ又ハ保證ヲ受クルトキ又ハ一部ノ支拂アリタル場合等ニ於テ之ヲ作成スルモノ

ナリ(第四五七條第四八四條第四九七條第五二三條)

以上ノ説明ニ依リ成立ニ關スル形式事項ニ付キ其梗概ヲ述ヘ了レリ以下手形カ適法ニ成立シタルトキハ手形其モノニ因リテ振出人ハ如何ナル義務ヲ負フヤノ問ニ付キ一言スヘシ

適法ニ成立シタル爲替手形ノ振出人ハ手形法則上左ノ義務ヲ負フ

第一 擔保ノ義務 所謂擔保ノ義務ハ之ヲ區別シテ二箇ノ場合ニ付キ之ヲ述フヘシ

(イ) 満期日前ニ手形支拂人ヲシテ支拂ノ引受ヲ爲サシムルコトヲ擔保スルコト(第四六五條)

(ロ) 支拂人ノ引受ハ有效ナルコトヲ擔保ス、換言スレハ支拂人ノ引受ハ確實ニシテ満期日ニハ手形金額ハ支拂ハルヘキモノナルコトヲ擔保スルコト(第四八〇條)

右ノ義務ハ爲替手形ノ振出人カ手形上ニ之ヲ明示セスト雖モ其所持人ニ對シテ支拂人ニ支拂ハシムルコトヲ記載シタル手形ヲ交付スル以上ハ支拂人ノ初

ヨリ支拂ノ義務ヲ負フ者ニ非サルカ故ニ之ヲシテ支拂ヲ爲スヘキ意思ヲ表示セシメ且ツ其者ハ支拂ヲ爲スニ十分資力ヲ有スルコトヲ支拂ノ委託ヲ爲ス裏面ニ約スルモノト謂フヘシ

第二 償還ノ義務第四八六條 即チ爲替手形ニ記載セル金額ハ満期日ニ其記載ノ場所ニ於テ支拂ハルヘキコトヲ擔保ス若シ支拂人カ支拂ヲ爲ササルトキハ手形ニ記載セル金額ハ勿論其費用ヲモ併セテ負擔スヘキモノナリ

以上之ヲ概括スレハ爲替手形ノ振出人ハ所持人ニ對シ條件附ノ義務ヲ負フ支拂人カ引受ヲ爲ササルトキハ擔保ヲ供セサルヘカラス又満期日ニ支拂ヲ爲ササルトキハ其賠償ノ責ニ任スルモノトス

右振出人ノ義務ハ管ニ手形ノ受取人ニ對シテ有スルノミナラス各所持人ニ對シ而モ同一ノ限度ニ於テ其義務ヲ履行スル責ニ任スヘキモノナリ其理由ハ既ニ總論ニ於テ説明シタル如ク手形上ノ義務ハ所持人ニ對シ直接ニ約シタルモノト謂フヘケレハナリ

## 第二節 裏書

### 第一 裏書ノ性質

總論ニ於テ論シタル如ク手形行爲ノ主タル目的ハ手形ニ依リテ行ハルヘキ金銀的債權ノ實行ヲ期スルニ在リ而シテ手形行爲カ顯著ナル效用ヲ爲スニハ有價證券トシテ容易ニ流通スルニ由ル所謂裏書ナル法律行爲ハ手形ノ流通ヲシテ容易ナラシムルカ爲メ發見實用セラレタルモノニシテ第十七世紀ニ佛國人ノ使用シ始メタルコトハ既ニ陳述シタル所ノ如ク抑モ裏書ハ原爲替手形ノ成立ヲ埃チテ有效ニ爲シ得ヘク即チ原手形ニ附帶シテノミ成立スルコトヲ得ルモノナルカ故ニ若シ裏書ヲ爲シタル原手形カ其法律規定ニ違背シ無効ナルトキハ裏書モ亦其效力ヲ生スルコトヲ得ス是レ前ニ手形ハ嚴格ナル形式ニ依リ成立スルモノナルコトヲ説明シタル際既ニ述ヘタル所ノ如シ裏書ハ手形ニ附帶シテ成立スルモノナルモ其振出ト同シク單獨行爲ナリ故ニ裏書人カ其裏書ヲ爲シタルトキハ復タ被裏書人ノ意思表示ヲ必要

トセス換言スレハ手形ノ所持人カ適法ナル裏書ヲ爲シタル場合ニ於テ其手形カ善意ノ第三者ノ占有ニ移リタルトキハ其者ハ裏書人ノ意思如何ナリシヤラ問フニ及ハス完全ナル權利ヲ取得ス(第四四一條参照)而シテ裏書ハ裏書トシテ獨立シ債務關係ヲ生セシムルコトハ他ノ手形行爲ニ同シ但シ原手形ニ附帶シ成立スヘキ點ニ於テ振出ト差異アルヲ見ルヘシ

裏書ニ依ル手形ノ流通ハ手形ノ固有性質ニシテ特ニ指圖式タル記載ヲ待タス換言スレハ手形カ流通證券タルコトハ當事者ノ意思ニ因ルニ非ス苟モ法律ノ規定ニ依リ形式ヲ具備シタル爲替手形ハ單純ナル記名式ナルモノト雖モ裏書ニ依リ流通スヘキモノナリ(第四五五條)故ニ爲替手形ニハ指圖式ノ記載アルヲ必要トセス隨テ振出人ハ裏書ニ依リ流通シ得ルモノナルコトヲ明記スルト之カ記載ヲ略スルトヲ選擇シテ可ナリ但シ實際指圖式ニ作ルコトハ普通ナルカ如シ

爲替手形ハ其性質上流通證券タルコト右ノ如クナルモ其振出人カ特ニ反對ノ意思ヲ表示シ之ヲ其手形ニ記載シタル場合裏書ヲ禁スル旨ヲ記載シタルト

キ)ニ於テハ其手形ニ限り流通證券タル效力ヲ有セス而シテ所謂裏書禁止附ノ手形ヲ認ムル理由ハ手形ヲ流通セシムルト否トハ之ヲ作成スル者ノ意思ニ一任スヘキモノニシテ強テ其意思ニ反シ其者ノ不便宜タラシムヘカラサルニ在リ其振出ニ因リ擔保及ヒ償還ノ義務ヲ負擔スルコトハ單ニ其受取人ニ對スルノミニ非ス其後ノ各所持人ニ對シテモ亦同一ナルカ故ニ若シ其振出シタル爲替手形カ數人間ニ轉シタル場合ニ於テ若シ不拂ト爲リシトキハ其金額ニ對スル償還請求ヲ受クヘキコトハ勿論不拂ニ因リ生シタル費用ヲモ併セテ辨濟セサルヘカラス(償還請求ノ説明参照)且ツ之ニ因リ將來振出人ノ信用ヲ害スル如キ結果ヲ生スル虞ナキヲ保セサルナリ故ニ流通證券タラザラシメタル爲替手形ヲ振出スコトヲ得セシムルノ規定ハ實際上振出人ノ利益ヲ保護スルニ付キ缺クヘカラサルモノト謂フヘシ而シテ爲替手形カ流通證券タル效力ヲ失フニハ振出人ニ於テ其裏書ヲ禁スル旨ヲ記載スルコトヲ要ス(第四五五條但書)裏書禁止附ノ手形ハ右ニ述タル如ク流通證券タラサルコト明カナリト雖モ此手形ニ因リテ成立シタル權利ハ其受取人ノミ之ヲ行フコトヲ要スト謂フニ非

所持人自ラ其債權ヲ行ハサルトキハ他人ニ其債權ヲ讓渡スコトヲ得但シ其讓渡ハ裏書ノ效力ヲ生セスシテ債權讓渡ニ關スル一般ノ效力ヲ生スルニ過キス(裏書ト讓渡トノ差異ハ後ニ述ヘシ)

裏書ニハ之ヲ爲ス人其時期及ヒ度數ニ付キ法律上何等ノ制限ナキヲ以テ各爲替手形ノ所持人ハ爲替手形債權ノ存スル間ハ何人ニモ隨意ニ裏書ヲ爲スコトヲ得蓋シ手形ノ被裏書人ト爲ル者ハ手形ニ關係ヲ有セサル者ヲ通例ナリトスルモ之ニ關係スル者ト雖モ亦被裏書人タルヲ妨ケス例ヘハ支拂人ニシテ引受ヲ爲ササル者ハ勿論手形上何等ノ關係ヲ有セサル者ナルカ故ニ被裏書人タリ得ルコト毫モ疑ナシト雖モ其引受ヲ爲シタル者モ亦被裏書人タルニ妨ケナキカ如シ其他振出人裏書人ノ如キ孰レモ被裏書人タルコトヲ得(第四五六條)又其裏書ハ其債權ノ存スル限りハ流通證券タル性質ヲ失ヒタルトキ即チ手形タル效用ヲ失ヒタル時期ノ後ト雖モ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ例ヘハ滿期後拒絕證書作成ノ時期ヲ經過シタル後ト雖モ裏書ヲ爲スコトヲ得ルカ如シ但シ此場合ニ於テハ後ニ説明スル如ク效力ニ付キ著シキ差異アルヲ見ルヘシ

以上ハ裏書ノ性質ニ關スル説明ナリ以下其形式ヲ論セントスルニ先チ裏書ノ效力ノ要概ヲ示スヘシ即チ左ノ如シ

第一 爲替手形ノ裏書ハ裏書讓受人被裏書人ニ手形上ノ債權ヲ移轉シ又ハ其債權ノ實行ヲ許スモノナリ

第二 爲替手形ノ裏書ハ手形ノ信用ヲ鞏固ナラシム換言スレハ裏書讓渡人ハ其債權ヲ讓渡スルト同時ニ自己ヲ其債權義務者タル地位ニ置キ被裏書人ニ對シ直接ニ此義務ヲ負擔スルカ故ニ手形債權ハ一層確實ナルニ至ル

右二點ニ付キ尙ホ簡單ノ説明ヲ爲スヘシ裏書ハ爲替手形ニ於ケル債權ヲ移轉スル效力ヲ生シ裏書讓渡人カ有スル債權ハ裏書讓受人ノモノト爲ルモ其被裏書人ノ取得スル債權ハ手形ノ規定上獨立ナルモノト看做サルルカ故ニ所謂裏書讓渡ナルモノハ一般債權ノ移轉ト同一視スヘキモノニ非ス其差異ハ後ニ説明ス)

裏書ハ手形債權ヲ以テ其移轉スル場合ニ於テノミ之ヲ爲スモノニ非ス其債權ヲ實行セシムルコトヲ以テ其目的トスルコトアリ例ヘハ手形金額ノ取立ヲ他

人ニ委任シ又ハ債務ノ擔保ノ爲メ裏書スル場合ノ如シ所謂代理裏書又ハ擔保裏書ナルモノ是ナリ

讓渡ノ裏書ハ普通債權讓渡ノ場合ノ如ク債權者カ其他位ヲ脱スルノミナラス裏書ノ瞬間ニ於テ裏書人ハ自己ヲ債務者タル地位即チ條件附債務者支拂人カ支拂ヲ爲ササルトキハ償還義務者タル地位ニ置クモノナリ而シテ其義務タル各所持人ニ對シ獨立ナルカ故ニ手形不拂ノ場合ニ於テハ所持人ハ自己ノ選擇ニ從ヒ其振出人其他ノ前者ニ對シ償還請求ヲ爲スコトヲ得ルノミナラス又同時ニ若クハ時ヲ異ニシ之ニ對シテ其請求ヲ爲スコトヲ得

茲ニ一ノ注意スヘキモノアリ償還義務ト普通ノ保證義務トヲ混同セサルコト是ナリ蓋シ振出人其他裏書讓渡人ノ償還義務ハ支拂人カ滿期日ニ支拂ヲ爲ササルトキハ直チニ發生スルモノニシテ支拂人カ滿期日ニ支拂ヲ爲ス資力ナキコトヲ要セサルナリ故ニ支拂人ハ滿期日ニ於テ十分ノ資力ヲ有シ支拂ヲ拒ミタリトスルモ振出人其他ノ前者ハ所持人ニ對シ支拂人ニ資力アルコトヲ理由トシテ償還ヲ拒ムコトヲ得ス之ニ反シテ保證ノ義務ハ別段ノ約束ナキトキハ

主タル債務者ノ無資力ナル場合ニ非ナレハ保證人ヲシテ債務履行ノ責任ヲ負ハシムルコトナシ

次ニ裏書讓渡ト普通ノ債權讓渡トハ如何ナル點ニ於テ差異アルヤヲ述ヘン

第一 民法上ノ債權讓渡カ完全ノ效力ヲ有スルニハ或相當ノ手續ヲ要スルコト例ヘハ讓渡人ハ其讓渡ヲ爲シタルコトヲ債務者ニ通知シ又ハ債務者カ其讓渡ヲ承諾スルカ如シ民法第四六七條之ニ反シテ裏書讓渡ハ爲替手形ニ其旨ヲ記載スルノミヲ以テ手形債權者ヲシテ完全ナル債權ヲ取得セシメ其權利ハ債務者及ヒ第三者ニ對シテ之ヲ對抗スルコトヲ得ヘキナリ

第二 民法上ノ債權讓渡ハ其債權カ存在スルコトヲ擔保スル義務ヲ生セシムルコトヲ原則トシ其債權カ果シテ支拂ハルヘキモノナルコトヲ擔保スルモノニ非ス故ニ若シ讓渡人ヲシテ債權ノ支拂アルヘキコトヲ擔保セシメントセハ別段ニ其約束ヲ爲ササルヘカラス之ニ反シテ爲替手形ノ裏書ハ裏書人ヲシテ當然支拂人カ支拂ヲ爲スモノナルコトヲ擔保セシム

第三 民法上ノ債權讓渡ハ讓渡人ノ權利ヲ其債權受人ニ移轉スルニ過キタル

モ爲替手形ノ裏書ハ其被裏書人ヲシテ手形上獨立ノ權利ヲ取得セシムヘシ此區別ハ手形法則上最重要ナルモノニシテ裏書讓渡ト債權讓渡トヲ區別スル著シキモノナリ債權讓渡ヲ受ケタル者ハ其讓渡人ノ權利ヲ繼承スルモノナルカ故ニ讓渡人ニ對シ存スル抗辯事由ハ讓受人ニ於テモ亦之ヲ認メサルヘカラス然レトモ爲替手形ノ被裏書人ハ裏書ニ因リ獨立ナル權利ヲ得タル者ト看做スカ故ニ債務者カ其前者ニ對シ對抗シ得ヘキ事由ト雖モ之ヲ容ルルコトヲ要セス

第二 裏書ノ形式

爲替手形ノ裏書ハ手形ノ裏面ニ之ヲ爲スヲ以テ通例トスルモ若シ(一)其手形ノ原本ニ裏書ヲ爲ス餘地ヲ存セザルトキ又ハ(二)原本ニ手形ノ裏書ヲ爲ス便宜ヲ得ザルトキハ原本ノ裏面外ニ之ヲ爲スコトヲ得即チ第一ノ場合ニ於テハ補箋ヲ附シ之ニ裏書ヲ爲スコトヲ得ヘク第二ノ場合例ヘハ支拂人ニ對シ手形原本ヲ以テ支拂ノ引受ヲ請求シツツアル間ニ其手形ノ裏書ヲ爲ストキハ手形ノ原本ヲ作り之ニ裏書ヲ爲スコトヲ得ルカ如シ(第四五七條故ニ裏書ハ手形ノ原本

補箋又ハ其原本ニ於テ之ヲ爲スヘシ然レトモ此等ノ紙面以外ニ爲シタルモノハ其效力ヲ有セス其當事者ノ意思ハ如何ニ明瞭ニシテ且ツ完全ナリトスルモ到底裏書タル效力ヲ有スルコト能ハス  
前ニ原本ノ必要ナル場合ニハ手形所持人ハ隨意ニ之ヲ作成スルコトヲ得ヘキ旨ヲ述ヘタリ是レ其適例ナリトス但シ原本ニ裏書ヲ爲ストキハ其裏書ノ原本ノ一部トシテ效力ヲ有スルモノナルヲ以テ此ノ如キ裏書ヲ爲シタルトキハ手形ノ原本ハ支拂人ニ送付シタルモノナルコトヲ手形原本ニ記載シ被裏書人ヲシテ手形原本ヲ受取ルノ便宜ヲ得セシメサルヘカラス何トナレハ此便宜ヲ得セシメサルトキハ原本ニ依ル裏書人ト被裏書人トノ間ニハ裏書讓渡ノ效力ルコト勿論ナルモ第三者ニ對シテハ其效力ナケレハナリ(第五二三條第五二四條參照又補箋ヲ附シ之ニ裏書ヲ爲ストキハ其補箋タルコトヲ明カニシ且ツ將來ノ紛争ヲ避クル爲メ補箋ノ欄目ニ其署名ヲ爲スコトヲ要ス  
以上ハ裏書ヲ爲スヘキ箇處ニ關スル説明ナルモ次ニ生スル問題ハ如何ニ裏書ヲ爲スコトヲ得ルヤニ在リ第四百五十七條ノ規定ニ依レハ(一)正式裏書(二)略式

裏書ノ區別ヲ爲スコトヲ得正式裏書トハ前ニ説明シタル如ク手形ノ原本補箋又ハ其原本ニ年月日ヲ記載シ被裏書人ヲ表示シ且ツ之ニ裏書人カ署名スルモノヲ謂フ而シテ裏書人及ヒ被裏書人ノ住所ハ之ヲ記載スルコトヲ要セス然レトモ其住所ヲ記載スルコトハ權利ヲ行フ場合ニ實際上便益アルコト明カナレヘシ何トナレハ之ニ依リ手形權利ヲ行フヘキ場所ヲ知ルコト容易ナレハナリ(第四四二條略式裏書トハ被裏書人及ヒ年月日ヲ記載スルコトナク單ニ裏書人ノ署名ノミヲ以テ爲スモノヲ謂フ所謂白地裏書ト稱スルモノ是ナリ略式裏書ニハ年月日ノ記載ヲ要セサルモ之ヲ記載スルコトハ或場合ニハ極メテ便益ナルコトアリ而シテ年月日ヲ記載スルモ略式裏書タルコトヲ妨グス略式裏書ニハ年月日ノ記載アル場合ノ便利ハ例ヘハ左ノ如シ

第一 變造ノ手形ニ裏書ヲ爲シタル場合 變造ノ手形ニ裏書ヲ爲シタル者ハ變造以前ニ裏書シタルモノト推定スルヲ以テ(第四三七條其以後ナルコトヲ主張スル者ハ反證ヲ舉グルコトヲ要シ裏書人ハ十分其利益ヲ保護セラルヘキモ若シ裏書ノ年月日ヲ記載スルトキハ少クモ此點ニ關スル紛争ヲ避クルコトヲ

得ン又之ト反對ニ被裏書人ハ此場合ニ於ケル其年月日ヲ記載セシムル利益ヲ有スヘシ

第二 裏書ハ滿期日後ニ爲シタルモノト其前ニ爲シタルモノトニ從ヒ效力ニ大ナル相違アリ

略式裏書ニ依リ手形ノ移轉アリタル後ハ其手形ハ引渡ノミヲ以テ流通スルカ故ニ此點ヨリ觀ルトキハ手形ハ恰モ無記名式ナルモノノ如ク流通スルモ略式裏書ニ依リテ流通スル手形ト無記名手形トヲ混視セサルコトヲ要ス而シテ二者ノ相異ナル要點ヲ擧クレハ左ノ如シ

爲替手形ノ略式裏書ニ依ル所持人カ容易ニ其權利ヲ侵奪セラルル危険ヲ避ケントセハ自己ヲ被裏書人トシ更ニ正式ノ裏書トシ手形ヲ流通セシムルコトヲ得第四六一條之ニ反シテ無記名式手形ノ所持人ハ記名式ニ變更シ流通セシムル權利ヲ有セサルコト勿論ナリトス故ニ手形權利ヲ實行スルニハ手形ノ占有ヲ移スノミニテ足ルノ點ハ二者全ク相類スト雖モ其實大差アルモノト知ルヘシト以上ハ裏書ノ形式ニ關スル説明ナリ次ニ裏書人ハ裏書ヲ爲スニ當リ附加ノ意

思表示ヲ爲シ手形上ノ效力ヲ生セシムヘキモノアルコトヲ説明セシ  
爲替手形ノ裏書ニ附加シ得ヘキ事項左ノ如シ

一 支拂地ニ於ケル豫備支拂人ノ記載

爲替手形ノ振出人カ豫備支拂人ヲ記載シテ手形上其效力ヲ有セシムヘキコト  
ハ既ニ之ヲ説明セリ裏書人カ豫備支拂人ヲ記載スル理由及ヒ利益モ亦振出人  
カ之ヲ記載スル場合ト同一ナリ蓋シ支拂人ハ手形上引受ヲ爲ス義務隨テ支拂  
ヲ爲ス義務ヲ有スルモノニ非サルカ故ニ手形所持人ノ請求引受又ハ支拂ノヲ  
受クルニ際シ之ニ應セサルコトアルヘキハ豫期セサルヘカラス若シ支拂人ニ  
於テ振出人ノ委託ヲ承諾セサルトキハ振出人ハ其信用ヲ失フノ危険アルノミ  
ナラス後ニ論スル如ク擔保ヲ供シ又ハ償還ヲ爲ス爲メ多少ノ損失ヲ被ルコト  
アリ裏書人モ亦手形上擔保義務者ナルコトハ手形振出人ト同一ニシテ同一ノ  
虞アルモノナルヲ以テ之ト同シク豫備支拂人ヲ記載スル權利ヲ有スルコトヲ  
認メタリ(第四五八條)

裏書人カ豫備支拂人ヲ記載シタル場合ニ於テ支拂人カ引受ヲ爲ナス又ハ其手

形カ不拂ト爲リシトキハ所持人ハ拒絕證書ヲ作り直チニ其前者ニ擔保又ハ償  
還請求ヲ爲スコトヲ得ス之ヲ爲スニハ先ツ豫備支拂人ニ對シ引受又ハ支拂ノ  
請求ヲ爲ササルヘカラス若シ豫備支拂人ノ記載アルニ拘ラス之ヲ措キ直チニ  
前者ニ對シ右ノ請求ヲ爲ス如キ不注意アルトキハ所持人ハ豫備支拂人ヲ記載  
シタル者及ヒ其後者ニ對スル手形上ノ權利ヲ喪失スルノ結果ヲ生ス尙ホ此事  
ハ後ニ至リテ詳説スヘシ(第五〇八條)

二 手形裏書人ハ其裏書ヲ爲スニ當リテ手形上ノ義務ヲ負擔セサル旨ヲ記載  
スルコトヲ得(第四五九條)

三 爾後裏書ヲ禁止スル旨ノ記載ヲ爲スコト(第四六〇條)

前ニ手形ノ振出ヲ論スルニ當リ振出人カ手形ノ裏書ヲ禁止スル旨ヲ記載シタ  
ルトキハ其手形ハ流通證券タル性質ヲ失フヘキコトヲ述ヘタリ裏書人カ爾後  
裏書ヲ禁止スル旨ヲ記載シタル手形ハ流通證券タルニハ毫モ影響ヲ受クルコ  
トナシ蓋シ振出人ニ於テ流通證券トシテ發行シタル手形ハ其他ノ者ノ意思ヲ  
以テ其效用ヲ變シ振出人ノ意見ヲ阻碍スヘキ道理ナクレハナリ即チ振出人ノ



記載シタル裏書禁止ト裏書人ノ記載シタルモノトハ其効力同シカラス而シテ裏書人カ裏書禁止ヲ爲シタル場合ニ於ケル効力ノ範圍ニ付テ一言セシニ例ハ甲(振出人)乙(受取人)丙(支拂人)ノ間ニ成立シタル爲替手形ヲ乙カ丁ニ裏書スルニ當リテ爾後裏書ヲ禁止スル旨ヲ記載シタルニ丁カ之ヲ戊ニ裏書シタリトセハ戊以後ノ所持人ハ唯乙者ニ對シテ擔保又ハ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得タルニ過キサルナリ換言セハ其効力ハ裏書禁止ノ意思表示ヲ爲シタル者ノ爲メノミニ生スルモノニシテ其後ノ裏書人又ハ振出人ナル甲者ノ爲メニハ何等ノ効力ヲ有セス蓋シテ手形ノ振出人及ヒ裏書人ハ本來擔保義務ヲ負フモノナルヲ以テ特ニ法律ノ許シタル意思表示ヲ爲ササルトキハ原則ニ從ヒ義務ヲ負擔スヘキモノナレハナリ

裏書人カ手形ノ裏書ヲ爲スニ當リテ手形上ノ義務ヲ負擔セサルコトヲ記載シ又ハ裏書禁止ノ記載ヲ爲ス目的ハ裏書人カ振出人及ヒ其前者ノ責力ニ疑ヲ存スル場合ニ若シ支拂人カ支拂ヲ爲ササルトキハ自己ハ償還義務ヲ履行スルモ反求ヲ爲スニ由ナキ結果ヲ豫想シ之ヲ豫防セントスルニ在ルコトヲ通例トス

故ニ此記載アル手形ノ流通ハ自然滯留スルコトヲ免レサルナリ然レトモ此事項ヲ記載スル目的ハ必スシモ右ノ如キ場合ニ限ルモノト信スヘカラス或場合ニ於テハ手形ハ如何ナル信用ヲ有スルヤヲ試験スル爲メ之ヲ記載スルコトナシトセス何トナレハ若シ手形上ノ義務ヲ負擔セサル旨又ハ爾後裏書ヲ禁止スル旨ノ記載アルニ拘ラス其手形カ容易ニ流通スルトキハ是レ其十分ナル信用アルコトヲ徴憑スルニ足ルヘケレハナリ又或場合ニ於テハ前二箇ノ事情以外ニ此記載ヲ爲スコトアリ例ヘハ甲カ事實上乙ノ代理人トシテ手形ヲ受取リタル場合ニ丙ニ裏書ヲ爲ストキノ如シ甲者ハ乙ノ代理人トシテ受取リタルモノナルカ故ニ實際何等ノ利益ヲ有セス是レ此記載ヲ爲シ擔保義務ヲ免ルル必要アル所以ナリトス(第四五九條第四六〇條)

第三 裏書ノ効力

裏書ノ効力ヲ論スルニ付テハ場合ヲ區別シテ説明スルヲ便宜トス蓋シ或場合ニ於ケル效果ハ他ノ場合ニ異ナルコトアレハナリ

第一 單純ナル裏書ニシテ其裏書ノ時期カ拒絕證書作成期以前ナルトキ此場

合ニ於ケル裏書ハ本然ノ性質ニ因ル完全ナル効力ヲ生スルコト左ノ如ク  
 (イ) 手形權利ノ移轉 裏書人カ手形上ニ有スル權利ハ被裏書人ノ權利ト爲ル  
 被裏書人ハ手形ノ支拂人ニ對シ支拂ノ引受ヲ請求シ滿期日ニ支拂ヲ請求スル  
 コトヲ得ヘシ又若シ滿期日ヲ待テテ自ラ支拂ヲ求ムルコトヲ欲セサルトキハ  
 他人ニ裏書讓渡ヲ爲スコトヲ得ヘキナリ要スルニ被裏書人ハ裏書人カ有セシ  
 ト同一ノ地位ニ在ルモノナリ

(ロ) 裏書人ハ自己ノ權利ヲ讓渡スト同時ニ擔保義務ヲ負擔ス詳言スレハ裏書  
 人ハ所持人ニ對シ手形上ノ義務即チ滿期日前ニ支拂ノ引受ヲ爲サシムヘキコ  
 ト滿期日ニ手形金額ヲ支拂ハシムヘキコトヲ擔保ス但シ此効力ハ裏書ニ必然  
 ノモノニ非ス裏書人カ爾後裏書ヲ禁止スル旨ヲ記載シタル場合ハ此義務ヲ負  
 擔スルコトナシ又略式裏書アリタル以後ノ受取人ハ手形ノ授受ノミヲ以テ手  
 形上ノ權利ヲ移轉スルモノナルカ故ニ其受取人ハ自己ヲ被裏書人トシ正式裏  
 書ヲ爲シタル場合ニ於テノミ擔保ノ義務ヲ負擔スルニ過キサルナリ

第二 代理裏書 代理裏書ハ手形權利ノ實行ヲ爲サシムル爲メニスル裏書ニ

シテ其權利ヲ移轉スルコトヲ目的トスルモノニ非ス例ヘハ銀行又ハ執達吏  
 シテ手形金ノ取立ヲ爲サシムル場合ノ如シ此場合ニ於テハ手形ニ其旨ヲ明記  
 スルヲ必要トス何トナレハ若シ此記載ナキトキハ其裏書ハ單純ナルモノト看  
 做サルルヲ以テテ第四六三條代理裏書ノ場合ニ於テハ裏書人ト被裏書人ト  
 ノ關係ハ純然タル代理法ノ原則ニ依リテ支配セラルヘキモノニシテ代理被裏  
 書人ハ其裏書ニ因リ手形權利ヲ實行スルコトヲ得ルモ其結果ハ總テ裏書人ニ  
 歸スルモノナリ又代理被裏書人ハ手形權利ヲ實行スルニ付キ必スシモ自ラ之  
 ヲ爲スコトヲ要セス同一ノ裏書方法ニ依リ他人ヲシテ其實行ヲ爲サシムルコ  
 トヲ得ルモノトス(第四六三條第二項代理被裏書人ハ其裏書人ノ代理人ナルカ  
 故ニ第三者ニ對シテハ裏書人ノ地位ニ在ル者ト謂ハサルヲ得ス其結果トシテ  
 手形上ノ關係人カ本人タル裏書人ニ對抗シ得ヘキ總テノ防禦方法ハ代理被裏  
 書人ニモ亦之ヲ對抗スルコトヲ得ヘシ

代理裏書ハ右説明ノ如クナルカ故ニ實際ニ於テハ手形ノ支拂ヲ延期シ又ハ償  
 還義務ヲ免レントスル場合ニ代理裏書アリタルモノナルコトヲ主張シ以テ其

裏書人ニ對スル抗辯ノ理由ヲ利用セント試ムルコトアリ又ハ手形ノ裏書ハ事實代理裏書ナルニ拘ラス形式ヲ單純ノ裏書トシ裏書人ニ對抗セラルヘキ事由ヲ妨ケントスルニ用フルコトアリ

第三 質入ノ裏書 負債ノ擔保ヲ爲メニ債權者ヲ被裏書人トシテ之ヲシテ手形權利ヲ行フコトヲ得セシムルヲ目的トスル裏書ナリ此場合ニ於テモ亦手形ニ其旨ヲ記載スルコトヲ要ス何トナレハ若シ其記載ナキトキハ爾後善意ノ受取人ニ對シテハ單純ノ裏書ト看做サルモノナレハナリ質入被裏書人ハ同一ノ目的ヲ以テ更ニ他ニ裏書ヲ爲スコトヲ得第四六三條

第四 支拂拒絕證書作成期間後ノ裏書 以上説明シタル所ハ裏書ノ種類ナリ今茲ニ説明セントスルモノハ裏書ノ時期ニ關シ特ニ掲クルモノニ外ナラス而シテ右第一乃至第三ニ通シテ行ハルヘキモノナリ拒絕證書ヲ作成スル時期ハ満期日後二日內トス此後ノ裏書ニ依ル被裏書人ノ權利ハ單ニ裏書人ノ有シタル權利ヲ其儘承繼スルニ過キス其前ニ於ケル裏書ノ如ク被裏書人ヲシテ獨立ノ債權ヲ取得セシムルコトナシ第四六二條蓋シ爲替手形ハ拒絕證書作成ノ期間

ヲ經過シタルトキハ債務者カ所持人ニ對シテ履行ヲ約シタル債務ハ既ニ其時ニ固定セタルモノト謂ハサルヘカラサルヲ以テ其以後ニ手形ヲ取得シタル者ニ對シテハ復タ獨立ノ債務ヲ約スル意思アリト認ムルコトヲ得ス故ニ拒絕證書作成期日後ノ裏書ニ依ル被裏書人ハ單ニ裏書人ノ權利ヲ承繼スルモノナリト規定シタリ此規定ノ結果トシテ手形ノ被裏書人ハ其債務者カ裏書人ニ對抗スルコトヲ得ヘキ總テノ防禦方法ヲ認容スルコトヲ免レサルナリ

第五 逆裏書 前ニ手形ノ裏書ハ何人ノ爲メニモ之ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ陳述セリ茲ニ説明セントスル所ハ手形上既ニ關係ヲ有スル者ニ裏書ヲ爲ス場合ニシテ通例ノ場合ト異ナルモノ例ヘハ手形ノ裏書人タリシ者カ被裏書人タル如キコトアリ故ニ便宜上逆裏書タル名稱ヲ用フ蓋シ此場合ニ於ケル裏書ノ效力其モノノミニ付キ觀察スレハ通常ノ裏書ニ於ケルモノト全ク同一ニシテ裏書人ハ被裏書人ニ對シテ別段ノ意思表示ヲ爲ササル限りハ既ニ述ヘタル如ク手形上ノ義務ヲ負擔スルモノトス然リト雖モ逆裏書ニ於テハ既ニ存スル被裏書人タリシ手形關係ニ因リ通常ノ裏書トハ實際上相違ノ點ヲ見ル例ヘハ裏書

讓渡ノ關係上裏書人トシテ義務ヲ負擔シタル者ノ如シ其義務ハ同一手形ノ被裏書人ト爲リシ爲メ消滅セザルカ故ニ其裏書ニ因リ得タル權利ヲ實行スルニ當リテハ影響ヲ受クヘキコト自ラ明カナルヘシ是レ特ニ説明ヲ爲ス所以ナリ而シテ其場合ヲ示セハ左ノ如シ

(一) 甲ハ振出人ニシテ乙及ヒ丙ハ裏書讓渡人丁ヲ所持人戊ヲ支拂人ト假定シ丁カ支拂ノ引受ヲ爲サナリシ戊ニ裏書ヲ爲シタルトキハ支拂人戊ハ固ヨリ手形上債務者ニ非サルカ故ニ通例ノ被裏書人ト同シク請求權ヲ行フニ何等ノ影響ヲ受クルコトナカルヘシト雖モ若シ裏書讓渡人タル丙カ被裏書人ト爲リタルトキハ丁ニ對シ前ノ裏書ニ因リ償還義務者タル地位ニ在ルモノナルカ故ニ一方ニ於テハ償還請求權ヲ有スルモ他ノ方面ニ於テハ償還義務ヲ履行スルコトヲ要スルモノトス故ニ丁ニ對スル權利ハ實際ノ利益ナシト謂ハサルヘカラス

(二) 振出人カ被裏書人ト爲リタル場合 蓋シ振出人ハ通例手形關係上最終ノ償還義務者ナルカ故ニ一旦償還請求權ヲ行フヘキモ前ノ手形關係アル爲メ被

裏書人タル地位ヲ利用スルコト能ハサル場合アルコトハ前掲ノ例ニ於ケルト雖ナルコトナシ

(三) 支拂引受人カ被裏書人ト爲リタル場合 民法ノ規定ニ依レハ此場合ハ混同ノ原則ニ依リテ債務關係カ消滅スヘキモノナルモ手形ノ満期前ニ於テハ支拂引受人ト雖モ被裏書人トシテ其取得シタル權利ヲ利用割引スルコトヲ得サル理由ナキヲ以テ支拂引受人ト雖モ亦被裏書人タルヘキコトヲ規定セリ(第四五六條)但シ自己ハ主タル債務者ナルヲ以テ満期後ニ至リテハ被裏書人タル權利ヲ得ルニ由ナシトス

### 第三節 引 受

手形ノ引受トハ手形ニ關スル商法ノ規定ニ依リ爲替手形ノ所持人ニ對シ其振出人カ爲シタル支拂ノ委託ヲ承諾スルコトヲ謂フ抑モ爲替手形ノ所持人ハ満期日ニ手形金額ノ支拂ヲ支拂人トシテ記載セラレタル者ニ對シ請求スルコトヲ得ルモ所謂支拂人ナル者ハ爲替手形ニ記載シタル金額ノ支拂ヲ委託セラレ

タルニ過キサルモノナルカ故ニ手形法律關係ニ於テハ支拂ヲ爲ス義務ヲ有スルモノニ非ス但シ實際ニ於テハ支拂人ハ振出人ニ對シテ情誼上若クハ通例民商事上ノ法律關係ニ因リ支拂ヲ爲スコトヲ通例ナリトス然レトモ是レ素ト手形債務ノ成立ニ關係スルモノニ非ストノ說ハ既ニ總論ニ於テ述ヘタル所ノ如シ故ニ支拂人トシテ記載セラレタル者ハ必スシモ支拂ノ引受ヲ爲シ其支拂ヲ爲スヘキモノニ非ス其引受及ヒ支拂ヲ爲スヤ否ヤハ全ク其自由ノ意思ニ因ルナリ即チ手形カ満期日ニ果シテ支拂ハルヘキヤ否ヤハ未定ナリト謂ハサルヲ得ス蓋シ此未定ハ手形所持人ノ爲メニハ極メテ不利益ナリ何トナレハ手形ノ支拂ノ引受アルヤ否ヤ隨テ其支拂アルヤ否ヤ不確定ナルトキハ其手形ハ流通上澁滯スルコト必然ノ理ナルヲ以テ振出人若クハ裏書人ニ十分ノ信用アルトキハ仍ホ流通ニ支障ナシトスルモ既ニ引受アル手形ニ比スヘカラサルコト極メテ親易キノ道理ナリ是ヲ以テ手形所持人ハ満期日前ニ支拂人カ引受ヲ爲スヤ否ヤヲ確ムルノ便益アリ故ニ法律ハ所持人ヲシテ満期日前ニ支拂ノ引受ヲ請湯スルコトヲ得セシメ何時タリト雖モ自己ノ欲スル如ク其請求ヲ爲ス權案ヲ

有スルモノトセリ所持人カ有スル右ノ權利ハ之ヲ行使スルニ付キ何等ノ制限ナキカ故ニ自己ノ便利ナリトスル時ニ手形ノ呈示ヲ爲スコトヲ得而シテ其引受ヲ爲スト否トハ支拂人ノ隨意ナリトス  
 右ノ説明ニ依レハ手形所持人カ其支拂ノ引受ヲ請求スルコトハ權利ニシテ其義務ニ非サルヲ原則トスレトモ例外トシテ其引受ヲ請求セザレハ完全ニ其權利ヲ保有シ難キ場合即チ支拂ノ引受ヲ求ムルコトヲ要スルコトアリ其場合ヲ示セハ左ノ如シ  
 第一 爲替手形カ一覽後定期拂ノモノナルトキ(第四六六條第一項)  
 第二 他所拂ノ手形ニ於テ振出人カ満期日前ニ手形ノ引受ヲ求ムル爲メ之ヲ呈示スヘキ旨ヲ記載シタルトキ(第四七二條第二項)  
 右二箇ノ場合ハ手形ノ規則上引受ノ請求ニ關スル制限ナリ此場合ニ於テ所持人カ振出人ノ意思ニ違フテ呈示ヲ怠ルトキハ單ニ其振出人ニ對シテ手形上ノ權利ヲ喪失スルノミナラス其他ノ前者ニ對シテモ亦之ヲ喪失スルノ結果ヲ生ス(第四六六條第二項 第四七二條第二項)

(一) 一覽後定期拂ノ爲替手形ノ所持人ハ振出ノ日附ヨリ運クモ一年内ニ手形ヲ支拂人ニ呈示シテ其引受ヲ求メサルヘカラス蓋シ法律カ一覽後定期拂ノ爲替手形ヲ發行スルコトヲ許シ且ツ其最長満期日ヲ定メタルモノハ若シ全ク所持人ノ意思ニ一任スルトキハ想像上何十年後ニ至リテモ支拂ヲ請求スルコトヲ得ル如キ結果ヲ生シ手形關係人ノ不便少カラサルニ由ル而シテ一年ノ期間ハ法律上ノ最長期間ナルカ故ニ若シ此期間ヲ徒過スルトキハ其所持人ハ前者ニ對シ手形上ノ權利ヲ失フ又若シ振出人カ一年ヨリ短キ呈示期間ヲ記載シタルトキハ其記載ハ所持人ヲシテ其期間内ニ呈示スル義務ヲ負ハシムルコトハ前ニ手形ノ成立ニ必要ナラサル事項ニシテ手形上效力ヲ生スヘキモノノ一トシテ説明シタルカ如シ

一覽後定期拂ノ手形ノ引受ヲ求ムル目的ハ其満期日ヲ定ムルニ在ルヲ以テ其呈示ヲ受ケタル支拂人カ引受ヲ爲ササルカ又ハ引受ヲ爲スモ其日ヲ手形ニ記載スルコトヲ肯セサル場合ニ於テハ所持人ハ呈示期間内ニ於テ其拒絕證書ヲ作成スルコトヲ要ス若シ之ヲ作ルコトヲ怠ルトキハ所持人ハ其前者ニ對シ手

形上ノ權利ヲ喪失スル結果ヲ生ス(第四六七條第二項)又拒絕證書ヲ作成スルトキハ其作成ノ日ヲ以テ呈示ノ日ト看做スカ故ニ其日ヲ以テ満期日ヲ定ムル起算點ト爲ス(同條第一項)故ニ満期日ヲ速カナラシメント欲スル所持人ハ拒絕證書ヲ作成スルヲ要スルコト多言ヲ埃タスシテ明カナルヘシ

茲ニ注意スヘキハ手形ノ支拂ナカリシ場合ニ拒絕證書ヲ作成スル場合ト手形ノ引受ナキカ又ハ引受アルモ引受ノ日附ヲ記載セザリシ場合ニ拒絕證書ヲ作成スル期間ニ差異アルコト是ナリ手形ノ支拂ナカリシ場合ニ於ケル拒絕證書作成ノ期間ハ一定ヲ短縮セリ即チ遅クモ満期日後二日内ニ作成セシメタルヘカラス(第四八七條)引受ヲ爲ササルカ又ハ引受ノ日附ヲ記載セサル爲メニ作成スル拒絕證書ハ其呈示期間即チ或ハ手形ノ振出ヨリ一年内ニ或ハ振出人ノ定メタル期間内ニ之ヲ作成セシムルヲ以テ足レリトス(第四六七條第一項)

一覽後定期拂爲替手形ノ引受ノ日ノ記載ナキ場合ニ於テ一年内ニ拒絕證書ヲ作ラシメサルトキハ其満期日ハ法律ノ規定ニ依リテ確定ス即チ呈示期間ノ末日ヲ以テ呈示ノ日ト看做ス(第四六七條第三項)

(二) 他所拂爲替手形ニ於テモ亦所持人ハ支拂人ニ對シ其引受ヲ求ムル爲メ手形ノ呈示ヲ要スルコトアリ他所拂爲替手形トハ支拂人ノ住所地以外ニ於テ支拂フヘキモノニシテ振出人ハ豫メ支拂擔當者ヲ記載シ又ハ記載セサルコトアリ若シ支拂擔當者ヲ記載セザリシトキハ支拂人ハ引受ヲ爲スニ當リ自ラ之ヲ記載スルコトヲ得而シテ何レノ場合ニ於ケルモ支拂地ニ在リテ支拂ノ準備ヲ爲サシムル必要アルヲ以テ振出人ハ手形ノ満期日前ニ其引受ヲ求メシムル爲メ特ニ呈示期間ヲ定メテ之ニ記載スルコトヲ得ヘシ若シ所持人ニ於テ此記載ヲ看過シ呈示ヲ爲シタルコトヲ證明セザルトキハ其前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フニ至ル故ニ完全ニ其權利ヲ保有セント欲セハ右呈示期間ニ引受ヲ求メ引受ナカリシトキハ拒絕證書ヲ以テ之ヲ證明セサルヘカラス(第四七二條第二項)

第一 引受ノ形式

爲替手形ノ引受ハ他ノ手形行爲ト同シク要式書面行爲ナルヲ以テ方式ヲ具備シタル場合ニ於テノミ成立ス商法第四百六十八條ハ此形式ヲ定メタル規定ニ

シテ之ニ依レハ爲替手形ノ引受ヲ爲スニハ二様ノ方式アリト謂フヘシ

第一 爲替手形ニ引受ノ旨ヲ明記シ支拂人カ之ニ署名スル場合

第二 支拂人カ單ニ署名ノミヲ以テスル場合

是ナリ右何レノ場合ニ於テモ引受ハ爲替手形ノ原本ニ之ヲ爲スコトヲ要ス蓋シ引受ハ手形振出人ノ支拂委託ニ對スルモノナルヲ以テ其委託ヲ載セタル爲替手形ノ原本ニ依ルニ非サレハ之ヲ認ムルコトヲ得サレハナリ故ニ手形ノ原本ニ於テ爲シタル引受其他手形ノ補箋別紙又ハ口頭等ヲ以テ爲シタルモノノ如キハ其意思表示ハ如何ニ明確ナリトスルモ手形上何等ノ效力ヲ生スルコトナシ

引受ニハ引受人ノ署名ノミヲ以テ足レリ引受ノ場所又ハ引受ケタル金額ノ記載ノ如キハ其必要條件ニ非サルナリ然レトモ引受金額ヲ記載スルコトハ實際上有益ナリトス何トナレハ手形ノ引受アリシ後ニ手形金額ヲ變造スルニハ此記載ニ因リテ多少困難ヲ來シ變造ヲ避ケシムヘキヲ以テナリ

支拂引受ヲ爲スニ當リ其金額ヲ記載シタル場合ニ生スル問題即チ若シ引受ノ

金額カ手形金額ト相違スルトキハ其結果ハ如何若シ引受人カ記載シタル金額カ手形金額ヨリ小ナル場合例ヘハ手形金額千圓ナルニ引受人ノ記載シタル金額ハ八百圓ナルトキハ法律ノ規定ニ依リテ一部ノ引受ト看做シ二百圓ニ付テハ引受ナキモノト爲スモ若シ引受金額カ手形金額ヨリ多キトキハ如何此場合ニ於テハ手形金額ヨリ多キ部分ニ對シテ引受ノ無効ナルコトハ勿論ナルヘキモ其引受ハ成立セ得ルヤ否ヤニ付テハ多少議論ノ餘地アリト謂フヘシ然レトモ手形金額ニ相當スル限度ニ於テハ引受アリトスルヲ以テ正鵠ヲ得タル說ナリト信ス蓋シ引受ハ振出人ノ委託ニ對スルモノナルカ故ニ手形金額ノ範圍内ニ於テハ手形上ノ效力ヲ生セシムヘシ之ヲ以テ引受ヲ拒ミタルモノト謂フヘカラサルナリ佛國ニ於テハ此場合ニ於テハ其超過額ニ付キ約束手形カ成立スルコトアルヘシト云フ說アレトモ我商法ニ於テハ之ヲ容ルルコトヲ得ス何トナレハ約束手形ニハ約束手形タルコトヲ示スヘキ文字ヲ記載スルコトヲ要スルヲ以テ手形金額以外ノ部分ニ對スル引受アリトスルモ此規定ニ依リ效力ヲ生セシムヘキ場合ヲ豫想スルコト能ハサレハナリ

手形引受ノ形式ハ右ニ述フル所ノ如シ尙ホ支拂人ハ引受ヲ爲スニ當リ引受ノ成立ニ關係セサル或事項ヲ記載スルコトヲ得

- (一) 他所拂ノ爲替手形ニ振出人カ支拂擔當者ヲ記載セザリトキハ支拂人ハ引受ヲ爲スニ當リ支拂擔當者ヲ記載スルコトヲ得第四七二條
- (二) 支拂人ハ爲替手形ノ引受ヲ爲スニ當リテ手形ニ其支拂地ニ於ケル支拂ノ場所ヲ記載スルコトヲ得例ヘハ何銀行ニテ支拂フヘシト云フカ如シ(第四七三條)

第二 引受ノ效力

支拂人ハ爲替手形ノ引受ヲ爲スニ因リテ満期日ニ其引受ケタル金額ヲ支拂フ義務ヲ負擔ス既ニ總論ニモ述ヘタルカ如ク此義務タル引受ナル手形上ノ行爲ニ因ルモノニシテ原因ヲ要セサル獨立ノ義務ナルカ故ニ手形上ニ於ケル他ノ法律關係及ヒ事情如何ニ拘ラス有效ニ成立ス例ヘハ手形ノ振出人カ無能力者ナリシカ爲メ手形ノ振出行爲ヲ取消シタル場合又ハ手形カ偽造ナリシカ爲メ振出人ニ對シテハ手形ハ何等ノ效力ナキ場合又ハ支拂人カ爲替資金ヲ受取ル





コトヲ原因トシテ引受ヲ爲シタル場合ニ満期日ニ至ルモ猶ホ資金ノ交付ナキトキ若クハ支拂人ハ振出人カ實産家ナルコトヲ信シテ引受ヲ爲シタルニ爾後振出人ハ破産ヲ爲シタルトキ等ノ如キ支拂人ノ引受ニハ何等ノ影響ヲ及スコトナシ

手形ノ引受人ハ手形金額ヲ支拂フ外他ニ何等ノ義務ヲ負フコトナシト雖モ若シ満期日ニ支拂ヲ爲ササルトキハ手形所持人ニ對シテ運滞ノ利息ヲ支拂ハナルヘカラス且ツ若シ支拂ヲ拒絶シタル場合ニ於テ償還義務者カ其義務ヲ履行シタルトキハ其者ニ對シテハ手形金額ハ勿論其償還義務ノ履行ニ因リテ生シタル損害額ヲ支拂ハサルヘカラス(第四七一條是レ新法カ舊法ノ缺點ヲ補正シタルモノナリ)

引受ヲ爲シタル支拂人ノ義務ハ手形請求權ノ時効ニ罹ルマテ存續ス(第四四三條)又爲替手形ノ所持人ハ其引受人ニ對シ權利ヲ保全スルニハ別ニ何等ノ手續ヲ爲スニ及ハサルヲ原則トスレトモ支拂人ノ義務ハ或場合ニ於テハ所持人カ手形上ノ手續ヲ爲ササルニ因リテ消滅スルコトアリ例ヘハ他所拂手形ニ於テ支

拂擔當者ノ記載アルニモ拘ラス所持人カ之ニ對シテ支拂ヲ求メナリシ場合ノ如シ(第四九〇條)面シテ手形支拂人ノ義務ハ一般民法上ノ債務ノ如ク供託ニ因リテモ其義務ヲ免ルルコトヲ得(第四八五條)

手形引受人ハ其引受ヲ爲スニ當リテ單純ノ引受ヲ爲スコトアリ制限附ノ引受ヲ爲スコトアリ今其制限附ノ引受ハ法律上有效ナリヤ否ヤニ付キ左ニ其要旨ヲ論セントス

制限附引受ノ場合トハ例ヘハ某船カ某港ニ到着セハ支拂フヘシト云ハ或ハ手形ニ記載セル満期日ト異ナル日ニ於テハ支拂フヘシト云フ如キ又ハ手形ニ記載セル支拂地ト異ナル地ニ於テ若クハ一時ニ支拂ハス一部分ツツ數度ニ支拂フヘシト云フ如シ要スルニ手形所持人ノ爲メニハ單純ノ引受ニ比スレハ多少不便ナル事項ヲ附加シタル引受ヲ爲シタル場合ナリ蓋シ斯ル引受ハ振出人ノ委託ニ違フコト勿論ナリ何トナレハ手形振出人ハ(第一満期日ニ支拂人ヲシテ手形金額ヲ支拂フ義務ヲ負擔セシムルコト)第二支拂人カ満期日ニ手形金額ヲ支拂フ義務ヲ有スルコト即チ手形カ有效ニ支拂ハルルコトヲ擔保スルモノナ

ルニ制限附引受ハ振出人カ所持人ニ對シテ約シタル右ノ趣旨ニ違ヘハナリ故  
 ニ左ノ三説アルヲ見ル

甲 制限附引受ハ振出人ノ委託ニ違フモノナルカ故ニ無効ナリ

乙 制限附引受アリシトキハ制限ノ記載ナキモノト看做シ引受ヲ有效ナリト  
 スヘシ

丙 右二説ノ如ク嚴格ニ論定セス蓋シ制限附引受ノ效力ヲ定ムルニハ甲説ニ  
 據ルモ乙説ニ據ルモ引受ヲ爲シタル者ノ意思ニ反スルノミナラス或ハ所持人  
 ノ意思ニモ合致セサルヘシ所持人ハ引受ナキヨリモ寧ロ制限附引受ヲ引受ア  
 ルコトヲ希望スルコトナシト謂フヘカラサルニ由リ制限附引受ハ無効ナリト  
 ノ規定ハ允當ナラス又乙説ノ如ク單純ノ引受アリト看做ストキハ引受人ハ  
 引受ヲ爲シタル本旨ヲ没却セラルル迷惑ヲ感スヘシ故ニ新舊法共ニ兩極端ノ  
 説ヲ斥ケ折衷説ヲ採用セリ(第四六九條第二項舊商法第七三八條)

一 一部ノ引受ハ其限度ニ於テ有效ナリ換言スレハ一部ノ引受ハ所持人ヲ攝  
 束ス

二 其他ノ制限附引受ハ所持人ニ於テ之ヲ認ムル義務ナシ換言スレハ一部引  
 受以外ノ制限附引受ハ所持人ニ於テ之ヲ取捨スル全權ヲ有ス故ニ若シ所持  
 人カ之ヲ取リタルトキハ引受人ニ對シ其制限内ニ於テ手形上ノ權利ヲ取得  
 ス但シ此場合ト雖モ其前者ニ對シテハ引受ナキモノトシテ直チニ擔保ノ請  
 求ヲ爲スコトヲ妨ケス然レトモ一部ノ引受ハ手形所持人ヲ羈束スルカ故ニ  
 引受ナキ部分ニ付テノミ直チニ擔保ノ請求ヲ爲スコトヲ得ルニ過キス

第三 引受成立ノ時期

手形ノ引受ハ何時成立スルカ手形所持人カ引受ヲ求ムルニハ手形ヲ支拂人ニ  
 呈示セサルヘカラサルコトハ勿論支拂人ハ其手形ニ署名スルコトヲ要スルヤ  
 言フ埃タスト雖モ引受人カ署名スルニ因リ直チニ成立スヘキカ將タ其手形ヲ  
 所持人ニ還付シタル時ニ至リ始メテ成立シタリトスヘキカ

此點ニ付テハ新舊法ニ於テ其規定ヲ異ニスルモノノ如シ舊商法ニ依レハ支拂  
 人カ手形ニ引受ノ旨ヲ記載シテ之ヲ所持人ニ還付セサル間ハ其引受ヲ取消ス  
 コトヲ得ルコトハ其第七百三十六條末段ノ規定ニ從ヒ自ラ明カナリシト雖モ



新商法第四百六十八條ニハ

引受ハ爲替手形ニ其旨ヲ記載シ支拂人署名スルニ依リテ之ヲ爲ス  
 支拂人カ爲替手形ニ署名シタルトキハ其引受ヲ爲シタルモノト看做ス  
 トアリ蓋シ主トシテ引受ノ形式ヲ規定シタル條文ニシテ其成立時期ヲ定メタ  
 ルモノニ非サルヘシ然レトモ第二項ノ規定ヨリ推論セハ支拂人カ署名ヲ爲シ  
 タル時ハ即チ引受成立ノ時ナリト謂フヘシ  
 新舊法ノ規定カ果シテ右ニ理解スル如シトセハ二者ノ間ニハ大差アル結果ヲ  
 生スヘシ曰ク支拂人カ引受ノ旨ヲ記載シタル手形ヲ紛失シタル場合ニ善意ナ  
 ル他人ノ手ニ移ルトキハ舊法ニ依レハ手形ヲ引渡シタルニ非ナルカ故ニ其引  
 受ハ未タ成立セサルモノト謂フヘキモ新法ニ依レハ斯ル場合ニ於テモ仍ホ有  
 效ナル引受ノ成立スルモノト謂ハサルヘカラス

第四節 擔保

第一款 擔保ノ請求

手形ノ所持人カ支拂人ノ引受ヲ求メタル場合ニ若シ支拂人カ引受ヲ拒絕スル  
 カ又ハ支拂地ニ於テ支拂人ヲ見出スコト能ハサルカ又ハ支拂人ハ前説明ノ如ク  
 法律ノ規定ノ結果トシテ引受ヲ爲サザリシモノト看做サルルニ於テハ手形ハ  
 其趣旨ノ如ク履行セラル・キヤ否ヤニ付キ疑ヲ生スルコトヲ免レス但シ此等  
 ノ場合ト雖モ滿期日ニ至リ支拂ハルルコトナキニ非ス然レトモ償還義務者タ  
 ル振出人其他裏書人ハ滿期日前ニ於テ引受ヲ爲サシムヘキコトヲ擔保シタル  
 者ナルカ故ニ所持人ハ之ニ對シテ擔保ヲ請求スルコトヲ得又爲替手形ノ支拂  
 人カ引受ヲ爲シタル後ト雖モ若シ引受人ノ資力ニ於テ支拂ヲ爲ス能ハサルコ  
 ト明カナルトキハ其引受ハ信用スヘキモノニ非ス所持人ヨリ觀レハ宛モ其引  
 受ナカリシトキト同一ナリトス故ニ此場合ニ於テモ亦擔保ヲ供セシムルコト  
 ヲ得蓋シ此第二ノ場合ニ於ケル立法例ハ一定セス例ヘハ舊商法ノ如キハ佛法  
 ト同一主義ヲ採用シ手形所持人ハ滿期日前ニ支拂拒絕證書ヲ作り前者ニ對シ  
 償還請求ヲ爲スコトヲ得ルモノトセリ(舊商法第七七九條佛國商法第一六三  
 條英國手形法モ亦同一ナリ然レトモ滿期日前直チニ償還履行ノ請求即チ償還

請求ヲ爲サシムルコトハ條理ニ適セス而シテ償還義務者ニ於テ満期日ニ支拂  
ハルヘキコトヲ有形的ニ擔保スル以上ハ必スシモ直チニ償還請求ヲ爲サシム  
ルノ要ナシ是ヲ以テ新商法ハ近世手形法ノ主義ヲ採用シ右ノ場合ニハ所持人  
ヲシテ唯擔保ヲ請求スルコトヲ得セシムルコトトセリ

手形ノ擔保ヲ論スルニハ左ノ三項ヲ説明セサルヘカラス

第一 所持人ハ如何ナル條件ニ依リテ擔保ノ請求ヲ爲スコトヲ得ルヤ

第二 擔保ノ目的

第三 擔保ハ如何ナル場合ニ其效力ヲ失フヤ

以下順次之ヲ説明スヘシ但シ第三ノ場合ハ次款ニ讓ル

第一 擔保ノ請求ヲ爲スニハ左ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス(第四七四條第四  
七五條第五〇〇條)

(イ) 適法ナル手形ヲ所持スルコト 手形ヲ所持セサレハ手形上ノ請求ヲ爲  
スコトヲ得サレハナリ

(ロ) 引受拒絶證書ノ作成但シ豫備支拂人ノ記載アル場合ニ於テハ之ニ對シ

ヲモ引受ヲ求メ拒絶證書ニ引受ケタル旨ヲ記載セシムルコト

(ハ) 擔保ヲ供セシメント欲スル前者ニ對シテ其旨ノ通知ヲ發スルコト

第二 目的

擔保ハ手形金額及ヒ引受ナカリシ爲メニ要シタル費用ニ對スルモノナルコト  
ヲ要ス一部引受アリタル場合ニ於テハ其引受ナキ部分ニ對スルモノニ限ルコ  
トハ言フ埃タス擔保ハ法律ニ制限ナキニ由リ物權擔保タルト債權擔保タルト  
ヲ論セス義務者ノ選擇ニ從ヒ之ヲ供スルコトヲ妨ケス

擔保義務者ハ引受拒絶證書ト引換ニ非サレハ擔保ヲ供スルコトヲ要セス(第四七七  
條)又擔保義務者ハ擔保ニ該當スル金額ヲ供託シテ擔保ヲ供スル手數ヲ省クコ  
トヲ得ヘシ(第四七八條)

擔保ノ請求ハ必スシモ裏書ノ順序ニ從ヒ前者ニ之ヲ爲スコトヲ要セス又擔保  
ヲ請求ヲ受ケタル者モ亦其前者ニ對シ擔保スヘキ金額及ヒ費用ニ付キ擔保請  
求ノ通知ヲ發シ擔保ヲ請求スルコトヲ得(第四七六條)

右ノ如ク擔保ノ請求ヲ爲スニハ必スシモ直接ノ前者ニ對シテ爲スコトヲ要セ

ス順序ニ拘ラス之ヲ請求スルコトヲ得ルモノトスル以上ハ順序ヲ超越シテ擔保ノ請求ヲ爲シタル所持人アル場合ニ於テハ其發シタル通知並ニ被請求者ノ供シタル擔保ハ唯其所持人ノ爲メ效力ヲ有スルノミナラス被請求者ノ後者全員ノ爲メ且ツ其全員ニ對シテ效力ヲ有セシムルコト極メテ便益ナルヘシ何トナレハ此ノ如クスルトキハ通知ノ發送ノ數ヲ省キ擔保ノ重複ヲ避ケ結局經濟的利益アルヘナリ蓋シ第四百七十八條ノ規定アル所以ナリ

手形支拂ノ引受ナキトキ又ハ引受アリタルトキト雖モ支拂實力ノ不確實ナル場合ニ於テハ擔保ノ請求ヲ爲スコトヲ得ルコト右ニ述ヘタル如シ然レトモ左ノ場合ニ於テハ所持人ハ此請求ヲ爲スコトヲ得ス

(イ) 裏書人カ裏書ヲ爲ズニ當リ手形上ノ責任ヲ有セサル旨又ハ爾後裏書ヲ禁止スル旨ヲ記載シタルトキハ其被裏書人ハ此者ニ對シテハ擔保ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

(ロ) 爲替手形ニ豫備支拂人ノ記載アル場合ニ於テ其豫備支拂人カ單純ナル引受ヲ爲シタルトキ

(ハ) 振出人又ハ或裏書人カ所持人ニ對シテ豫メ擔保ヲ供シタル場合此合ニ於テハ更ニ擔保ヲ請求スルニ及ハス其理由自ラ明カナリ

第一款 擔保ノ消滅

擔保請求ノ目的ハ支拂人カ支拂引受ヲ爲ササルニ因リ手形金額ハ滿期日ニ支拂ハレサルコトアルヘシトノ危險アルニ由ル故ニ此危險ノ存在セサル場合ニ於テハ既ニ供シタル擔保ハ自ラ消滅ス

(イ) 支拂人ハ前ニ引受ヲ爲サナリシト雖モ後ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタルトキ

(ロ) 手形金額及ヒ無引受ノ爲メ生シタル費用ノ支拂アリタルトキ

(ハ) 擔保ヲ供シ若クハ供託ヲ爲シタル者又ハ其前者カ所持人ニ對シテ償還義務ヲ履行セタルトキ

(ニ) 手形上ノ權利カ时效又ハ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタルトキ

(ホ) 擔保ヲ供シ又ハ供託ヲ爲セタル者カ滿期日ヨリ一年内ニ償還ノ請求ヲ

商法手形 爲替手形 擔保

受ケサリシトキ

支拂引受人カ支拂ヲ爲ス實力ヲ有スルヤ否ニ付キ疑アルニ至リタル場合ニ於テハ所持人ハ引受アリタルニ拘ラス前者ニ對シ擔保ノ請求ヲ爲スコトヲ得但シ左ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス

- (イ) 支拂引受人ハ破産ノ宣告ヲ受ケタルコト 舊商法ニ於テハ引受人カ破産若クハ家資分散ノ宣告ヲ受ケタル場合及ヒ其他實力ノ不確實ナル場合ニ於テ擔保ヲ供セシムルコトヲ得セシメタリ然レトモ其他實力ノ確ナラスト云フ如キハ漠然タル規定ニシテ却テ爭訟ヲ生スル虞アルカ故ニ新商法ニ於テハ破産ノ宣告アリタル場合ヲ以テ支拂實力不確實ナル場合トセリ蓋シ破産宣告アリタル場合ニ於テハ其清算ニ付キ多分ノ日時ヲ要スルノミナラス働方財産ハ以テ受方財産ヲ償却スルコト能ハサルコト普通ナルヲ以テ此場合ニ於ケル擔保ノ請求ヲ爲サシムヘキ事由アリト謂ハサルヲ得ス
- (ロ) 引受人カ擔保ヲ供セサルコト 破産ノ宣告ヲ受ケタル者ハ其財産ヲ處分スル權利ヲ有セサルカ故ニ自己ノ財産ヲ擔保ニ供スルコトヲ得サルコト

ト勿論ナレトモ他人ハ其保證人ト爲リ又ハ其財産ヲ以テ擔保ニ供スルコトアルヲ以テ破産ノ宣告ヲ受ケタル引受人ト雖モ擔保ヲ供スルコトヲ得ヘシ

(ハ) 手形ニ豫備支拂人ノ記載ナキコト若シ其記載アルトキハ之ニ對シテ引受ヲ求メタルモ其單純ナル引受ナカリシコト

(ニ) 擔保ヲ供セシメントスル前者ニ對シテ擔保請求ノ通知ヲ發スルコト

右ノ條件ヲ具備スルニ非サレハ所持人ハ其前者ニ對シテ擔保ノ請求ヲ爲スコトヲ得サルモノトス(第四八〇條)

手形償還義務者カ供シタル擔保ハ左ノ場合ニ於テハ其效力ヲ失フ

- (イ) 豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタルトキ
- (ロ) 引受人カ後日ニ至リ相當ノ擔保ヲ供シタルトキ
- (ハ) 其他引受ナカリシ場合ニ供シタル擔保カ效力ヲ失フ場合

第五節 支拂

商法手形 爲替手形 支拂

手形ノ用途ニ種類アルコトハ既ニ述ヘタル所ニシテ例ヘハ第三者ノ爲メ手形ヲ振出シテ其義務ヲ擔保シ又ハ之ヲ以テ支拂ノ方法ト爲シ或ハ又自己ノ信用ヲ行使スル等ノ如シ然レトモ結局ノ目的ハ之ヲ以テ一時金錢ニ代用スルニ在ルヲ以テ手形ノ效用ハ其支拂ノ時期ニ相違ナク支拂ハルルニ因リテ顯ハルルモノナリト謂フコトヲ得ヘシ蓋シ手形支拂ナルモノモ一ノ債務ノ履行ニ外ナラサルカ故ニ其有效ナル履行アリトスルニハ他ノ一般債務ノ履行ニ於ケルト同シク支拂ヲ受クヘキ者カ之ヲ爲スヘキ者ニ對シテ其請求ヲ爲シ手形ノ趣旨ニ從ヒ支拂アリタル場合ニ非サレハ支拂アリト謂フコトヲ得ス故ニ本節ニ於テ説明ヲ要スル點ハ當ニ左ノ如クナルヘシ

- 第一 爲替手形ノ支拂ハ何人カ之ヲ爲スヘキモノナルヤ
  - 第二 爲替手形ノ支拂請求ハ何人カ之ヲ爲スヘキモノナルヤ
  - 第三 爲替手形ノ支拂ハ如何ニ之ヲ爲スヘキモノナルヤ
- 此問題ニ對スル簡單ノ答ハ支拂ヲ爲スヘキ者ハ手形引受人ニシテ支拂ヲ請求スヘキ者ハ手形ノ受取人其他手形ノ所持人ナリ而シテ支拂ハ適法ノ場所及ヒ

時ニ於テ爲スコトヲ要スト云フニ歸著ス然レトモ之ヲ以テハ未タ十分ニ其意義ヲ明カナラシムルコトヲ得ス尙ホ進ミテ仔細ニ其説明ヲ爲ササルヘカラス本節ハ之ヲ分チテ左ノ三點トス

- 第一 爲替手形ノ支拂ノ請求ハ何時何レノ處ニ於テ之ヲ爲スヘキモノナリヤ及ヒ爲替手形ノ支拂ノ目的如何
- 第二 爲替手形ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得ル者ハ何人ナリヤ及ヒ其者ハ如何ニ之ヲ請求スルコトヲ要スルヤ
- 第三 爲替手形ノ支拂ヲ爲スヘキ者及ヒ其者カ支拂ヲ爲スニ付キ有スル權利如何

以下順次之ヲ説明セントス

- 第一 爲替手形ノ支拂ノ請求ヲ爲スヘキ時場所及ヒ其目的如何
- 爲替手形ノ支拂ノ請求ハ滿期日ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得ルモノナルカ故ニ滿期日トハ如何ナル日ヲ云フヤノ問題ヲ決セサルヘカラス而シテ滿期日ニ於テモ支拂人カ支拂ヲ爲スヘキ場所ハ一定ナルカ故ニ支拂ヲ爲スヘキ處ヲ論セザ

ルヲ得ス又手形債務ハ必ス金錢ヲ目的トスヘキモノニシテ他物ヲ以テ之ニ充  
 フルコト能ハサルコトハ既ニ述ヘタル所ノ如シ故ニ更ニ此點ヲ分析シテ説明  
 スルコト左ノ如シ

(甲) 満期日 満期日トハ手形金額カ支拂ハルヘキ時トシテ手形上ニ記載セラ  
 レタル當日ヲ謂フ此點ニ付キ注意スヘキハ手形上ト言ヘルコトナリ手形ハ要  
 式行爲ナルヲ以テ手形上ニ記載ナクテハ當事者カ如何ニ明確ナル意思ヲ以テ  
 支拂ノ日時ヲ定ムルモ所謂満期日トシテ效力ヲ生スヘキモノニ非サルナリ満  
 期日ハ既ニ説明シタル如ク法定ノ範圍内ニ於テ手形振出人ニ於テ隨意ニ之ヲ  
 定ムルコトヲ得第四五〇條又其期日ハ一ノ手形金額ニ付テハ必ス同日ニ在  
 ルコトヲ要ス換言スレハ分期拂ノ方法ハ手形ノ法理上認メサル所ナリ此點ニ  
 付テハ法律ニハ明文ノ記載ナシト雖モ手形ノ性質上然ラサルヲ得サルモノト  
 ス

満期日ノ如何ハ第四百五十條ノ規定スル所ニシテ其最モ明白ナルモノハ確定  
 セル日即チ手形ノ記載ヲ一見シテ明白ナルモノ是ナリ例ヘハ明治三十四年一

月十九日ニ振出シタル手形ニ同年十月十五日ヲ支拂日ト記載シタル場合ノ如  
 シ復タ何等ノ説明ヲ要セス然レトモ満期日ハ必スシモ右ノ如ク確定セル日ヲ  
 以テ之ヲ定ムルコトヲ要セス或期間即チ手形振出ノ日附後或一定ノ日ヲ經過  
 シタル日ニ於テ手形金額カ支拂ハルヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得例ヘハ前例ニ  
 於テ一月十九日ヲ振出ノ日トシ其日ヨリ八箇月ノ後ニ支拂ハルヘキモノナル  
 コトヲ記載スル如シ此場合ニ於テ更ニ決セサルヘカラサルモノハ何レノ日ヲ  
 リ起算シ何レノ日ヲ以テ満期日ト爲スヘキヤノ點ナリ商法ニハ別ニ之ヲ規定  
 セサルヲ以テ其第一條ニ依リ民法ノ規定ニ從ハサルヘカラス(民法第一四〇條  
 乃至第一四三條而シテ此點ニ關スル民法ノ規定ハ民法ニ於テ諸君ノ既ニ了知  
 セラレル所ナリト信スルカ故ニ重複ノ説明ヲ爲サス唯一言注意ヲ要スルコト  
 ハ手形ノ満期日カ大祭日、日曜日其他ノ休日ニ當リ若シ其日ニ取引ヲ爲ササル  
 ノ慣習アルトキハ其翌日ヲ以テ満期日ト爲スヘキコト是ナリ(民法第一四二條)  
 爲替手形ノ満期日ハ一覽ノ日ト定ムルコトヲ得所謂一覽拂爲替手形ナルモノ  
 是ナリ此手形ハ讀ミテ字ノ如ク手形所持人カ手形ヲ呈示シタル日ハ即チ満期



日ナルモ若シ其日ハ全然手形債權者ノ意思ニ因リテ定マルヘキモノトセハ支拂人及ヒ償還義務者ハ實際上甚タ迷惑ヲ感スヘシ何トナレハ斯ル手形上ノ債務ヲ負擔スル者モ幾年ノ後何時手形ノ支拂請求ヲ受クヘキヤ得テ測ルヘカラサレハナリ詳言スレハ一覽拂爲替手形ノ満期日ハ手形債權者ノ隨意ニ定ムルコトヲ得ルモノトセハ何時支拂ヲ請求セラルルヤモ知ルヘカラスシテ不安心ナルノミナラス時効ノ期間モ極メテ不確定ト爲ル結果ヲ生スルノ嫌アルヲ免レス故ニ一覽拂ノ手形ト雖モ支拂ノ請求ヲ爲スヘキ時ニ於テハ制限ヲ附セザルヘカラス即チ振出人ノ意思又ハ法律ノ規定ニ依リテ定マリタル期間内ニ呈示スルコトヲ要スルモノトセリ(第四八二條第一項)此規定ニ依レハ一覽拂爲替手形ノ債權者カ完全ニ其權利ヲ行使セントスルニハ手形ニ何等ノ記載ナキトキト雖モ振出ノ日ヨリ一年内ニ手形支拂人ニ呈示ヲ爲スコトヲ要ス且ツ若シ振出人ニ於テ一年ヨリ短キ呈示期間ヲ定メタルトキハ此期間ヲ遵守セザルヘカラス手形所持人カ右呈示期間内ニ呈示ヲ爲サザルトキハ如何ナル結果ヲ生スヘキカ曰ク所持人ハ支拂人ニ對シテハ縱令其特定ノ呈示期間又ハ一年ノ期間ヲ經過

シタル後ト雖モ支拂ノ請求ヲ爲スコトヲ得ヘシト雖モ支拂ナキ場合ニ於テ所持人ハ拒絕證書ニ依リ呈示期間内ニ呈示ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非テレハ償還義務者ニ對シテ償還請求ヲ爲スコトヲ得サルモノトス(第四八二條第二項)此點ニ付テハ尙ホ後ニ述フル所アルヘシ

此ノ如ク満期日ナルモノハ手形金額ノ支拂ハルヘキ期日ナルカ故ニ手形上ノ債權者ハ其當日ノ午前零時ヨリ午後十二時ニ至ルマテ何時ニテモ支拂ヲ求めルニ差支ナカルヘキモ若シ商慣習上取引時間ニ制限アルトキハ其時間内ニ於テ支拂ヲ求めルコトヲ要ス(第二八三條)

満期日トハ手形上ノ債權者カ手形上ノ金額ヲ請求シ得ル日ニシテ支拂ヲ求めタルヘカラサル日ニ非ス故ニ満期日ハ一般債權ニ於ケル辨濟期日ト其意義同ナリ然レトモ當事者ノ爲メニハ頗ル重要ナル關係ヲ有スル日ナルコトヲ注意セザルヘカラス其次第ハ左ノ如シ

- (イ) 手形債權ノ時効ハ満期日ヨリ起算ス(第四四三條)
- (ロ) 償還請求ニ付キ満期日ハ手形金額ニ對スル利息ヲ生スル日ノ起算點ト

商法手形 爲替手形 支拂

爲ル(第四九一條)

(ハ) 満期日ハ支拂拒絶證書作成ノ日限ヲ定ムル起算點ト爲ル(第四八七條)

(乙) 支拂ノ場所 指圖債權ノ債務者ハ一般債務者ノ如ク其債權者ノ何人ナルカラ豫知シ得サルヲ常トス一般ノ場合ニ於テハ人ニ對シテ債務ヲ有スル者ハ何人カ自己ノ債權者ナルヤヲ知ラサルコトナシト雖モ爲替手形ノ債務者ハ何人カ其債權者ト爲ルヤハ之ヲ豫知シ得サルヲ通例トス換言スレハ爲替手形ノ振出人ハ其受取人ノ何人ナルカハ之ヲ知ルト雖モ其後ニ於テ其手形カ何人ノ手ニ歸スルヤヲ知ルコト能ハス支拂引受人モ亦豫メ其債權者ヲ確知スルコトヲ得ス其之ヲ知ルハ其辨濟ノ請求ヲ受ケタルノ時ナリトス故ニ手形支拂ノ場所ヲ定ムルニ付テハ商行為ニ關スル一般ノ規定ヲ適用スルコトヲ得ス(第二七八條第一項參照指圖債權ノ辨濟ハ債務者ノ營業所又ハ住所ニ於テ之ヲ爲スヘキモノトセリ)同條第二項手形債權者カ辨濟ヲ受ケント欲セバ支拂人ノ許ニ至リテ其請求ヲ爲ササルヘカラス即チ手形上ニ特ニ支拂地ノ記載アレハ其地ノ營業所若シ營業所ナキトキハ其地ノ住所ニ於テ支拂ヲ請求スルコトヲ要ス若

シ手形ノ支拂地カ支拂人ノ住所地ニ非サル場合ニ於テ手形ノ支拂擔當人ノ記載アルトキハ其擔當人ニ對シテ支拂ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス若シ手形ニ支拂地ノ記載ナク支拂人ノ住所ノ記載アルトキハ住所地ニ於テ支拂ヲ求ムヘシ而シテ何レノ場合ニ於テモ支拂ノ場所ノ記載アルトキハ其場所ニテ支拂ヲ求メサルヘカラス(第四五二條乃至第四五四條第二七八條第二項參照)而シテ此規定ニ依ラサリシ場合ニ於ケル制裁如何ハ債還義務ヲ説明スルニ當リテ理解スルコトヲ得ヘシ

(丙) 支拂ノ目的 手形ハ金錢ノ支拂ヲ約スルモノニシテ金錢ニ非サルモノハ其目的ト爲スコトヲ得サルコトハ既ニ述ヘタル所ナリ而シテ金錢ハ手形ノ目的ナリトスルモ尙ホ其種類如何ノ問題ヲ決セサルヘカラス蓋シ手形ノ金額ハ貨幣ヲ以テスルヲ通例ナリトスルモ外國ノ貨幣ヲ以テ其金額トシ記載スルヲ妨ケサルカ故ニ手形支拂ノ目的ハ金錢ナルコトヲ知ルト同時ニ如何ニ之ヲ支拂フヘキカラ論セサルヘカラス

(イ) 手形ニ記載セル金錢ニ其種類ノ定ナキ場合 此場合ニ於テハ民法ノ規

定ニ依リ我邦ノ通貨中債務者ノ選擇ニ從ヒテ支拂ヲ以テ足レリトス〔第一條民法第四〇二條第一項〕

(ロ) 金銭ノ種類ヲ限定シタル場合 例ヘハ金貨何圓ト云フカ如シ此場合ニ於テハ手形ノ満期日ニ金貨ヲ以テ支拂ヲ爲スヘキコト勿論ナルモ若シ金貨カ通用力ヲ失ヒタルトキハ他ノ通貨ヲ以テ支拂フヘキモノトス〔民法第

四〇二條第一項但書第二項〕

(ハ) 外國ノ通貨ヲ手形金額トシテ記載セル場合 此場合ニ於テハ支拂人ハ

其手形ニ記載セル外國通貨ヲ以テ支拂ヲ爲スコトヲ得ルハ勿論支拂地ニ於ケル爲替相場ニ依リ我邦ノ通貨ヲ以テ支拂フモ亦妨ケナキモノトス〔民

法第四〇二條第三項第四〇三條〕

第二 爲替手形金額支拂ノ請求ヲ爲ス權利ヲ有スル者及ヒ其請求ノ方法如何〔何人カ爲替手形ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得ルヤノ問題ニ對シ概括シテ之ヲ言ヘハ手形所持人ナリト謂フコトヲ得ヘシ然レトモ事實手形ヲ所持スル者ハ必スシモ其支拂ヲ請求シ得ルモノニ非ス換言スレハ手形ノ所持人ト雖モ或場合

ニハ手形法則上其債權ヲ實行シ得サルコトアリ是レ裏書ノ節ニ於テ既ニ説明シタル所ナリ故ニ手形所持人ノ何人ナルカヲ知ルト同時ニ如何ナル人カ支拂ノ請求權ヲ有スルカヲ了解スルコトヲ必要トス今左ニ手形金額ノ支拂ヲ請求シ得ヘキ者ヲ列舉セシ

甲 手形ノ受取人自己受取ノ手形ヲ振出シタル場合ハ振出人

乙 第一ノ裏書ニ因リテ手形金額ノ支拂ヲ受クル權利ヲ有スル者

丙 第一以後ノ裏書ニ因リテ手形金額支拂ヲ受クル權利ヲ有スル者

丁 略式裏書ニ因ル手形ノ所持人又ハ無記名式手形ノ所持人

是ナリ復タ別ニ説明スルノ必要ヲ見ス

右ノ外手形ヲ所持スル者ニシテ手形債權ヲ行フコトヲ得ル者アリ是レ諸君ノ既ニ知ラルル如ク手形ノ買取主讓受人又ハ手形債權者ノ代理人是ナリ然レトモ結局手形債權者ノ權利ヲ行フニ過キサルヲ以テ茲ニハ主トシテ手形所持人カ自ラ請求ヲ爲ス場合ニ付テ説明セントス

手形債權者カ手形ノ支拂ヲ請求スルニハ如何ニ其權利ヲ證明スルコトヲ要ス

ルヤノ點ハ既ニ總論ニ於テ説明シタル所ナリ之ヲ約言スレハ手形債權ノ證明ハ必ス其手形ニ據ルコトヲ要スト云フニ過キス但シ裏書人カ手形債權者ト爲ル場合ニ付テ一言スルノ必要ヲ認ム此場合ニ於テハ單ニ裏書アルノミヲ以テハ未タ債權ヲ行使スルニ足レリトモ其手形ニ於ケル裏書カ連續スルコトヲ要ス第四六四條所謂裏書ノ連續トハ反言スレハ裏書ニ斷絶ノ瑕瑾ナキ場合ナリ此事ハ既ニ説明シタル所ナレトモ更ニ簡單ニ例示スレハ左ノ如シ

(4) 裏書其モノニ欠缺アルトキ 例ヘハ略式被裏書人カ正式ノ裏書ヲ爲スニ當リテ自己ヲ被裏書人ト爲サザリシ場合ノ如シ

(ロ) 裏書中連續ニ必要ナル點ニ於テ裏書ノ一又ハ數箇ニ取消シアリテ其取消ニ付テハ正當ナル證明アル場合

是ナリ裏書ノ形式ニ欠缺ナキ場合ハ其裏書ハ正當ナルモノナリト推定セサルヘカラス故ニ手形ヲ讓受ケントスル者ハ前裏書ニ於テ形式上欠缺ナキトキハ安シテ之ヲ受取ルコトヲ得其前者ハ果シテ正當ニ被裏書人ト爲リシヤ否ヤヲ調査スルニ及ハス蓋シ手形其他指圖債權ニ通スル必要ノ規定ナリトス抑モ

手形ハ裏書ニ依リ容易ニ移轉シ得ルニ非サレハ其效用ヲ全クスルコトヲ得ルヲ以テ若シ其授受ノ際前裏書ノ真偽ヲ一ニ調査セサルヘカラサルモノトセバ到底敏活ニ流通スルコト能ハサルノ結果ヲ生スルニ至ルヘケレハナリ但シ手形支拂人又ハ償還義務者ニ於テ偽造又ハ變造ニ係ルモノナルコトヲ發見セバ其關係者ニ對シテハ偽造又ハ變造ニ付テノ抗辯ヲ爲スコトヲ得ルヤ言フ埃タス

右ハ手形ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得ル人ニ付テノ説明ナリ尙ホ茲ニ第四百六十四條ノ規定ニ付キ注意ヲ要スルモノアリ同條ニ依レハ被裏書人ハ裏書カ連續スルコトヲ證明スルニ非サレハ其權利ヲ行フコトヲ得ス或ハ曰ハン手形裏書カ連續セサルトキハ手形請求ヲ爲スコトヲ得サルコト勿論ナルヘキモ連續ヲ失シタル後ニ於テハ裏書連續者ノ間ニ於テハ償還請求ヲ爲スコトヲ妨ケザルニ非サト此點ニ關スル説明ハ償還請求權ノ説明ニ於テスヘシ

手形所持人カ完全ナル支拂ヲ受ケタルトキハ手形上ニ受取證ヲ記載シ且ツ其手形ヲ支拂人ニ交付スルコトヲ要ス支拂人カ手形金額ノ一部ノミノ支拂ヲ爲

トントスルトキト雖モ所持人ハ其支拂ヲ受クルコトヲ拒ムコトヲ得ス然レトモ全部ノ支拂アリタル場合ノ如ク手形ヲ還付スヘカラサルコト勿論ナルヲ以テ手形ノ原本ヲ作り之ニ支拂ヲ受ケタル金額ヲ記載シ之ヲ受取りタルコトヲ證スル書面ヲ交付スルヲ以テ足ル(第四八三條第四八四條)

第三 爲替手形ノ金額ノ支拂ヲ爲スヘキ者及ヒ其者ノ有スル權利如何此問題ハ左ノ如ク分説スヘシ

第一 支拂人ハ何人ニ對シテ支拂フコトヲ要スルカ

第二 支拂人カ支拂ヲ爲スニ當リテ有スル權利如何

第一手形支拂人ハ何人ニ對シテ手形金額ノ支拂ヲ爲スコトヲ要スルカ 手形支拂人ハ手形ヲ呈出スル者即チ手形所持人カ其手形ノ形式上正當ノ所持人タルコトヲ認メタル場合ニ於テ滿期日後ニ支拂地ニ於テ手形ノ呈示ヲ受ケタルトキハ之ニ對シテ支拂ヲ爲スヘキモノニシテ之ニ因リテ手形債務ヲ免ルルモノトス而シテ真正ノ呈示人ナリト認ムルニハ左ノ條件ニ適合スルヲ以テ足ル

(4) 呈示人ハ手形ノ形式上適法ノ手形所持人タルコト例ヘハ連續シタル裏書

ニ因ル被裏書人タルコト

(ロ) 呈示人ハ手形債權者ナリト信スルニ足ルヘキ者タルコト故ニ支拂人カ重過失ナクシテ手形債權者ナリト信シタル手形ノ呈示人ニ對シ支拂ヲ爲ストキハ有效ノ支拂ヲ爲シタリトスルコトヲ得第一條民法第四七〇條手形ハ迅速且ツ簡易ニ流通シ得ルニ非サレハ其效用ヲ十分ナラシムルコトヲ得ス而シテ手形カ斯ル性質ノモノタルコトハ手形ヲ授受スル者ノ知ラサルヘカラサル所ナリ若シ支拂人カ一債權者ノ眞否ヲ調査シ其真正ノ債權者ニ非サレハ支拂ヲ爲スコト能ハストセンニハ手形ノ流通ノ本旨ニ反シ十分其效用ヲ致サシムルコトヲ得ス苟モ手形ノ圓滑ニ流通センコトヲ望マハ前述ノ如ク手形上債權者ナリト信スル者ニ對シテ直チニ支拂フコトヲ得セシメタルヘカラス民法第四百七十條ニ依レハ手形債權者ハ手形所持人カ果シテ債權者ナリヤ否ヤ其署名捺印カ真正ノモノナリヤ否ヤヲ調査スルヲ要セス是レ手形ノ流通證書タル性質ヨリ生スル結果ニ過キス然レドモ之カ爲メニ債務者ノ懈怠ヲ許スヘキニ非サルカ故ニ支拂人ニ

於テ呈示者ニ對シテ一應ノ調査ヲモ爲スコトナクテ其真正ノ債權者ニ非  
 タル者ニ支拂ヲ爲シタルトキハ如キハ重過失アルモノトシテ更ニ真正ノ  
 債權者ニ對シテ支拂ヲ爲ササルヘカラサルモノトス例ヘハ支拂人カ手形  
 所持人ノ手蹟若クハ印影ヲ熟知セルニ拘ラス呈示セラレタル手形ノ署  
 名又ハ印影カ其手蹟印影ニ異ナルコトヲ知リナカラ支拂ヲ爲シタル場合  
 ノ如キ又ハ權權ヲ繼ヒテ店頭ニ立テ巨額ノ手形金額ヲ請求セル者ニ對シ  
 テ漫ニ支拂ヲ爲シタル場合ノ如キ是ナリ此ノ如ク形式ノ具備セル手形ノ  
 呈示人ハ手形債權者トシテ一應ノ推定ヲ受タルモ若シ支拂人ニ於テ疑ア  
 ルトキハ其眞偽ヲ調査スルコトヲ得ルコト勿論ナリ何トナレハ右ノ規定  
 ハ形式的債權者ナリトノ推定ヲ爲シタルモノニ過キサレハナリ之ヲ要ス  
 ルニ手形債權者ハ惡意又ハ重大ナル過失ナクシテ形式上手形債權者ナリ  
 ト信認シタル者ニ對シテ支拂ヲ爲スニ因リテ其義務ヲ免ルルモノトス

第二支拂人カ支拂ヲ爲シタルトキハ如何ナル權利ヲ有スルカ 此問題ニ對シ  
 テハ左ノ如ク答フルヲ以テ記レリトス

(ロ)(イ) 手形ヲ返還セシムルコト  
 所持人ヲシテ手形ニ手形金額ノ支拂ヲ受ケタル旨ヲ記載セシメ之ニ署  
 名セシムルコト

支拂人カ支拂ヲ爲サントスルニ當リテ右ノ請求ヲ爲シタル場合ニ手形ノ所持  
 人カ其一ヲ拒ムコトアラシカ支拂人ハ支拂ヲ爲スコトヲ要セサルモノトス第  
 四八三條是レ手形上ノ權利ハ其手形タル書面ニ依リテノミ之ヲ行使スルコト  
 ヲ得ルモノナルカ故ニ手形ノ所持人ハ常ニ手形ノ債權者ナリト推定セラル隨  
 テ手形債權者ハ其手形ノ返還ヲ受タルカ又ハ之ヲ毀滅セシムルコトナキ間ハ  
 安心シテ義務ヲ履行スルコトヲ得ス何トナレハ若シ其手形ヲ毀滅スルコトナ  
 クシテ支拂ヲ爲シタル後其手形カ更ニ善意ノ第三者ノ手ニ移轉スルトキハ再  
 ヒ支拂ヲ爲ササルヘカラサルノ結果ヲ生スルコトアレハナリ尤モ此場合ニ於  
 テハ前ノ支拂受領者ニ對シテ不當利得ニ因ル賠償ヲ請求スルコトヲ得ヘシト  
 雖モ其證明ハ極メテ困難ナルノミナラス其者カ無資力ナル爲メ結局支拂人ノ  
 損失ニ歸スルコト稀ナリトセス又手形金額ノ支拂人カ手形ノ還付ヲ受タルモ



若シ之ニ手形金額ヲ受取リタル旨ヲ記載セシメタルトキハ縱令手形ノ返還ヲ受クルモ若シ其手形ヲ毀滅スル前ニ紛失スルカ又ハ盜難ニ罹ルコトアラザンカ其手形ハ再ヒ善意ノ第三者ノ手ニ移轉シ再度支拂ヲ爲ササルヲ得サルノ危険ニ遭遇スルコトナシトセサルモ一旦支拂ヒタル手形ニ其支拂ヲ受ケタル旨ノ記載アリ且ツ之ニ受領者ノ署名アルトキハ決シテ右ノ如キ損失ヲ被ル如キコトナカルヘシ是レ前記ノ請求ヲ爲スコトヲ得セシメタル所以ナリ

支拂人ハ必スシモ全部ノ支拂ヲ爲スコトヲ要セス一部ノ支拂ヲモ爲スコトヲ得換言スレハ手形ノ所持人ハ手形金額ノ一部支拂ヲ拒ムノ權利ナシ是レ既ニ述ヘタル所ナリ所持人カ若シ其一部ノ支拂ヲ拒ムトキハ手形上ノ權利ヲ喪失スル結果ヲ生スルモノトス而シテ其一部支拂ヲ爲シタル場合ニ於ケル手形支拂人ノ權利ハ勿論全部支拂ノ場合ト異ニシテ手形ヲ還付セシメ手形上ニ手形金額ヲ受取リタル旨ヲ記載セシムルコトヲ得サルモ支拂人ハ左ノ如キ權利ヲ有ス

(1) 手形ニ手形金額ノ一部ノ支拂アリタル旨ヲ記載セシムルコト

(ロ) 手形ノ原本ヲ作り之ヲ交付セシムルコト

(ハ) 其手形ノ原本ニ署名セシムルコト

是ナリ手形ノ所持人カ右ノ請求ニ應セサル間ハ支拂人ハ支拂ノ爲スノ義務ナキモノトス(第四八四條)

以上ハ手形金額支拂ノ請求ヲ受ケタル場合ナリ或場合ニハ手形ノ引受人カ其手形ノ満期日ヲ經過スルモ支拂ノ請求ヲ受ケサル場合アリ既ニ述ヘタル如ク支拂ノ請求ヲ受ケタル債務者ハ支拂ヲ爲スコトヲ要セサルナリ蓋シ手形支拂人ハ手形所持人ヨリ支拂ノ請求ヲ受クルニ非サレハ理論上何人ニ支拂フヘキカ之ヲ知ルコト能ハス然レトモ手形債務者ハ手形支拂ノ請求ヲ受ケタルノ故ヲ以テ必スシモ全然其債務ヲ免ルルコト能ハスシテ永久不確定ノ地位ニ在ルモノト謂フヘカラス第四百八十五條ノ規定ハ斯ル場合ニ應スルカ爲メニ設ケラレタルモノナリ曰ク爲替手形ノ支拂ノ請求ナキトキハ引受人ハ支拂拒絶證書作成ノ期間經過ノ後手形金額ヲ供託シテ其債務ヲ免ルルコトヲ得ト而シテ其供託ノ場所及ヒ手續等ニ付テハ民法第四百九十五條供託法第一條等ノ規定

ニ從フヘキモノナリ但シ民法第四百九十五條第三項ノ規定ハ手形金額供託ノ場合ニハ其適用ナキモノトス何トナレハ手形債權者ハ手形ノ性質上其何人ナルカ明カナラサレハナリ  
手形ノ引受人カ民法ノ規定ニ依リテ右ノ如キ供託ヲ爲シタル場合ニ於テハ左ノ效果ヲ生スルモノトス

一 手形ノ引受人ハ之ニ因リテ辨濟ヲ爲シタルモノト看做ナル故ニ再ヒ手形上ノ請求ヲ受クルコトナシ

二 供託シタル金額ハ供託ノ時ヨリ手形債權者ノ危険ニ於テ保管セラルルモノトス

右ノ如ク供託ハ手形引受人ヲシテ其債務ヲ免レシムルノ效力アリト雖モ其保管證券ハ引受人カ之ヲ保管スルモノナリ故ニ手形債權者カ支拂ノ請求ヲ爲スマテハ之ヲ所持シ若シ手形債權者カ手形金額ノ請求ヲ爲ス場合ニハ之ヲ交付スルコトヲ得ヘシ又手形債務者ハ其保管證券ヲ交付セスシテ自ラ供託金ヲ引出シ現金ニテ支拂ヲ爲シ得ルコトハ言フテ埃タサルナリ

供託者カ一旦供託シタル金額ヲ取戻ストキハ供託ノ效力ハ當然消滅スルコト是レ亦言フテ埃タサル所ナリ

### 第六節 償還ノ請求

前節ニ於テ説明シタル如ク爲替手形ノ所持人カ支拂ノ請求ヲ爲シ支拂人カ満足ニ支拂ヲ爲シタルトキハ手形上ノ法律關係ハ全ク消滅スルヲ以テ復タ何等ノ説明ヲ要セザルナリ之ニ反シ支拂人カ手形ニ記載セラレタル如ク支拂ヲ爲サナルトキト雖モ所持人ハ必スシモ其權利ヲ害セラルルモノニ非スシテ其前者ニ對シテ賠償ヲ求ムルコトヲ得ルモノトス(第四八六條是レ所謂償還請求ノ場合ニシテ主トシテ本節ニ於テ説明セントスル所ナリ而シテ所持人カ前者ニ對シテ此權利ヲ有スルハ蓋シ振出人又ハ裏書人ハ所持人ノ爲メニ手形カ満期日ニ必ス支拂ハルヘキコトヲ擔保シタルモノナレハナリ但シ前ニ説明シタル如ク裏書ノ際爾後裏書ヲ禁スル旨ヲ記載シタルトキハ其裏書人ハ被裏書人ノ後者ニ對シテハ償還ノ義務ヲ有セス第四六〇條參照)所持人カ振出人其他



ノ前者ニ對シテ償還ヲ求ムルコトヲ得ル權利ハ即チ所謂償還請求權ナリ償還  
 請求權ヲ論スルニ左ノ三點ヲ説明セサルヘカラス  
 第一 所持人ハ如何ナル條件ヲ以テ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得ルヤ即チ償  
 還請求ヲ爲スノ要件如何  
 第二 償還請求ノ目的及ヒ償還請求ノ方法如何  
 第三 償還義務ヲ履行セタル者ハ如何ナル權利ヲ取得ヘルヤ  
 即チ是ナリ  
 第一 償還請求ノ要件  
 償還請求ヲ爲スニハ左ノ條件ヲ必要トス  
 (1) 満期日又ハ其後二日內ニ支拂請求ノ爲メ手形ノ呈示ヲ爲シタルコト  
 (ロ) 手形金額ノ支拂ナカリシコト  
 (ハ) 満期日又ハ其後二日內ニ支拂拒絶證書ヲ作成セシムルコト  
 (ニ) 償還ヲ爲サシメジトスル者ニ對シテ拒絶證書作成ノ翌日マテニ償還請  
 求ノ通知ヲ發スルコト

右四箇ノ條件ハ償還請求ヲ爲スニ缺クヘカラサルモノナリ若シ其一ヲ缺ケハ  
 償還請求ノ權利ヲ喪失ス尙ホ各條件ニ付キ順次説明セン  
 第一條件 満期日又ハ其後二日內ニ支拂請求ノ爲メ手形ノ呈示ヲ爲シタルコ  
 ト 此條件ニ付テハ先ツ其呈示ハ何人ニ對シテ爲スヘキカヲ決セサルヘカラ  
 ス此問題ニ對シテハ第四百八十七條ノ規定スル所ナリ即チ其呈示ヲ受クヘキ  
 人ハ支拂人ナリ爲替手形ノ支拂人トハ既ニ説明シタル如ク手形ノ宛名人即チ  
 手形上支拂ノ委託ヲ受ケタル者はナリ然レトモ所謂支拂人ハ手形ノ義務ヲ負  
 フ場合ト然ラサル場合トアリ支拂人ハ手形面ニ支拂人トシテ記載セラレタル  
 ノミヲ以テ直チニ支拂ノ義務ヲ負フモノニ非スシテ引受ヲ爲シタル時始メテ  
 支拂ノ義務ヲ生スルモノナルコトハ是レ亦既ニ説明セタル所ナリ然ラハ即チ  
 手形所持人カ手形ヲ呈示シテ支拂ノ請求ヲ爲スコトヲ得ル場合ハ支拂人カ引  
 受ヲ爲シタル場合ニ限ルヤ否ヤ第四百八十七條ノ規定ハ此點ニ付キ別ニ區別  
 ヲ爲ササルカ故ニ支拂人カ引受ヲ爲セタル場合ト否トニ拘ラス其者ニ向ヒテ  
 手形ヲ呈示スルコトヲ要ス蓋シ支拂人ナル者ハ手形ノ引受ヲ爲セタル場合ニ

限リテ支拂ノ義務ヲ負フト雖モ引受ヲ爲シタレハトテ未タ必スシモ完全ニ支拂ヲ爲ストハ斷言スヘカラス即チ或ハ支拂ノ資力ナキニ因リテ支拂ヲ爲サザルコトアリ又或ハ支拂ヲ欲セサルニ因リテ支拂ヲ爲サザルコトアラン之ニ反シ豫メ支拂ノ引受ヲ爲サザリシ者ト雖モ満期日ニ至リテ支拂ヲ爲スコトナキヲ保セス例ヘハ支拂人カ引受ヲ求メラレタル當時ハ未タ手形資金ヲ受取ラザリシヲ以テ其引受ヲ拒絕シタリシニ支拂ヲ爲スヘキ時即チ満期日ニハ既ニ資金ヲ受取リタル後タリシ場合ノ如キハ通常支拂ヲ拒ムコトナカルヘシ故ニ就レノ場合ニ於テモ満期日ニ手形ヲ呈示スルニ非サレハ支拂人ハ果シテ支拂ハ爲スヤ否ヤヲ知ルヘカラザルナリ

手形ヲ呈示スヘキ場所ハ支拂地ナリ但シ或場合ニハ支拂人ニ支拂ヲ求メスシテ支拂人以外ノ者ニ呈示セザルヘカラザル場合アリ即チ手形ニ支拂擔當者ノ記載アル場合はナリ第四五三條此場合ニ於テハ手形ハ之ヲ其支拂擔當者ニ呈示スルコトヲ要ス何トナレハ手形支拂人ハ所持人カ先ツ支拂擔當者ニ對シテ支拂ヲ請求シ其支拂ナキ場合ニ於テ始メテ支拂ヲ爲スヘキ意思ヲ表示シタル

モノト看サルヘカラザレハナリ是レ第四百九十條ノ規定スル所ナリ此場合ニハ手形所持人ハ支拂擔當者ニ對シテ支拂ノ請求ヲ爲シテ拒絕セラレタルトキハ直チニ償還請求ノ權ヲ行フコトヲ得換言スレハ支拂擔當者カ支拂ヲ爲サザトキハ更ニ支拂人ニ請求スルコトヲ要セスシテ償還請求ヲ爲スコトヲ得ルモノナリ

斯ク手形ニ支拂擔當者ノ記載アルニ拘ラス其支拂擔當者ニ支拂ヲ請求セザルトキハ所持人ハ償還義務者ニ對シテ償還請求ヲ爲スノ權利ヲ失フノミナラス引受人ニ對シテモ亦手形上ノ權利ヲ失フモノトス(第四九〇條第三項)

第二條件 手形金額ノ支拂ナカリシコト 手形ノ呈示人カ完全ニ支拂ヲ受ケタルトキハ最早償還請求ノ權利ナキコト固ヨリ言フヲ埃タス而シテ全ク支拂ヲ爲サザルカ又ハ單ニ手形金額ノ一部ノミノ支拂アリシニ過キザル場合ニ於テハ其支拂ヲ受ケザル限度ニ於テ償還請求ヲ爲スコトヲ得ヘシ

第三條件 支拂拒絕證書ヲ作成セシムルコト 支拂拒絕證書ノ性質及ヒ其作成ノ形式ニ付テハ後節ニ於テ之ヲ詳説スヘシト雖モ今其何物タルカヲ概言セ

ハ公證人又ハ執達吏カ爲替手形所持人ノ請求ニ因リ一定ノ方式ニ從ヒテ作成  
 スル證書ニシテ手形上ノ權利ノ發生又ハ手續ノ遂行ヲ證明スル爲メニ必要ナ  
 ルモノナリ而シテ手形所持人ハ此支拂拒絶證書ヲ作成セシムルニ非サレハ償還  
 請求權ヲ行フコトヲ得ス蓋シ法律カ斯ル制裁ヲ附シ手形所持人ヲシテ支拂拒  
 絶證書ヲ作成セシムル所以ノモノハ之ニ依リテ償還義務者ヲシテ正確ニ其償  
 還義務ヲ履行スヘキ條件ノ到來シタルコトヲ知ラシメンカ爲メナリ詳言スレ  
 ハ手形カ法律ノ規定ニ依リテ呈示セラレタルコト及ヒ手形金額カ支拂ハレナ  
 リシコトヲ確知セシメンカ爲メニ之カ作成ヲ命シタルモノナリ即チ手形ノ償  
 還義務者カ之ニ依リテ手形ノ所持人ハ果シテ償還請求ノ權利ヲ行フヘキ場合  
 ニ在リヤ否ヤヲ調査スルコトヲ得ルモノナリ

支拂拒絶證書ヲ作成スルニハ之ニ要スル方式ノ外向ホ左ノ事項ヲ具備スルコ  
 トヲ要ス

(一) 満期日ノ到來シタルコト 満期日ハ手形支拂ノ有無ヲ確定スヘキ唯一ノ  
 期日ニシテ其以前ニ於テハ之ヲ知ルニ由ナキナリ

(二) 手形ノ呈示アリタルコト

(三) 其證書ハ満期日又ハ其後二日内ニ之ヲ作ルコト

支拂拒絶證書作成ノ目的ハ畢竟償還請求權ヲ擔保センカ爲メナリ故ニ若シ償  
 還義務者カ支拂拒絶證書作成ノ義務ヲ免除セタルトキハ所持人ハ之ヲ作成セ  
 りメサルモ償還請求權ヲ失フコトナシ(第四八九條此ノ如ク手形振出人又ハ裏  
 書人ハ支拂拒絶證書作成ノ義務ヲ免除スルコトヲ得ルモ其免除ノ效力ハ免除  
 ノ性質上必然ノ結果トシテ免除ヲ爲シタル者及ヒ免除セラレタル者ノ間ニ於  
 テノミ其效力ヲ有スルニ過キスシテ他ノ手形關係者ニ對シテハ其效力ナシ例  
 ハ甲ノ振出シタル手形ニシテ乙丙丁ヲ經テ戊ニ至リシニ戊ハ手形所持人ト  
 シテ支拂ヲ受ケサリシトキハ甲乙丙丁ノ何レニ對シテモ償還ノ請求ヲ爲シ得  
 ルコトハ既ニ述ヘタル所ナリ此場合ニ於テ若シ甲ナル振出人カ戊ニ對シテ支  
 拂拒絶證書作成ノ義務ヲ免除シタリトセンカ戊ハ甲ニ對シテハ支拂拒絶證書  
 ヲ作成スルコトナクシテ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得ヘシト雖モ乙丙丁ニ對シ  
 テ償還ノ請求ヲ爲サントスルニハ必ス支拂拒絶證書ヲ作成セシメサルハカラ



支拂拒絶證書作成ノ費用ハ償還義務者ニ對シテ之ヲ請求スルコトヲ得而シテ此費用負擔ノ義務ハ縱令支拂拒絶證書ノ作成ヲ免除シタル者ト雖モ仍ホ之ヲ免ルルコト能ハサルモノトス(第四八九條第二項)

第四條件 償還ヲ爲サシメントスル者ニ對シテ支拂拒絶證書作成ノ翌日マテニ償還請求ノ通知ヲ發シタルコト 第四百八十七條ニ依レハ所持人カ償還請求ノ權利ヲ失ハサラント欲セハ前ニ說明シタル要件ノ外尙ホ其償還ヲ爲サシメントスル者ニ對シテ償還スヘキ旨ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス此通知ノ發送ハ必スシモ償還請求者ニ到達スルコトヲ要セス唯其發送シタルコトヲ證明スルヲ以テ足レリトス而シテ此通知ハ遅クトモ支拂拒絶證書作成ノ翌日マテニ之ヲ發スルコトヲ要ス又此通知ハ必スシモ直近ノ前者ニ對シテ發スルコトヲ要セス償還義務者中ノ一人ニ對シテ之ヲ發シタルトキハ其通知ヲ受ケタル償還義務者ノ後者全員ニ對シテ效力ヲ生スルモノトス(第四九六條)

以上ハ償還請求ヲ爲スニ付テノ要件ナリ若シ右ノ要件ノ一ヲ缺クトキハ所持

人ハ手形上ノ權利ヲ喪失ス此場合ニ於テハ其所持人ハ既ニ總論ニ於テ述ベシ如ク手形ヨリ生レタル不當利得ノ取戻權ヲ有スルノミ(第四四四條)

償還請求ノ要件ノ說明ヲ了ルニ臨ミ尙ホ一言スヘキモノアリ

償還ノ請求ハ既ニ說明シタル如ク支拂人カ支拂ヲ爲ササルニ因リテ起ルモノナリ隨テ手形金額カ満期日ニ支拂ハレサルヲ要スルコト固ヨリ言フヲ埃タサルナリ而シテ普通ノ場合ニ於テハ爲替手形ノ満期日ハ手形ニ記載セラレタル儘ニテ變更セララルルコトナシト雖モ實際上所持人カ満期日ニ於ケル支拂猶豫ヲ諾約スルコトアリ此事ニ付テハ少シク說明スルコトヲ要ス例ヘハ明治三十三年八月一日ニ振出シタル爲替手形ノ満期日カ十月一日ナルニ所持人カ十月十五日マテ支拂ノ延期ヲ承諾セル場合ノ如シ斯ル合意ハ果シテ如何ナル效力ヲ生スルカ先ツ第一ニ疑ナキハ右ノ承諾ヲ爲シタル所持人カ手形ノ満期日ニ支拂ヲ請求セハ支拂人ハ延期ニ因ル抗辯ヲ爲シ得ルコト是ナリ是レ蓋シ當事者間ノ直接ノ契約ニ因ルモノナルカ故ニ敢テ手形ノ性質ニ悖ルコトナケレハナリ然レトモ凡ソ手形カ満期日ニ支拂ハレサルトキハ所持人ハ償還請求ヲ爲



商法手形 爲替手形 償還ノ請求

シ得ルコト前述ノ如クナルヲ以テ此場合ニ於テモ所持人ハ仍ホ手形カ満期日ニ支拂ハレサルヲ理由トシテ支拂拒絶證書ヲ作り前者ニ對シテ償還請求ヲ爲スコトヲ得ルヤ此事ニ關シテハ手形ノ法條中規定スル所ナシ蓋シ満期日ニ支拂ヲ受ケスシテ後日ニ延期スルコトノ所持人ノ承諾ハ單ニ所持人ト支拂人トノ間ニ於テ其效力ヲ有スルニ止マリ之カ爲メニ各前者ハ何等ノ利害ヲ受クヘキモノニ非ス即チ支拂ノ期日カ延期セラレタルヲ理由トシテ償還請求ヲ受クルノ時期未タ到來セストノ抗辯ヲ爲スコトヲ得サルナリ故ニ此場合ニ於テハ所持人ハ延期ヲ承諾シタルニ拘ラス満期日ニ支拂ヲ求メテ其支拂ハレサル爲ニハ直チニ支拂拒絶證書ヲ作成シ且ツ償還請求ノ通知ヲ發シテ償還請求ヲ爲スコトヲ得其理由他ナシ所持人カ支拂人ニ對シテ支拂ノ延期ヲ爲シタルハ爲スコトヲ變更シタルニ非ス唯所持人カ支拂人ニ對シテ満期日ニ請求スルコトヲ猶豫シタルニ過キス手形ハ原ノ如ク依然トシテ存在スルモノナレハナリ是レ手形ノ要式行爲ナルヨリ生スル一結果ニ過キスシテ手形ハ所持人ノ行爲ニ因リテ初ノ状態ヲ變更セラルルモノニ非サルニ職山ス或ハ曰ハン所持

人カ満期日ノ支拂ヲ延期スルコトヲ承諾シタルハ畢竟其過失ナリ換言セハ所持人ハ延期ヲ爲スノ必要ナキニ拘ラス延期ヲ爲シタルモノナルカ故ニ其結果ニ付キ其責ニ任セサルヘカラス隨テ前者ニ對シテハ最早償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得スト是レ非ナリ何トナレハ振出人ハ勿論各裏書人ハ満期日ニ手形カ其支拂地ニ於テ相違ナク支拂ハルヘキコト及ヒ若シ支拂ハレサルトキハ其不拂ノ如何ナル理由ニ出ツルヲ問ハスシテ償還ノ義務ヲ負フコトヲ約シタルモノナリ故ニ縱令所持人カ支拂ヲ延期シタルカ爲メニ支拂人カ支拂ヲ拒ミタルト其他ノ事由ニ因リテ支拂ヲ拒ミタルトハ敢テ問フコトヲ要セザレハナリ尙ホ類例ヲ擧ケテ説明センニ曩ニ引受ヲ論スルニ當リテ説明シタル如ク支拂人カ條件ヲ附シテ引受ヲ爲スモ手形所持人ハ之ヲ承諾スルヲ要セス之ヲ承諾スルト否トハ全ク所持人ノ自由ナリ例ヘハ支拂人カ満期日後何日ニ支拂フヘシトノ引受ヲ爲シタル場合ノ如キ是ナリ斯ル條件附引受ハ所持人ニ於テ引受アリト認ムルコトヲ要セスト雖モ引受人ハ其引受ケタル限度ニ於テハ其義務ヲ負ハサルヘカラナルト同時ニ所持人ハ満期日ニ支拂ナカリシコトヲ理由トシテ其

商法手形 爲替手形 償還ノ請求



前者ニ對シテ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ケス是レ亦右ト同一理由ニ出ツルモノナリ之ヲ要スルニ支拂ノ延期ハ延期ヲ與ヘタル支拂人ニ對シテ其期間内ニ支拂ノ要求ヲ爲スコトヲ得サルモ其他ノ手形上ノ義務者ニ對シテハ支拂人ニ對スル延期ノ期間内ト雖モ仍ホ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二 償還請求ノ目的及ヒ其方法

償還請求ノ目的如何ヲ説明スルニ付キ法律カ償還請求ニ關スル規定ヲ設ケルニ方リテ如何ナル主義ヲ採リタルヤ及ヒ其理由ヲ説明スル必要アリト認ムルカ故ニ先ツ之ニ付テ述フル所アラントス  
抑モ爲替手形ノ所持人カ満期日ニ支拂地ニ於テ完全ナル支拂ヲ受ケサルトキハ其手形ハ所持人ノ爲メニ金銭ニ代用セラルヘキ效用ヲ完カラシムルコトヲ得サルコト明瞭ナリ故ニ所持人カ手形ノ支拂ヲ受ケサリシ場合ニ於テ之ヲシテ十分ノ満足ヲ得セシメントスルニハ恰モ満期日ニ支拂地ニ於テ相違ナク支拂ヲ受ケル如キ地位ニ在ラシムルコトヲ要ス然ラサレハ決シテ手形上ノ完全ナル目的ヲ達スルコト能ハス而シテ此目的ヲ達セントスルニハ所持人カ支拂

地ニ於テ受取ルヘキ金額並ニ其支拂ナカリシ爲メニ生シタル附隨ノ費用ヲ併セテ支拂ヲ受ケタルト同一ノ地位ニ在ラシメサルヘカラス而シテ償還義務者ナル者ハ此場合ニ於テ手形上ノ希望ヲ滿スヘキ者詳言スレハ所持人ニ對シテ手形上ノ辨濟ヲ爲スヘキ者ナリ然ルニ此償還義務者ハ必スシモ常ニ支拂地ニ住スルモノニ非シテ寧ロ償還義務者ノ住所ト支拂地トハ相異ナルヲ通例トス所持人カ償還請求ヲ爲スニ當リ若シ償還義務者ノ住所地カ支拂地ト異ナルニ拘ラス其住所ニ就テ支拂ヲ求メサルヘカラストセハ所持人カ償還請求ヲ爲スニ付キ不慮ノ時日ト費用トヲ費ササルヘカラスナルニ至ルヘシ是ヲ以テ所持人ヲシテ支拂地ニ於テ支拂ヲ受ケタルト同一ノ地位ニ在ラシメンニハ此等ノ費用モ亦辨濟ヲ受ケシムルコトヲ必要トス右ノ如キ觀念ヲ實際ニ行ハシムル爲メニハ所持人ヲシテ償還義務者ニ對シテ自ら手形ヲ振出シテ償還請求額ヲ得セシメサルヘカラス又縱令手形ヲ振出シテ償還請求ヲ爲スコトヲ爲ササル場合ニ於テモ假ニ手形ヲ振出シテ償還請求ヲ爲シ依リテ以テ十分ニ賠償ヲ得タルト同一ノ利益ヲ得セシムルコトヲ必要トス此觀念ヲ實行セシメンカ爲メ

第四百九十一條第二項ニ前項ノ金額ハ償還ノ請求ヲ受クル者ノ住所地カ支拂地ト異ナル場合ニ於テハ支拂地ヨリ償還ノ請求ヲ受クル者ノ住所地ニ宛テ振出シタル一覽拂ノ爲替手形ノ相場ニ依リテ之ヲ計算ス若シ支拂地ニ於テ其相場トキトキハ償還ノ請求ヲ受クル者ノ住所地ニ最モ近キ地ニ宛テ振出シタル一覽拂ノ爲替手形ノ相場ニ依ルト是レ所謂假想の手形ノ規定ニシテ支拂ヲ受ケサル所持人ヲシテ支拂ヲ受ケタルト同一ノ地位ニ在ラシムル爲メノ計算ノ方法ヲ定メタルモノトス而シテ同條第一項ハ所持人カ償還請求ヲ爲スノ目的ヲ規定セリ之ニ依レハ(第一)手形金額第二滿期日以後ノ法定利息第三支拂ナカリシ爲メニ生シタル費用例ヘハ拒絕證書作成其他ノ費用ノ如キ償還請求ノ目的トシテ手形所持人ヲシテ支拂地ニ於テ完全ニ之ヲ請求スルコトヲ得セシメ

タリ  
前述ノ如ク不拂手形ノ所持人カ自己ノ請求權ノ満足ヲ得ンニハ結局滿期日ニ支拂地ニ於テ支拂ヲ受ケタル如キ地位ニ在ルコトヲ要ス所持人ハ手形ノ支拂ナカリシ結果トシテ即時ヨリ其支拂ハルヘカリシ金額ヲ自ら使用シ得ザルモ

ノナリ所持人カ手形支拂ニ因リテ使用シ得ヘカリシ金額ヲ使用シ得ザルニ於テハ他ノ金錢ヲ使用セザルヲ得ス隨テ元金ノ外之ニ對スル利息ヲ得セシムルニ非サレハ所持人ヲシテ前述ノ目的ヲ達セシムルコト能ハス又之ト同一ノ理由ニ據リ拒絕證書作成ノ費用ノ如キ若シ支拂アルトキハ必要ナカリシニ拘ハラス其支出ノ必要ヲ生シタルモノナルカ故ニ亦此費用ノ辨償ヲ受ケシムヘキコト勿論ナリトス

次ニ右計算ノ方法ニ付テ説明センニ前ニ示ス如ク第四百九十一條第二項ハ償還ノ目的ヲ計算スルノ方法ヲ規定セルモノナリ今此規定ニ依レハ前ニ述ヘタル償還ノ目的タル金額ハ手形ノ所持人カ支拂地ヲ振出地トシ償還義務者ノ住所地ヲ其支拂地トシテ振出シタル一覽拂ノ爲替手形ノ相場ニ依ルコトヲ得セシメタリ即チ此場合ニ於テ請求スヘキ金額其滿期日後ノ法定利息及ヒ不拂ニ因リテ生シタル費用ヲ併セタル金額ヲ以テ爲替手形ノ金額ト爲シタル手形ヲ振出シタルモノノ如ク看做シテ以テ賠償額ノ計算ヲ爲サシムルモノナリ故ニ若シ爲替手形ノ相場ノ高低ニ因リテ其振出人所持人ノ振出サントスル手形ノ價



商法手形 爲替手形 償還ノ請求

額カ其手形金額即チ第四百九十一條第一號及ヒ第二號ニ定ムル金額ノ合計額ヨリ下ルヘキ場合ニハ其償還額ニ違スルマテ手形金額ヲ増加スルヲ妨ケサルナリ之ニ反シテ手形ノ相場カ手形金額ヨリ上ルトキハ其償還額ニ相當スルマテ手形金額ヲ減スヘキモノトス例ヘハ償還ヲ受クヘキ目的カ前ニ掲ケタル三種ノモノヲ合セテ一千圓ナル場合ニ之ヲ手形金額トシテ振出ストキハ其土地ノ相場ニ依リ九百九十五圓ナル場合ニハ一千圓ノ實際ヲ得ルマテ手形金額ヲ増スコトヲ得若シ手形金額一千圓ノ手形カ實際一千五百圓ノ相場ナルトキハ一千圓ノ實際ヲ得ルマテ手形金額ヲ減スヘキナリ

右ノ如ク償還權利者カ償還請求ヲ爲シタル場合ニ於テ若シ償還義務者カ之ニ對シテ其支拂ヲ爲セハ其者モ亦前者ニ對シテ同一ノ請求ヲ爲スコトヲ得而シテ其請求ハ如何ナルコトヲ目的トスルカハ本節ノ終ニ説明スヘシ

償還請求ノ目的タル金額ハ手形カ數人ノ間ニ轉帳シタル度數ノ多キヲ加フルニ隨ヒテ益増加スルコト明カナリ何トナレハ所持人ニ對シテ償還義務ヲ履行シタル者ハ其履行シタル金額ニ履行ノ費用ヲ加ヘテ更ニ償還請求ヲ爲スコト

ヲ得レハナリ然レトモ他ノ償還義務者ハ之ニ對シテ異議ヲ唱フルコトヲ得ス何トナレハ振出人竝ニ手形ヲ授受シタル者ハ初ヨリ手形不拂ノ場合ニ於テ斯ル費用ヲ生スルコトヲ豫期セタルモノナレハナリ加之既ニ述ヘタル如ク振出人ハ斯ル危険ヲ豫想セハ手形ヲシテ流動證書タラシメサルコトヲ得裏書人ハ償還請求ヲ受ケサルコトヲ記載スルコトヲ得(第四六〇條)ニ拘ラス流通證書タラシメ又責任ヲ負ハサル旨ヲ記載シ得(第四五九條)ニ拘ラス此旨ヲ記載セサル以上ハ不拂ノ場合ニ於テ償還ノ義務ヲ免ルルコトヲ得サルハ多言ヲ要セスシテ明カナリ

爲替手形ノ所持人カ償還請求ヲ爲スニハ右ニ述ヘタル如キ計算ニ依リ償還義務者ニ對シテ直チニ償還請求ヲ爲スコトヲ要セス換言セハ爲替手形ノ所持人ハ更ニ爲替手形ヲ振出シテ之ニ依リテ直チニ辨濟ヲ受クルノ方法ニ供スルコトヲ得ルモノトス法律カ斯ル方法ヲ認メタル理由ハ若シ償還義務者ノ住所ニ就テ現金ノ支拂ヲ求ムルコトヲ要スルモノトセハ手形ノ所持人ハ之カ爲メニ金額ヲ受領スルニ付キ多クノ日時ヲ要スヘク隨テ之カ爲メニ損害ヲ受クル場

商法手形 爲替手形 償還ノ請求



合多カルヘケレハナリ若シ法律上所持人ニ爲替手形ヲ振出サシメ直チニ金銭ニ代フルコトヲ得セシムルコトナカリモ前ニ屢述ヘタル如ク所持人ヲシテ支拂ヲ受ケタルト同一ノ地位ニ在ラシメントスル法律ノ希望ヲ達スルコトヲ得ナルヘケレハナリ是レ第四百九十三條ノ規定アル所以ナリ此規定ハ第四百九十一條第二項ノ規定ト一體ヲ爲スモノナリ蓋シ第四百九十一條第二項ノ計算方法ハ現ニ爲替手形ヲ振出サタル場合ニモ亦之ヲ適用スヘキモノナレハナ

右ノ如ク爲替手形ノ所持人カ償還請求ヲ爲ス場合ニ於テ償還義務者ニ對シテ振出ス所ノ手形ハ所謂戻爲替手形ト稱スルモノニシテ通常ノ爲替手形ト異ナル點左ノ如シ

- 一 通常ノ場合ニ於テハ爲替手形ノ振出人ハ隨意ニ其手形金額ヲ定ムルコトヲ得ルモ戻爲替手形ニ於テハ振出人ハ法律ノ規定ニ依ルニ非ラレハ手形金額ヲ定ムルコトヲ得ス
- 二 戻爲替手形ノ支拂人モ亦豫メ定マルモノナリ即チ戻爲替手形ノ支拂人タ

ルヘキ者ハ原手形ノ所持人ノ前者ニ限ルモノナリ換言スレハ原手形所持人ノ前者ニ非サレハ之ヲ其支拂人ト定ムルコトヲ得ス

此ノ如ク戻爲替手形ノ支拂人タルヘキ者ハ其振出人ニ對シテ償還義務ヲ有スル者ナラサルヘカラサルカ故ニ通常ノ場合ニ於テハ引受ヲ爲スモノナリト謂フコトヲ得ヘシ然レトモ償還義務者即チ戻爲替手形支拂人ノ義務ハ原手形上ノ義務ニシテ必スシモ戻爲替手形ヲ引受ケサルヘカラサルモノニ非サルカ故ニ其引受ヲ爲ササルコトナントセス果シテ引受ナキ場合ニ於テハ戻爲替手形ノ振出人タル所持人ハ自己ノ權利ヲ行ハントシテ却テ手形上債務ヲ負フ不利ノ地位ニ立ツコトアルハ戻爲替手形ヲ使用スル上ニ於テ已ムヲ得サル所タリ故ニ實際上戻爲替手形ヲ振出サント欲セハ須ク注意スヘキモノナリ

- 三 戻爲替手形ノ支拂地ハ法律ノ規定ニ依リ自ラ一定ス蓋シ商法ノ規定ニ依レハ其支拂地ハ償還請求ヲ受クル者ノ住所地ニ限ルヲ以テナリ(第四九四條第一項)

四 戻爲替手形ノ振出地モ亦一定シテ動カスコトヲ得ス即チ若シ所持人カ自ラ戻爲替手形ヲ振出ストキハ本爲替手形ノ支拂地ヲ以テ振出地ト爲スコトヲ要シ償還義務ヲ履行セタル裏書人カ戻爲替手形ヲ振出ストキハ其住所地ヲ以テ振出地ト爲ササルヲ得ス(第四九四條第二項)

五 戻爲替手形ノ満期日モ亦法律ノ規定ニ依リテ定マル即チ戻爲替手形ハ必ス一覽拂ト爲スコトヲ要ス(第四九四條第一項)

戻爲替手形ヲ振出スニハ必ス一覽拂タルコトヲ要スルノ規定ハ償還請求ノ目的タル金額ノ計算ヲ爲スニ付テ便宜ヲ與フルカ爲メナリ何トナレハ振出人カ隨意ニ満期日ヲ定ムルコトヲ得ルモノトセハ其手形金額ハ振出人ノ意思ニ因リテ變更ヲ來ス如キ結果ヲ生シ隨テ償還義務者ハ極メテ不利益ナル地位ニ立ツニ至ルヲ以テナリ要スルニ負擔額ノ計算ノ方法ノ簡便ヲ欲スルニ在リ

以上之ヲ要スルニ戻爲替手形ハ償還請求ヲ行フ者カ償還ヲ求ムルニ付テノ便宜方法ニ過キス故ニ所持人又ハ所持人ニ對シテ償還義務ヲ履行シタル者ハ之

ヲ振出スコトヲ得ルモノニシテ必スシモ之ヲ振出スコトヲ要スルモノニ非ス然リ而シテ所持人ニ對シテ償還義務ヲ履行シタル裏書人カ戻爲替手形ヲ振出ス場合ニハ必スシモ自ラ戻爲替手形ノ支拂人タルコトヲ要セス即チ裏書人ハ自ラ現金ヲ以テ償還セシトキト雖モ其償還ヲ求ムルニ付キ戻爲替手形ヲ振出スノ自由ヲ有ス

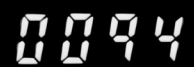
第三 償還義務ノ履行ニ因リテ生スル權利

償還義務ノ履行ヲ爲セタル者ハ左ノ權利ヲ有ス

一 爲替手形支拂拒絶證書及ヒ償還計算書ノ交付ヲ受タル權利ヲ有ス是レ自ラ他ノ義務者ニ對シテ償還請求ヲ爲スニ缺クヘカラサルモノナルヲ以テナリ(第四九五條第一項)

二 右ノ計算書ニハ償還ヲ受ケタル旨ヲ記載セシムルコトヲ得是レ計算書ヲ受取ルモ之ヲ失フトキハ再ヒ償還ノ請求ヲ受タル如キ危險アレハナリ(第四九五條第二項)

三 償還義務ヲ履行シタル者ハ其前者ニ對シテ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得其



方法ハ所持人カ償還請求ヲ求ムル場合ト同一ナリ但シ其目的ニ差異アルコ

トハ前ニ説明シタル所ノ如シ(第四九二條)

今ヤ本節ノ説明ヲ結了セントスルニ當リ脱漏シタル一點ヲ補ハントス

手形不拂ノ場合ニ於テ前者ニ對シテ償還請求ヲ爲サントスル者ハ手形ニ依リ  
 其前者ニ對スル正當ノ所持人タルコトヲ證明セサルヘカラス殊ニ手形カ數箇  
 ノ裏書ニ依リ轉帳シテ所持人ノ手ニ在ル場合ニ於テハ其裏書ハ形式的連續シ  
 テ所持人カ被裏書人ト爲リタルコトヲ證明スルコトヲ要ス若シ其裏書ノ連續  
 セサルモノアルトキハ連續ヲ缺ク前ニ在ル裏書人ノミ手形權利者ニシテ其後  
 ノ所持人ハ手形上ノ權利者ニ非ス詳言スレハ其所持人ハ連續ヲ缺ク前ノ裏書  
 人ニ對シテ手形上ノ權利ヲ有セサルノミナラス之ヲ缺キタル後ノ裏書人即チ  
 其直接ノ前者ニ對シテモ亦其權利ヲ有セス何トナレハ裏書ナルモノハ裏書人  
 ト被裏書人トノ間ニ獨立ノ手形關係ヲ生セシムヘク隨テ其前者ト後者トノ間ニ  
 モ亦同一ノ關係ヲ生セシムヘシト雖モ素ト原手形ニ於ケル權利ヲ移ス方法ト  
 シテ之ニ附帶シテノミ成立スルモノナルヲ以テ裏書ノ連續ヲ失ヒタル以後ニ

於ケル裏書ハ原手形ニ因ル權利ヲ移スモノト謂フコト能ハサレハナリ例ヘハ  
 (甲)振出人(乙)受取人(丙)支拂人ナル爲替手形ヲ(乙)ヨリ(丁)ニ裏書シ(丁)ハ之ヲ(戊)ニ裏  
 書スルニ當リ略式裏書ヲ爲シ尙ホ(戊)ハ(己)ニ裏書シタル場合ニ於テ若シ(戊)カ自  
 己ヲ(丁)ノ被裏書人ト記載シ而シテ後ニ(己)ニ其裏書ヲ爲サザリシトキハ(己)ハ其  
 手形ヲ(庚)ニ(庚)ハ之ヲ(辛)ニ裏書シ(辛)ハ既ニ手形ヲ所持スルトキト雖モ(甲)ノ振出  
 シタル手形權利者ナリト謂フヘカラス故ニ(丙)ナル支拂人ニ於テ支拂引受ヲ爲  
 シタルトキト雖モ之ニ對シテ其手形上ノ權利ヲ行フコト能ハス又其手形不拂  
 ノ場合ニ於テハ(戊)其他ノ前者ニ對シテ償還請求權ヲ有セサルノミナラス(己)若ク  
 ハ(庚)ニ對シテモ亦其權利ヲ有セサルナリ或ハ(己)若クハ(庚)ニ對スルトキハ(辛)ノ  
 爲メ裏書ハ連續スルモノト謂フヘク隨テ(辛)ハ少クモ此者ニ對シテハ償還請求  
 權ヲ有スト論スル者アラン然レトモ右ニ述ヘタル理由ニ依レハ此說タル固ヨ  
 リ探ルニ足ラサルモノトス

第七節 參加

商法手形 爲替手形 參加

參加ニ付キ説明ヲ爲スニ先チ茲ニ一言スヘキコトアリ抑モ爲替手形カ經濟上十分ノ效用ヲ顯ハスニハ其約旨ノ如ク嚴ニ履行セラルルコトヲ要ス詳言スレハ爲替手形ノ所持人カ滿期日ニ其支拂ヲ求ムルトキハ相違ナク支拂ハレ滿期日前ニ其支拂引受ヲ求ムルトキハ異議ナク支拂ノ確保ヲ得ルニ因リテ其信用全キヲ得ルモノト謂フヘシ蓋シ爲替手形ノ所持人ハ滿期日前ニ支拂人ニ支拂ノ引受ヲ請求スル權利ヲ有シ又滿期日ニ至レハ手形金額ノ支拂ヲ求ムルコトヲ得ルコト勿論ナルモ若シ所持人カ滿期日前ニ支拂ノ引受ヲ求メタルニ其引受ヲ拒マレ又ハ滿期日ニ支拂ノ請求ヲ爲シタルニ其支拂ヲ拒マレタルトキハ手形ノ信用ハ之ニ因リテ缺損スルニ至ルコトヲ免レザルヘシ此ノ如ク手形ノ信用將ニ缺損セントスルニ際シ之ヲ維持スル方法アラハ手形ノ流通上一層ノ便宜ヲ得ヘキナリ例ヘハ引受ナキ場合ニ引受ヲ爲シ又ハ支拂ナキ場合ニ支拂ヲ爲ス方法存スルトキハ之ニ依リテ手形ノ信用ハ維持セラルヘキカ故ニ若シ其方法アリトセハ法律ハ之ヲ認ムヘキノミナラス寧ロ之ヲ獎勵スル必要アリト謂フヘシ

參加ナルモノハ右ニ述ヘタル如ク手形ノ信用カ將ニ缺損セントスル場合ニ立入り手形債務者ノ爲メ手形上ノ關係ヲ生セシムルコトヲ謂フ介入シテ手形上ノ債務關係ヲ生セシムル者ハ所謂參加人ニシテ介入ニ因リテ利益ヲ受クル者ハ被參加人ナリ參加ニ二種アリ引受ノ參加支拂ノ參加即チ是ナリ尙ホ參加ニハ隨意參加ト委託ニ因ル參加トノ別アリ爲替手形ノ引受ナキ場合ニ於ケル參加ヲ稱シテ參加引受ト謂ヒ其引受ヲ爲ス者ヲ參加引受人ト謂ヒ其支拂ナキ場合ニ於ケル參加ハ支拂參加ニシテ其參加人ヲ稱シテ參加支拂人ト謂フ  
 參加ハ引受參加ナルト支拂參加ナルトヲ問ハス手形上ノ債務關係ヲ生セシムルモノナルカ故ニ何人カ參加ヲ爲ス權利ヲ有スルヤ及ヒ何人カ參加ニ因リテ利益ヲ得ル者即チ被參加人タルヤノ問題ヲ生シ其説明ヲ要ス又隨意ノ參加ト委託ニ因ル參加トヲ説明セザルヘカラス今其要ヲ言ヘハ參加ハ手形上ノ債務關係ヲ有セザル者ハ勿論其債務ヲ負擔スル者ト雖モ或者ハ參加人タルコトヲ得手形上ノ債務ヲ有スル者即チ手形ノ支拂引受人ハ主タル債務者ナルカ故ニ參加ヲ爲スコトヲ得ザルヤ明カナルモ振出人及ヒ其後ノ裏書人ハ手形所持人

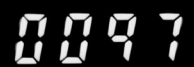


ニ對スル手形關係上擔保義務者タル地位ニ在ラサル場合ニ限リ参加人タルヲ妨ケス例ヘハ手形上後者ハ前者ニ對シテ参加ヲ爲スコトヲ得ルカ如ク故ニ手形ニ無關係ナル者ハ参加人タルコトヲ得手形ニ支拂人トシテ記載セラレタル者ニシテ未タ其引受ヲ爲ササルトキハ手形上何等ノ關係ヲ有セサル者ナルヲ以テ純然タル第三者ト異ナルコトナク参加人タリ得ヘシ

次ニ委託ニ因ル参加トハ手形上ノ債務者即チ振出人又ハ裏書人カ手形ノ效用ヲシテ完全ナラシムル爲メニ手形上特ニ記載シタル者所謂豫備支拂人はナリ隨意参加トハ豫備支拂人ニ非タル者カ手形債務者ノ信用ヲ維持セシメンカ爲メ又ハ支拂参加ニ於テ稀ニ見ル如ク自己ノ爲メニ参加ヲ爲ス場合ヲ謂フ要スルニ隨意ノ参加ト委託ニ因ル参加トハ手形債務者ノ豫定シタル者ト然ラサル者トノ區別ニ過キス是レ第五百一條ニ豫備支拂人ニ非タル者ノ参加引受云云ト規定セル所以ナリ

### 第一款 参加引受

参加引受トハ手形支拂人カ支拂ヲ爲ササル場合ニ於テ其支拂ヲ爲スヘキ旨ノ意思表示ナリ手形所持人ハ滿期日前ニ支拂人ニ對シテ支拂ノ引受ヲ求ムル權利ヲ有スルコト竝ニ支拂人カ引受ヲ拒絕シタルトキハ引受拒絕證書ヲ作成シ償還義務者ニ對シテ擔保ノ請求ヲ爲スコトヲ得ヘシトノ規定竝ニ其理由ハ據ニ爲替手形ノ引受ノ節ニ於テ之ヲ論シタリ蓋シ手形所持人カ支拂人ニ對シテ引受ヲ請求シタル場合ニ其支拂人カ引受ヲ爲ササル事實ハ手形振出人又ハ其裏書人ニ對スル信用ノ缺乏ヲ表示スルモノト謂ハサルヘカラス何トナレハ手形振出人其他裏書人ハ支拂人ニ對シテ支拂ノ引受ヲ委託シタル者ナルヲ以テ支拂人ニ於テ振出人又ハ裏書人ヲ信用スル以上ハ引受ヲ拒ム理由ナケレハナリ而シテ支拂人カ支拂ノ引受ヲ爲ササルトキハ振出人又ハ裏書人ノ信用ヲ損スル結果ヲ生シ其不利益タル言フ埃タス故ニ此ノ如キ不利益ノ場合ヲ豫防セシカ爲メニ特ニ引受隨テ支拂ヲ爲スヘキ者ヲ手形ニ記載スルコトアリ所謂豫備支拂人ノ記載是ナリ(第四四八條、第四五八條)手形ニ豫備支拂人ノ記載ナキ場合ニ於テモ引受人カ引受ヲ爲ササル事實ヲ知リテ自ら進ミテ其引受ヲ爲サ



トスル場合アリ即チ或ハ償還義務者ノ爲メニ信用ヲ維持セシメントスル好意ニ因リ或ハ他ノ事情ニ因リテ引受ヲ爲スヘキ旨ヲ申出ツル者アリ  
 手形ニ豫備支拂人ノ記載アルトキハ所持人ハ單ニ支拂人カ引受ヲ拒絶シタルコトヲ理由トシテ直チニ其前者ニ對シテ擔保ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス所持人カ其前者ニ對シテ擔保ノ請求ヲ爲サントスルニハ先ツ豫備支拂人ニ引受ヲ爲スヤ否ヤヲ確ムルコトヲ要ス換言スレハ支拂人カ引受ヲ爲ササル事實ノミニテハ未タ擔保請求ノ條件充タサルナリ第五〇〇條其理由ハ手形ニ豫備支拂人ノ記載アル手形ノ所持人ハ其手形ヲ取得スルニ當リ萬一支拂人カ引受ヲ拒絶シタルトキハ豫備支拂人ニ對シテ其引受ヲ求ムヘキ旨ヲ承諾シタルモノト謂ハサルヘカラス又他ノ一方ヨリ言ヘハ振出人又ハ裏書人カ特ニ豫備支拂人ヲ手形ニ記載シタル所以ハ之ニ依リテ以テ自己ノ信用ヲ維持セントスルニ在リ故ニ其必要生シタル場合ニ豫備支拂人ニ對シテ所持人ヲシテ引受ヲ求メシムヘキコト當然ナリ若シ手形所持人カ此規定ニ違背シ豫備支拂人ニ對シテ引受ヲ求メザリシトキハ其記載ヲ爲シタル者及ヒ後者ニ對シテ擔保ノ請求ヲ爲スコト

ヲ得ス豫備支拂人引受ヲ爲シタルトキハ如何ナル結果ヲ生スルヤハ後ニ説明セシ豫備支拂人カ引受ヲ爲サザリシトキ茲ニ始メテ其前者ニ對シテ擔保ノ請求ヲ爲ス條件ヲ充タスニ至ル但シ此條件ノ具備シタルコトハ拒絶證書ニ依リテノミ之ヲ證明スルコトヲ得即チ前ニ支拂人ニ對シテ作成シタル引受拒絶證書ニ豫備支拂人ノ引受ナキ旨ヲ記載セシメテ擔保ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス而シテ豫備支拂人カ其引受ヲ爲サントスルトキハ所持人ハ之ヲ拒絶スル權ナシ何トナレハ前ニ述ヘタル如ク此場合ニ於テ豫備支拂人ニ引受ヲ求ムルコトハ豫メ承諾シタルコトナルヲ以テナリ第五〇〇條第五〇一條  
 手形ニ豫備支拂人ノ記載ナキ場合ニ於テ隨意ニ引受ヲ爲サントスルコトヲ申出ツル者アルトキ例ヘハ償還義務者ノ取引先ナルカ或ハ其友人ナルカ若クハ此等ノ關係ナキモ振出人又ハ裏書人ノ信用ヲ維持センカ爲メニ好意上引受ヲ爲スヘキ旨ヲ申出ツル者アルモ其申出ハ所持人ニ於テ之ヲ承諾スルコトヲ要セス第五〇一條是レ豫備支拂人ノ引受ニ於ケルト異ナル所ナリ其理由ハ手形所持人ハ支拂人カ引受ヲ承諾セザル場合ニハ直チニ擔保ノ請求ヲ爲ス權利ヲ

有シ此請求ハ一日ト雖モ之ヲ遅延スルコトヲ得ザル事情存スル場合アリ例ヘ  
 商業上ノ恐慌ニ因リ手形不拂ノ頻繁ナル場合或ハ償還義務者カ既ニ破産セ  
 シトスル狀況ニ在ル場合ノ如キハ速ニ擔保ノ請求ヲ爲スコト必要ナリ斯ル事  
 情アルニ拘ラス所持人ハ隨意ノ参加引受モ之ヲ承諾セザルヘカラストセハ  
 或ハ之カ爲メ所持人ヲシテ有效ナル擔保ヲ得ル機會ヲ失ハシムルコトナシト  
 セス況ヤ其参加引受人ハ債務者ト通謀シテ擔保ノ請求ヲシテ無効ナラシメ  
 トスルニ在ルヤモ亦知ルヘカラサルニ於テヲヤ故ニ隨意引受ハ之ヲ拒ムコト  
 ヲ得ルモノトセザルヘカラス是レ第五百一條ノ規定アル所以ナリ之ト同一ノ  
 理由ニ據リ参加引受人數名アル場合ニ於テハ所持人ハ其内最モ確實ナリト思  
 料スル者ヲ選擇シテ自己ノ引受人ト爲サシムルコトヲ得(第五〇二條)  
 次ニ参加引受ハ如何ナル形式ヲ以テ之ヲ爲シ如何ナル效力ヲ有スヘキモノナ  
 ルヤノ點ニ論及セントス  
 参加ノ引受ハ手形行爲ノ一種ニシテ嚴格ナル要式行爲ナリ即チ参加引受ハ爲  
 替手形ノ原本ニ其旨ヲ記載シ参加引受人之ニ署名スルコトヲ要ス手形上ニ爲

サザル参加引受ハ口頭其他如何ニ明瞭ナル方法ヲ以テスルモ其效力ヲ生セザ  
 ルナリ(第五〇三條)

参加引受人カ参加引受ヲ爲スニ當リテハ何人ノ爲メニ参加スルモノナリヤヲ  
 定ムル權利アリ例ヘハ甲ノ振出シタル爲換手形ニシテ乙丙丁ノ裏書ニ因リテ  
 遂ニ戊ニ移轉シタル手形アリトセンカ甲若クハ乙若クハ丙又ハ丁ヲ被参加人  
 トスル如ク自己ノ欲スル者ノ爲メニ引受ヲ爲スコトヲ得参加人ニ於テ其何人  
 ノ爲メニスル参加ナルヤヲ記載セザルトキハ最モ多ク擔保義務者ヲ免レシム  
 ル爲メ即チ振出人ノ爲メニ参加引受ヲ爲シタルモノト看做サル(第五〇三條第  
 二項此規定ハ性質上隨意参加ノ場合ニノミ適用スヘキモノニシテ委託参加ニ  
 適用ナキコト明カナリ何トナレハ豫備支拂人カ引受ヲ爲シタルトキハ委託ニ  
 因ル参加ナルカ故ニ其委託者ノ爲メニ引受ヲ爲スモノナルヲ以テ委託者ニ非  
 ナル者ノ爲メニ爲ス引受ハ隨意ノ引受ト爲ルコト勿論ナレハナリ但シ豫備支  
 拂人タルコトヲ拒絕シテ隨意ノ参加ヲ爲スコト妨クナキカ故ニ若シ豫備支拂  
 人トシテ記載セラレタル者更ニ隨意参加ヲ爲シタルトキハ右ノ規定ヲ之ニ適

用スヘキコト論ナシ

參加引受アルトキハ手形所持人ハ其作成シタル引受拒絶證書ニ參加引受アリタル旨ヲ記載セシメ拒絶證書作成ノ費用ノ支拂ト引換ヘ其證書ヲ參加引受人ニ交付セタルヘカラス(第五〇四條)參加引受ニ因リテ生スル效力左ノ如シ

第一 被參加人及ヒ其後者ヲシテ所持人ニ對シ引受ナキニ因リ供スヘキ擔保ヲ供スル義務ヲ免レシム 其理由ハ參加引受アリタルトキハ被參加人及ヒ其後者ノ爲メニハ所謂引受アリシモノト謂ハサルヘカラザレハナリ(第五〇六條)

第二 參加引受人ハ爲替手形ノ所持人ニ對シ條件附手形金額支拂ノ義務ヲ負擔ス 爲替手形ノ支拂人ハ手形ノ支拂ヲ引受タルニ因リテ爲替手形ノ主タル義務者ト爲ルコトハ既ニ説明シタル如シ參加引受人ナル者ハ手形支拂人ト同シク主タル義務者タル地位ニ在ル者ナレトモ支拂人ノ引受ノ如ク満期日ニ支拂ヲ爲スコトヲ承諾シタルモノニ非スシテ條件附ヲ以テ之ヲ承諾シタルモノナリ換言セハ支拂人カ満期日ニ支拂ヲ爲サザリシトキナル條件ヲ以テ之ノ支拂ヲ爲ス義務ヲ負擔ス故ニ參加引受人ノ義務即チ手形支拂ノ義務ノ發生ニハ

左ノ三箇ノ條件ヲ要ス

- (一) 爲替手形ノ満期日又ハ其後ノ二日內ニ手形金額ノ支拂ナカリシコト
  - (二) 其支拂ナカリシコトヲ拒絶證書ニ依リ證明スルコト
  - (三) 所持人カ満期日又ハ其後二日內ニ參加引受人ニ對シ支拂ヲ求メタルコト
- 此條件カ具備スル場合ニ於テ參加引受人ハ始メテ支拂ヲ爲スヘキモノト謂ハサルヘカラス(第五〇五條)第五〇八條

右ニ論シタル如ク參加引受ハ被參加人ノ爲メニ擔保ヲ供スル義務ヲ免レシムルモノニシテ總テノ者ノ義務ヲ免レシムルモノニ非ス故ニ其被參加人ノ前者ハ總テ引受ナキ手形關係ニ在ルモノト謂ハサルヘカラス故ニ被參加人ノ爲メニ其前者ニ對シテ擔保ヲ求ムル機會ヲ得セシメサルヘカラス而シテ之カ爲メニハ被參加人ハ參加アリシコトヲ知ルコトヲ要スルヤ勿論ナリ被參加人ヲシテ其實ヲ知ラシムル爲メ參加引受人ハ手形所持人ヨリ交付ヲ受ケタル拒絶證書ヲ被參加人ニ送付スルコトヲ要ス而モ此送付ハ被參加人及ヒ其前者ヲシテ有效ノ擔保請求ヲ爲スコトヲ得セシムル如ク遲滞ナク之ヲ爲ササルヘカラ





第五〇四條第二項參加引受人ヨリ拒絕證書ノ交付ヲ受ケタルトキハ被參加人ハ之ニ依リ前者ニ對シテ擔保ノ請求ヲ爲スコトヲ得此場合ニハ擔保ヲ求ムルニ必要ナル手續ヲ爲スヘキコト勿論ナリ(第五〇七條)

第二款 參加支拂

既に説明シタル如ク爲替手形ノ所持人カ滿期日ニ支拂ヲ求メ支拂ヲ受ケルコトヲ得タルトキハ償還請求權ニ依リ其前者ニ對シテ償還ヲ求ムルコトヲ得レドモ手形ニ豫備支拂人又ハ參加引受人アルトキハ所持人ハ支拂ナキニ因リ直チニ其前者ニ對シテ償還請求ヲ爲スコトヲ得ス蓋シ參加引受人又ハ豫備支拂人ハ素ト手形ノ支拂ナキ場合ニ償還義務者ノ爲メニ義務ヲ免レシムヘキ地位ニ在ル者ナルカ故ニ所持人ハ償還請求ヲ爲スニ當リテハ先ツ此者ニ對シテ支拂ヲ求メタルヘカラス換言セハ滿期日ニ支拂人ニ對シテ支拂ヲ求メテ満足セザルトキハ支拂拒絕證書ヲ作リ豫備支拂人又ハ參加引受人ニ支拂ヲ爲スヤ否ヤヲ確メタルヘカラス此請求ヲ爲シタルニ拘ラス參加引受人又ハ豫備支拂人カ

支拂ヲ爲ササル場合ニ於テ始メテ償還請求ヲ爲スコトヲ得ルモノトス所持人カ豫備支拂人又ハ參加引受人ニ對シテ手形金額ノ支拂ヲ求メタルモ此等ノ者カ支拂ヲ爲スコトヲ拒ミタルトキハ前ニ作リタル支拂拒絕證書ニ其旨ヲ記載セシムルコトヲ要ス若シ此手續ヲ爲スコトヲ怠リタルトキハ手形所持人ハ豫備支拂人ヲ定メタル者又ハ被參加人及ヒ其後者ニ對スル償還請求權ヲ喪失ス

(第五〇八條第三項)

參加支拂ハ參加引受人又ハ豫備支拂人ニ非ナル者ト雖モ隨意ニ之ヲ爲スコトヲ得是レ猶ホ手形ニ隨意ノ參加引受ヲ許ス如ク手形ノ信用ヲ維持セシムル一段ニ外ナラス而シテ所持人ハ參加引受人又ハ豫備支拂人ニ非ナル者ノ支拂ト雖モ之ヲ拒ムコトヲ得ス(第五〇九條此點ハ委託ニ因ラサル者ノ引受ヲ拒ムコトヲ得ルコトト區別アル著シキ點ナリ其理由ハ疑ニ述ヘタル如ク引受ハ實際上有益ナルヤ否ヤハ不確實ナルノミナラス若シ引受ヲ拒ムコトヲ得サルモノトセハ安全ナル擔保ヲ得ルコト能ハサル結果ヲ生スル虞ナシトセス之ニ反シテ參加支拂ハ之ニ依リテ所持人ヲシテ安全ナル權利ノ實效ヲ得セシメタル



モノナリ債權者ニシテ手形ノ趣旨ノ如ク辨濟ヲ受タル以上ハ何人ヨリ之ヲ受タルモ異議ヲ唱フヘキ理由ナシ更ニ他ノ方面ヨリ觀察スレハ參加支拂ハ償還請求ノ場合ニ生スヘキ幾多ノ費用ヲ節略スルコトヲ得セシムルカ故ニ所持人ハ參加支拂ヲ拒ムコトヲ得ストスルコト當然ナリ故ニ若シ所持人カ此支拂ヲ受タルコトヲ拒絕シタルトキハ之ニ因リテ擔保ヲ供スルコトヲ免ルルコトヲ得ヘカリシ者ニ對スル手形上ノ權利ヲ喪失セシムル結果ヲ生ス(第五〇九條後段)

參加ノ引受ヲ爲サントスル者數人アルコトアルト同シク參加支拂ヲ爲サントスル者モ亦數人アルコトナシトセス又參加引受人及ヒ豫備支拂人ノ記載アル場合ニ豫備支拂人カ參加引受ヲ爲サスシテ參加支拂ヲ爲サントスル場合ノ如キハ所持人ハ何人ノ支拂ヲ承諾セサルヘカラサルヤノ問題ヲ生ス此點ニ付テハ商法ハ最モ債務者ノ利益ト爲ルヘキコトニ推定ヲ下シ參加支拂ヲ爲サントスル者數人アルトキハ所持人ハ最多數ノ者ヲシテ債務ヲ免レシムル效力ヲ有スル支拂ヲ受タルコトヲ要ストセリ(第五一〇條)

參加支拂ヲ爲サントスルニ當リ豫備支拂人又ハ參加引受人ニ非サル者ハ被參加人ヲ明示スルコトヲ得然レトモ特ニ之ヲ明示セサルトキハ手形支拂人ノ爲メニ支拂ヲ爲シタルモノト看做ス(第五一一條此場合ニ於テハ支拂人ヲ除ク外其他ノ者ハ手形上ニ於テ何等ノ義務ヲ負フコトナキ結果ヲ生ス)

參加支拂ハ單ニ被參加人ヲシテ所持人ニ對スル償還義務ヲ免レシムルニ過キス換言スレハ參加支拂ハ之ニ依リテ手形上ノ債務ヲシテ全然消滅セシムルモノニ非ス何トナレハ參加人ハ參加ニ因リテ單ニ償還義務ヲ免レシムルコトヲ承諾シタルニ過キスシテ自己カ債務者タル地位ニ代リシモノニ非ス參加支拂人カ支拂ヲ爲シタルトキハ此支拂ニ因リテ手形所持人タル權利ヲ取得ス參加支拂人カ支拂ヲ爲シタル場合ニテモ手形債務ハ猶ホ存在ストセハ參加支拂ハ如何ナル效力何等ノ利益アルヤヲ疑フ者アラン然レトモ此利益ハ最モ明瞭ニシテ之ヲ認ムルニ難カラズ即チ下ノ如シ(第一償還請求ニ因リテ生スル費用ヲ節減スルコトヲ得第二手形償還義務者ハ之ニ依リテ自己カ將ニ失ハントシタル信用ヲ維持スルコトヲ得何トナレハ參加人ハ少クモ被參加人ニ對シテ信ヲ

置クニ非サレハ支拂ヲ爲ササルヲ常トスレハナリ(第三實際ニ於テハ高利貸營業者ノ如キ酷者カ嚴格ニシテ確實ナル手形權利ヲ得ル目的ヲ以テ參加支拂ヲ爲スコトナシトセス然レトモ此ノ如キハ稀有ノ事實ニシテ參加ヲ爲ス者ノ多數ハ被參加人ノ利益ノ爲メニスルモノナルカ故ニ參加支拂人ハ其求償權利ヲ主張セサルコトアルノミナラス縱令其權利ヲ拋棄セサルモノトスルモ被參加人ノ爲メニ十分ノ猶豫ヲ與フルコト通例ナリトス

參加支拂人ハ手形所持人タル權利ヲ取得スルコトハ第五百十三條ノ規定スル所ナリ而シテ參加支拂人カ此權利ヲ行ハンカ爲メニハ其參加支拂ヲ爲シタルコトヲ證スル必要アリ此立證ノ爲メ參加支拂ヲ爲スト同時ニ所持人ニ對シテ左ノ書類ノ交付ヲ求ムルコトヲ得第五一二條)

(一) 參加支拂アリタル旨ヲ記載シタル支拂拒絶證書

(二) 其支拂ヒタル原手形

此二箇ノ書類ニ據リテ引受人被參加人及ヒ其前者ニ對シテ手形上ノ權利ヲ實行スルコトヲ得即チ自己カ辨濟シタル金額及ヒ辨濟後ノ利息ヲ請求スルコト

ヲ得ルモノトス第五百十三條ニ參加支拂人カ支拂ヲ爲シタルトキハ引受人被參加人及ヒ其前者ニ對スル所持人ノ權利ヲ取得ストアルハ所持人ノ權利ヲ承繼スルモノニ非スシテ所持人タル權利ヲ得ル意義ナリト信ス法文上ヨリ言ヘハ所持人カ有セシ權利其モノヲ得ルカ如ク見ユル疑アルカ故ニ或ハ參加支拂人ハ所持人ヨリ其權利ヲ讓受ケタルト同一ノ意義ナリト曰フ者アラン然レトモ予ハ本條ノ規定ハ參加支拂人ヲシテ所持人タル權利即チ手形上獨立ナル權利ヲ得セシムル意義ナリト信スル者ナリ所持人ノ權利ヲ讓受ケル意義ナリトスルト所持人タル權利ヲ得ル意義ナリトスルトニ由リ生スル結果ハ被參加人及ヒ其前者カ參加支拂人ヨリ辨濟ヲ受ケタル所持人ニ對シテ有スル抗辯ヲ以テ參加支拂人ニ對抗スルコトヲ得ルト否トニ歸ス而シテ所持人タル權利ヲ取得セシムル意義ナリト主張スル證據ハ以下ノ如シ(第四百六十二條ハ支拂拒絶證書作成期日後ニ於ケル場合ノ被裏書人ノ權利ヲ規定シテ裏書人ノ有シタル權利ノミヲ取得スト下言ヘリ而シテ新商法ニ於ケル文字ノ使用ハ極メテ嚴格ナルニ由リ參加支拂人ノ權利ヲ規定シタル第五百十三條ニ所謂所持人ノ權利

ヲ取得ス(トノ語ニシテ單ニ所持人ノ權利ノミヲ取得セシムルノ意味ナリトセ  
ハ第四百六十二條ノ如キ文字ヲ用フヘカリシナリ然ルニ本條ニ於テ特ニ此ノ  
如キ文字ヲ用ヒタルモノハ參加支拂人ハ其支拂ヲ爲スニ因リテ以テ獨立ノ權  
利ヲ取得スル意ナルコトヲ示スモノナリ(二爲替手形ノ參加支拂ナル制度ヲ設  
タル理由ハ手形カ圓滿ニ流通スルコトヲ期シタルニ外ナラス即チ少クトモ所  
持人ノ爲メニハ支拂人カ支拂ヲ爲スト異ナラサル結果ヲ得セシメンカ爲メナ  
リ此觀念ヲ實行セシメントスルニハ成ルヘク參加人ヲシテ便宜ノ地位ニ在ラ  
シムルコトヲ要ス參加支拂人ヲシテ獨立ナル權利ヲ得セシムルコト其最モ利  
益トスル所ナルヘシ此精神ヨリ觀察スルモ右ノ如クニ解スルヲ至當ナリト信  
ス參加支拂人ノ權利ニシテ果シテ此ノ如キモノナリトセハ參加支拂人ハ被參  
加人又ハ其前者カ所持人ニ對シ對抗シ得ヘカリシ防禦方法ニ因リテ其權利ヲ  
妨ケラルルコトナシ

## 第八節 保證

第一 手形保證ノ性質及ヒ要件  
爲替手形ノ保證トハ爲替手形上主タル署名者カ負擔スヘキ手形債務ヲ擔保ス  
ル意思表示ナリ此保證モ亦一般ノ保證債務ノ如ク主タル債務ノ成立ヲ必要ト  
スルコト言フ埃タス然レトモ茲ニ注意スヘキハ一般ノ保證債務ニ於ケルカ如  
ク主タル債務カ實質上存在スルコトヲ必要トセス換言セハ手形債務ハ其性質  
上形式ヲ待チテ存在スルモノナルカ故ニ形式的ニ主タル債務ヲ負擔スヘキ者  
ノ署名アレハ其債務ハ實質上存在セサルモ手形債務ノ保證ハ成立セサルヘカ  
ラス例ヘハ手形ノ振出人裏書人又ハ引受人カ法律上能力ヲ有セサルトキハ之  
ヲ理由トシテ手形債務ヲ取消スコトヲ得ヘシ此場合ニ於テ民法ノ規定ニ依レ  
ハ特別ノ意思表示アルニ非サレハ保證債務成立セス然ルニ手形ニ於テハ形式  
上主タル債務者ノ署名アル以上ハ縱令其債務ハ取消サルモ保證債務ハ獨立  
シテ存在スト謂ハサルヘカラス其他手形カ偽造ナリシトキハ裏書人又ハ引  
受人ハ手形上ノ債務ヲ負擔セサルモ形式上裏書人引受人ノ債務ヲ保證スルト  
キハ主タル債務ハ取消サルニ拘ラス保證債務ハ成立ス要スルニ保證ハ一ノ

手形上ノ獨立ノ債務ト謂フコトヲ得此事タル法文ニハ明言セサルモ第四百九十七條ノ規定ニ依リ此ノ如ク推論スルコトヲ得ヘシ(第四三八條第四三七條參照)

保證ハ此ノ如キ性質ノ債務ナレトモ其債務カ成立スルニハ必ス手形ノ規定ニ依リ成立シタル手形ノ存在スルコトヲ要ス即チ手形ニ形式上主タル債務者ノ署名ナカルヘカラス若シ此點ニ於テ缺クル所アレハ手形ノ保證ハ成立スルコトヲ得ス次ニ注意スヘキコトハ手形ノ保證ハ一ノ商行爲ナリ(第二六三條故ニ手形上保證ヲ爲シタル者ハ商行爲ノ通則ニ依リ連帶ノ責任ヲ負フヘキコト明カナリ(第二七三條隨テ此保證ニ付テハ民法ノ連帶債務ノ原則ニ關スル規定ノ準用セラルルコト亦明カナリトス(民法第四三二條乃至第四四五條)

第二 手形保證ノ形式

手形ノ保證ハ手形原本謄本又ハ補箋ノ上ニ之ヲ爲スコトヲ要ス其他ノ紙面ニ於テ爲セタル場合ハ如何ニ明瞭ナル意思表示アルモ所謂手形ノ保證タル效力ヲ生セス(第四九七條)此點ハ舊商法ノ手形保證ニ關スル規定ト相異ナル所ナリ

舊商法ニ於テハ別ニ保證ノ記載ヲ爲スコトヲ許セリ此舊法ノ主義ハ佛法系ノ手形法ニ據リタルモノナリ佛法主義ノ理由トスル所ハ若シ手形ニ保證ノ記載アルトキハ其手形ハ流通ヲ爲ス上ニ於テ多少ノ困難ヲ感スヘシ換言セハ手形ニ保證ヲ附セル如キ事情ノ存スル場合ニハ何人モ之ヲ授受スルコトヲ爲ササルニ至リ之ガ爲メニ手形ノ流通ヲ妨ケラルルニ至ルヘシ故ニ別紙ニ爲スコトヲ許スヲ相當トスト云フニ在リ然レトモ此理由ハ(第一)ニ手形ハ嚴格ナル形式ヲ待テテ成立スルモノナル觀念ニ副ハサルモノト謂ハサルヘカラス(第二)ニ若シ佛法主義ノ如キ事情ヲ斟酌セバ他ニ方法アリ即チ必スシモ表面ニ顯ハサスシテ優ニ手形債務ノ保證ヲ爲サシムルコトヲ得ヘク別紙ニ爲サシムルノ必要ナキナリ例ヘハ振出人ノ爲メニ保證スル如キ是ナリ振出人ハ手形振出ニ因リ償還義務者ト爲ルコト明カナリ第一ノ受取人ハ振出人ニ對シテ償還請求ノ權利ヲ有ス然レトモ第一ノ受取人ヲ一ノ保證人トスル便宜アリ其理由ハ例ヘハ手形ノ振出人甲カ乙ニ對シテ振出シタル場合ニ乙ハ手形ノ對價ヲ與フルニ非ラレハ手形ヲ取得スルコトヲ得ス是レ普通ノ場合ナリ贈與スル如キハ例外ニ

屬ス其手形ノ受取人カ振出人ニ對シテ保證ヲ爲ス場合ニハ實際對價ヲ與フル  
コトヲ要セス單ニ裏書ヲ爲セハ直チニ擔保義務者ト爲ルヲ以テ其結果保證  
タルト同一ナリ

手形ノ保證人カ手形ニ保證ノ意思表示ヲ爲ス場合ニハ一般ノ保證債務ニ於ケ  
ルカ如ク何人ノ爲メニ保證ヲ爲スヤヲ明記スルコトヲ得例ヘハ振出人ノ爲メ  
ニ或ハ裏書人ノ爲メニスルト云フカ如ク自己ノ意思ニ因リテ被保證人ヲ定ム  
ルコトヲ得然レトモ手形ノ保證ハ手形ノ上ニ署名スルノミニテ成立シ得ルカ  
故ニ被保證人ノ記載ナキ場合ニハ何人ノ爲メニ保證ヲ爲シタルモノト爲スヘ  
キヤノ問題ヲ生ス故ニ法律ハ明文ヲ以テ此問題ヲ決シタリ即チ其保證ハ引受  
人ノ爲メニ之ヲ爲シタルモノト看做シ未タ引受アラサルトキハ振出人ノ爲メ  
ニ之ヲ爲シタルモノトセリ(第四九八條此規定ニ依レハ保證ハ最も多クノ債務  
ヲ免レシムル者ノ爲メニ爲シタルモノト看做スナリ  
保證人ハ何人ノ爲メニ保證ヲ爲スヤヲ記載シタルト否トニ拘ラス主タル署名  
者ノ負擔シタル債務ヲ履行スル責任ヲ負フ而シテ此債務ハ手形ノ債務カ存在

スル間即チ手形債務カ時效又ハ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅セサル間ハ隨意ニ負  
擔スルコトヲ得然レトモ手形債務カ時效又ハ手續ノ欠缺ニ因リ消滅シタル後  
ハ手形ノ保證ニ非スシテ民法上ノ保證ナリ(第四四四條參照)

### 第三 手形保證ノ效力

保證人ハ保證ヲ爲スニ因リ手形所持人ニ對シ其保證シタル債務ニ付キ主タル  
債務者ト連帶シテ債務ノ履行ヲ爲ス責ニ任ス(第二七三條但シ茲ニ主タル債務  
ニ付キ注意スヘキコトアリ主タル債務トハ保證人ニ對シテ謂フコトニシテ普  
通ノ意義ト同一ニ非ス手形上ニ於テハ引受人ノ外主タル債務者ナシ故ニ引受  
ナキトキハ主タル債務ナキヲ以テ所謂主タル債務トハ保證人ニ對スル關係的  
ノ語ト解セサルヘカラス

保證人カ履行スヘキ債務ノ限度ハ保證シタル主タル債務ノ限度ニ依リテ定マ  
ルコトハ別ニ説明ヲ要セス故ニ例ヘハ一部ノミノ引受ヲ爲シタル引受人ノ爲  
メニ保證シタルトキハ其引受人カ引受ヲ爲シタル限度ニ於テ其實ニ任スヘキ  
モノナリ然レトモ引受人ノ爲メニ保證ヲ爲スコトヲ明カニセス支拂人ノ爲メ

ニ保証ヲ爲ストキハ全部ノ保証ヲ爲シタル結果ヲ生ス是レ一般ノ原則ニ依リ疑ナキ所ナリ

次ニ注意ヲ要スル點ハ保証人ハ主タル債務者ノ債務ヲ保証スルモノナルカ故ニ若シ主タル債務者ニ對スル債務カ手形上ノ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタル場合ニ於テハ保証人ノ債務モ亦消滅セタルヲ得ス例ヘハ爲替手形ニ支拂擔當人ノ記載アリシ場合ニハ所持人ハ支拂擔當人ニ對シテ支拂ヲ求メサルヘカラス若シ此手續ヲ爲ササルトキハ引受人ニ對シテモ亦其權利ヲ失フ隨テ其引受ヲ保証シタル者アルニ拘ラス其保証ハ主タル債務ノ免ルルニ因リテ自ら消滅スルモノトス(第四九〇條第二項參照)

保証人カ主タル債務者ニ代リテ手形上ノ債務ヲ履行シタルトキハ其辨濟ヲ爲シタル債務ノ限度ニ於テ手形債權者ノ權利ヲ取得ス即チ引受人アルカ或ハ手形裏書人ノ爲メニ保証セタルトキハ引受人又ハ裏書人ニ對シ所持人カ有セシ權利ヲ實行スルコトヲ得第四九九條本條ニ依リ保証人カ取得スル權利ハ純然タル代位即チ法律上債權者ニ代リテ行フ權利ナリ詳言スレハ保証人カ得

ル權利ハ手形上獨立ノ權利ニ非スシテ所持人ノ有セシ權利ヲ取得スルニ過キス此點ハ參加支拂人ノ權利ト異ナル所ナリ故ニ保証人カ其權利ヲ實行スル場合ニハ手形ノ引受人又ハ償還義務者カ所持人ニ對抗シ得ヘキ防禦方法ハ保証人ニ對シテモ亦之ヲ對抗シ得ルモノトス

### 第九節 拒絕證書

拒絕證書トハ手形上權利ノ行使ニ關シ重要ナル事實ヲ證明スル爲メニ必要ナル要式證書ナリ拒絕證書ナルモノハ手形上ノ權利ノ行使ニ關シテ或事實ヲ證明スル爲メニ必ス作成セサルヘカラサル證書ニシテ而モ其證書ハ一定ノ形式ニ依リテ作成セサルヘカラス所謂重要ナル事實トハ既に述ヘタル所ニ據リテ明カナレトモ茲ニ之ヲ再言センニ其當ニ作成スヘキ拒絕證書ノ種類ニ依リテ之ヲ知ルヲ便宜トス

第一 引受拒絕證書 引受拒絕證書ハ諸君ノ已ニ知ル如ク爲替手形ノ所持人カ滿期日前ニ支拂人ニ對シテ支拂ノ引受ヲ求メテ其承諾ヲ得サリシ場合ニ擔

保ヲ供セシメンカ爲メニ作成スル證書ナリ爲替手形ノ所持人カ滿期日前ニ引受ヲ求メテ其引受ナキトキハ擔保ノ請求ヲ爲スコトヲ得ルモ其支拂ノ引受カ承諾セラレサルノ事實ハ必ス拒絕證書ニ依リテ之ヲ證明スルコトヲ要シ他ノ方法ヲ以テハ之ヲ證明スルコトヲ得ス而シテ擔保ヲ供セシメンカ爲メニ作成スルハ即チ手形上權利ノ行使ニ付キ重要ナル事實ヲ證明スルモノナリ(第四七五條)

第二 引受ノ日附拒絕證書 一覽後定期拂ノ手形所持人ハ其滿期日ヲ定メシムルカ爲メニ法定ノ期間内若クハ手形振出人ノ意思ニ因ル期間内ニ手形ヲ支拂人ニ呈示シテ引受ヲ求メ且ツ之ニ引受ヲ爲セタル日附ヲ記載セシムル權利ヲ有ス支拂人カ引受ヲ承諾セサル場合ハ固ヨリ第一ノ場合ニ屬スレトモ引受ヲ爲シタルニ拘ラス引受ノ日附ヲ記載スルコトヲ拒ム場合アリ引受人カ引受ノ日附ヲ記載スルコトヲ拒ミタル場合ニ於テ手形所持人カ引受人ニ對シ辨濟期日ノ到來ヲ速カナラシメントスルニハ直チニ拒絕證書ヲ作成スルコトヲ要ス何トナレハ若シ拒絕證書ヲ作成セサレハ滿期日ノ起算點ハ法定ノ期間滿了

後ニ非サレハ定マラサレハナリ(第四六七條)

第三 擔保拒絕證書 爲替手形ノ所持人カ支拂人ニ對シテ引受ヲ請求シ支拂人カ支拂ノ承諾ヲ爲シタル場合ニ於テモ其後引受人カ破産ヲ爲シタルトキハ其引受ハ滿期日ニ於テ有益ナルモノナリヤ否ヤニ付キ頗ル疑アリ故ニ商法ニ於テハ此場合ニ於テハ支拂人カ引受ヲ爲シタルニ拘ラス尙ホ此者ニ對シテ擔保ノ請求ヲ爲スコトヲ得ルコトヲ得ル而シテ此擔保ノ請求ヲ爲シタル場合ニ若シ破産者ノ友人若クハ親戚等カ代リテ擔保ヲ供セハ可ナルモ若シ擔保ヲ拒絕セラレタルトキハ手形ノ引受人カ引受ヲ爲サザリシ場合ノ如ク其前者ニ對シテ擔保ノ請求ヲ爲ス必要アリ此ノ如キ場合ニ支拂引受人カ擔保ヲ拒絕シタル事實ヲ證明スルハ手形權利ノ行使ニ付キ重要ノ事ナリ(第四八〇條)

第四 手形原本返還拒絕證書 手形カ復本ヲ以テ流通スル場合又ハ手形ノ廢本ヲ作成シテ流通ヲ爲ス場合ニ於テ手形原本ノ交付ヲ受クルコトヲ要スル場合アリ此事ハ彙ニ手形ノ復本及ヒ廢本ノコトヲ述ヘタル際ニ説明セシ所ナリ此場合ニ於テ原本ノ保管者ヨリ其返還ヲ拒絕セラレタルトキハ拒絕證書ニ依



リテ此事實ヲ證明セサルヘカラス(第五二一條第五二四條)  
 第五 支拂拒絕證書第四八七條第四九〇條) 此事ハ復タ警告スルヲ要セス  
 此他參加ノ證明若クハ參加支拂又ハ參加引受ノ拒絕アリタルゴトヲ證明スル  
 ニモ亦拒絕證書ヲ以テスルコトヲ要ス但シ此場合ニハ新ニ拒絕證書ヲ作成ス  
 ルコトヲ要セサルコトハ法文上明カナレトモ已ニ作成シタル拒絕證書ニ拒絕  
 ノ旨ヲ記載セサルヘカラサルコト明カナリ(第五〇〇條第五〇四條第五〇八條  
 第五一二條)

拒絕證書ノ作成ハ右ニ列記シタルカ如キ事實ヲ證明スルニ必要ナレトモ此作  
 成スルコトヲ要スル理由ハ結局手形債務者ノ利益ヲ保護スル爲メナリ換言セ  
 ハ手形債務者カ所持人ニ對シテ債務ヲ履行スヘキ條件ノ到來セシコトヲ明カ  
 ニスルカ爲メナリ故ニ手形ノ債務者ハ拒絕證書作成ノ責任ヲ免除スルコトヲ  
 得然レトモ此免除ハ免除シタル者ト免除セラレタル者トノ間ニ於テノミ其效  
 力ヲ生スルニ過キスシテ其他ノ者ニ對シテハ何等ノ效力ナシ故ニ拒絕證書ヲ  
 作成スル場合ニ手形カ數人ノ裏書アリシトキハ之ニ關シ困難ナル問題ヲ生ス

ルコトアリ(第四八九條)

次ニ注意スヘキコトハ拒絕證書モ一ノ要式行爲ナリ然レトモ此要式行爲ナル  
 點カ他ノ點ト少シク異ナル所ナリ蓋シ爲替手形ノ記載事項ハ其記載セラレタ  
 ル事項カ事實上存在スルト否トヲ問ハス手形トシテ完全ノ效力ヲ生スヘキモ  
 ノナリ之ニ反シテ拒絕證書ニ記載シタル事項ハ事實ナラサルヘカラス例ヘハ  
 支拂人ノ許ニ至リ支拂ヲ求メタルニ支拂ナカリシ旨ヲ記載スルモ其實支拂ヲ  
 求メナリシ反證アラハ其拒絕證書ハ無効ナリ

拒絕證書ノ要式ナルコト左ノ三點ニ歸ス

第一 作成スヘキ人

第二 作成スヘキ場所

第三 記載事項

是ナリ作成スヘキ人及ヒ場所ニ付テハ手形ニ關スル規定ノ總則ニ依リテ定マ  
 ル(第四四二條第五一四條)此規定ハ必ス遵守スルコトヲ要ス(第四四二條而シテ  
 記載スヘキ事項ハ第五百十五條ニ於テ列記セルカ故ニ就テ看ルヘシ別ニ説明

スヘキモノナシ

拒絕證書ニ付キ尙ホ注意スヘキコトハ公證人又ハ執達吏カ拒絕證書ヲ作成シタル場合ニハ豫メ特ニ設ケタル帳簿ニ作成シタル拒絕證書ト同一ナル記載ヲ爲スコトヲ要スルコト是ナリ此帳簿ノ用ハ拒絕證書カ紛失スルカ又ハ滅失シタル場合ニ於テ拒絕證書ニ代ルヘキ原本ヲ作成スルカ爲メナリ執達吏又ハ公證人ハ此帳簿ヲ調査スルコトヲ要スレトモ此帳簿ニ記載セザリシカ爲メニ拒絕證書カ其效力ヲ失フモノニ非ス唯若シ拒絕證書ヲ作成シタル者カ其證書ヲ紛失又ハ滅失シタル場合ニ原本ヲ求ムルコト能ハサルヲ以テ賠償ノ原因タルノミ(第五一七條)

以上ヲ以テ爲替手形ニ關スル法則ノ講義ヲ了ルト同時ニ本講義ノ終結トセン約束手形及ヒ小切手ニ關スル法則ハ條文ヲ熟讀シ爲替手形ニ關スル説明ヲ參照セラレンコトヲ望ム

商法手形終

講習科規則摘要

一 乙種講習科ハ講義録ニ依リテ獨習ヲ爲スモノトス

一 講習期ハ二月ニ始リ十一月ニ終ル

一 講義録ハ各講師擔任ノ部分ヲ一括シテ配布ス

一 講習料ハ金拾貳圓トス但三十四年度ニ限り左

ノ一部又ハ二部ヲ講習スルコトヲ得

第一部(民事訴訟法) 金六圓

第二部(商法、經濟學、行政法、國際私法) 金四圓

第三部(刑法、刑事訴訟法、憲法、國際私法) 金五圓

右講習料ハ何レモ一個月分以上ヲ分納スルコトヲ得(但入學ノ際ニハ成ルヘシ)

一 講習生ハ講義録ニ掲載セル事項ニ付キ質問ヲ爲スコトヲ得但一間毎ニ別紙ニ認メ且一間毎

ニ一音信料ヲ添フルコトヲ要ス

一 講習料ハ和佛法律學校會計課宛ニテ送付スヘシ但郵券代用ハ一割増ノ事

明治二十二年十二月九日內務省許可

明治三十四年五月十四日印刷  
明治三十四年五月十七日發行

編輯者 東京市四谷區四谷仲町三丁目番八番地

小田 幹治 郎

印刷者 東京市芝區西ノ久保明舟町十一番地

金子 鐵五 郎

印刷所 東京市芝區西ノ久保明舟町十一番地

金子 活版 所

發行所 東京市總町區富士見町六丁目十六番地

和佛法律學校

(電話番町百七十四番)